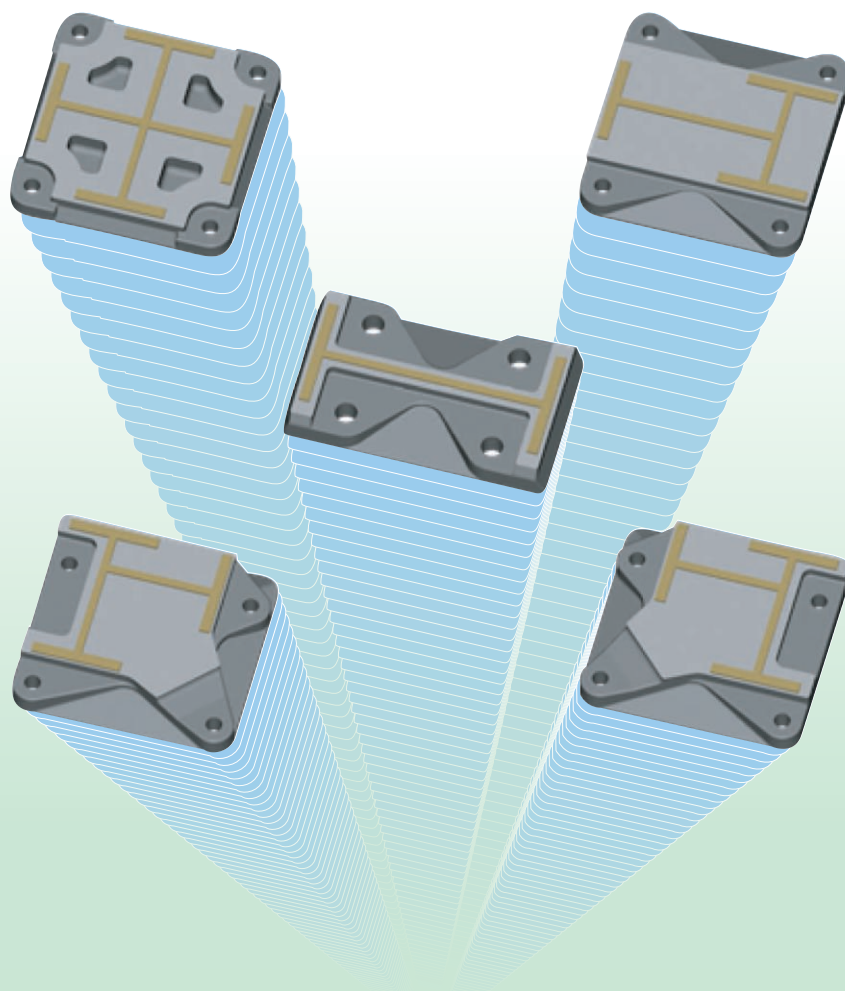


鉄骨鉄筋コンクリート造柱用
非埋込形柱脚工法

SRCスーパーハイベース工法

国土交通大臣認定 MSTL-0566, MBLT-0042,0043,0044,0046,0231

設計ハンドブック



センクシア株式会社

ご使用にあたって

この設計ハンドブックは、建築設計事務所様、建築施工業者様、鉄骨加工業者様において、SRCスーパーハイベース工法を用いた建築物を設計される際および施工・監理をされる際に、安全かつ効果的にご使用頂くためのものです。

なお、施工時の留意点については、別冊の“SRCスーパーハイベース工法カタログ”もあわせてご参照下さるようお願いいたします。

設計事務所様へ

SRCスーパーハイベース工法を用いた建築物の設計図書には別刷りの“SRCスーパーハイベース工法設計施工標準”を添付のうえ、その資料をもとに監理下さいますようお願いいたします。

表示の定義

このハンドブックの中で特に注意していただきたい事項については、以下の警告表示を記載しております。



注意：一般的な注意を喚起する表示



警告：取扱いを誤った場合に、人が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定される場合の表示



警告

①SRCスーパーハイベース工法に用いるベースプレート及びアンカーボルトは、国土交通大臣認定を取得しています。本設計ハンドブックに基づく設計がなされないで生じたトラブルについては責任を負いかねます。ご使用になる前に必ず本ハンドブックをご一読の上、内容を遵守して下さい。

②アンカーボルトのセット・ベース下モルタルの施工・アンカーボルトの締付けはセンクシア(株)またはその認定業者が行います。

(詳細はセンクシアにお問い合わせ下さい。)

これらの事項が守られない場合、台風や地震により過大な力が作用した際に、柱脚部に想定しない破壊が生じて建築物が崩壊することが想定されます。

- ・本書は、設計ハンドブックであり、保証書や契約書ではありません。
- ・製品仕様変更等により、「SRCスーパーハイベース工法設計ハンドブック」の内容を予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- ・このハンドブックの内容で、疑問点や不明な点がございましたら、センクシア(株)にお問い合わせ下さい。

目 次

第1章	総則	
1.1	適用範囲	1
1.2	S R Cハイベース工法の構成	1
第2章	使用材料	
2.1	材質	2
2.1.1	S R Cハイベース	2
2.1.2	アンカーボルト、ナット、座金および定着板	2
2.1.3	ハイベース下面のモルタル	2
2.1.4	コンクリート	2
2.1.5	鉄筋	2
2.2	形状および寸法	3
2.2.1	ハイベース X 形の寸法一覧	3
2.2.2	ハイベース T 形の寸法一覧	3
2.2.3	ハイベース L L 形の寸法一覧	4
2.2.4	ハイベース L R 形の寸法一覧	4
2.2.5	ハイベース H 形の寸法一覧	5
2.2.6	アンカーボルト・部品の寸法	6
第3章	ハイベースを用いた柱脚部の設計	
3.1	構造規定	7
3.1.1	ハイベース下面モルタルとアンカーボルト定着長さ	7
3.1.2	適用制限	7
3.1.3	軸力制限	8
3.2	ハイベースを用いた柱脚部の設計	9
3.3	cN, cM の算出	10
3.4	ハイベース部分のせん断耐力の検討	12
3.4.1	許容せん断耐力	12
3.4.2	終局せん断耐力	13
3.5	アンカーボルトの定着	14
3.5.1	基礎コンクリートによる定着（コーン耐力による）	14
3.5.2	基礎柱形主筋による定着	14
付録 1	RC 柱形と SRC ハイベースの納まり図（参考）	15
付録 2	柱脚検討ソフト	52

第1章 総則

1.1 適用範囲

この『SRCスーパーハイベース工法設計ハンドブック』は、鉄筋コンクリート構造の基礎をもつ鉄骨鉄筋コンクリート構造骨組においてSRCスーパーハイベース工法（以下SRCハイベース工法）の耐力を評価する設計法に関するものである。

本ハンドブックに示されない事項は

「2001年版 建築物の構造関係技術基準解説書」 日本建築センター
「鉄骨鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説(2001)」 日本建築学会
「鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説(1999)」 日本建築学会
「鋼構造設計規準(2005)」 日本建築学会
「鉄筋コンクリート造建物の終局強度型耐震設計指針・同解説(1990)」 日本建築学会
「鉄筋コンクリート造建物の靱性保証型耐震設計指針・同解説(1999)」 日本建築学会
「各種合成構造設計指針・同解説(1985)」 日本建築学会
「建築工事標準仕様書・同解説 JASS5 鉄筋コンクリート工事(1997)」 日本建築学会
「建築工事標準仕様書・同解説 JASS6 鉄骨工事(1996)」 日本建築学会
「鉄骨工事技術指針(1996)」 日本建築学会

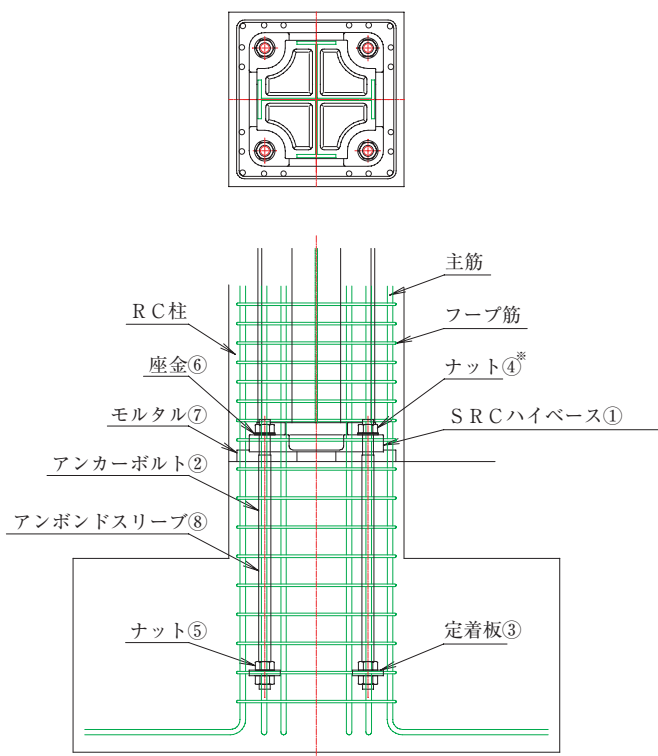
による。

1.2 SRCハイベース工法の構成

SRCハイベース工法は図 1.1 に示すように柱脚金物SRCハイベース①、コンクリートとの付着を切ったアンカーボルト②、定着板③、ナット④、⑤、座金⑥、ハイベース下面のモルタル⑦、アンボンドスリーブ⑧より構成される。

施工手順は、まず定着板③をセットしたアンカーボルト②を精度保持のため鋼製フレームを用いて固定し、基礎コンクリート打設後、レベル調整のための部分ならしモルタルを施工し、この上にハイベースを工場溶接した鉄骨柱を設置する。

次に、無収縮性のモルタル⑦をSRCハイベース①の下に充填し硬化後、ナット④をナット回転法により締付け、アンカーボルト②に所定の張力を導入する。



※周囲コンクリートが戻止め効果を有するため、シングルナットとする。

図 1.1 SRCハイベース工法の構成

第2章 使用材料

2.1 材質

2.1.1 S R Cハイベース

S R Cハイベース（以下ハイベース）は、JIS G5102 に定められた溶接構造用鋳鋼SCW480をベースとして改良したもので、母材と溶接部の基準強度に関しては建築基準法第 37 条第二号に基づく大臣認定（MSTL-0566）を得ており、SN490B（JISG3136建築構造用圧延鋼材）と同等に扱うことができる。（本資料中の寸法表に示す以外のハイベースでセンクシア(株)の技術員が設計したハイベースについても同様に SN490B と同等に扱うことができる）

2.1.2 アンカーボルト、ナット、座金および定着板

	アンカーボルト	ナット	座金	定着板
規格	HAB (大臣認定取得材 ^{※1})	JIS B1181 (六角ナット ^{※1})	JIS G3106 (^{※1})	JIS G3101 (一般構造用 圧延鋼材)
ねじの種類	メートル並目	メートル並目	－	－
備考	降伏比 0.7 以下	強度区分 8	SM490A	SS400

※1：国土交通大臣認定（MBL T-0042,0043,0044,0046,0231）

2.1.3 ハイベース下面のモルタル

後詰めモルタルはハイベースグラウト NX-2000 およびこれと同等以上の無収縮性と施工性を備えた無収縮モルタルを使用する。

レベル調整用の中心塗り部分モルタルは普通モルタルまたは、無収縮性のモルタルとし、強度はこれに接するコンクリートの強度以上とする。

2.1.4 コンクリート

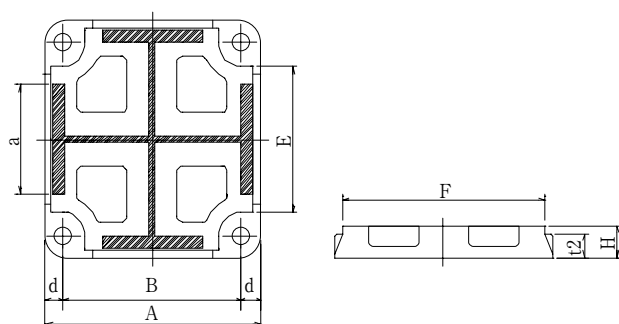
コンクリートは、日本建築学会「建築工事標準仕様書 JASS5 鉄筋コンクリート工事」に適合する普通コンクリートを使用する。

2.1.5 鉄筋

鉄筋コンクリート部分に使用する鉄筋は、JIS G3112 「鉄筋コンクリート用棒鋼」に定められる熱間圧延異形棒鋼を使用する。

2.2 形状および寸法

2.2.1 ハイベース X形の寸法一覧



ハイベース 型 式	RC断面 (min)
X400-SI-30	□700
X450-SI-30	□750
X500-SI-42	□800
X550-SI-42	□850
X600-SI-42	□900
X650-SI-42	□950
X700-SI-42	□1000
X750-SI-42	□1050
X800-SI-42	□1100

ハイベース 型 式	適用 フランジ 幅 (a)	適用 フランジ 厚	適用 ウェブ 厚	寸 法 (mm)							質量 (kg)		セット 質量 (kg)
				A	B	E	F	H	d	t2	ハイベース	部品	
X400-SI-30	～200	～36	～19	500	400	300	460	70	50	47	121	46	167
X450-SI-30	～250	～36	～19	550	450	350	510	70	50	47	156	49	205
X500-SI-42	～250	～36	～19	600	480	350	560	90	60	66	231	104	335
X550-SI-42	～300	～36	～19	650	530	400	610	90	60	66	264	107	371
X600-SI-42	～300	～36	～19	700	580	450	660	90	60	66	300	111	411
X650-SI-42	～350	～36	～19	750	630	500	710	90	60	66	336	115	451
X700-SI-42	～400	～36	～19	800	680	550	760	90	60	66	375	119	494
X750-SI-42	～400	～36	～19	850	730	600	810	90	60	66	414	122	536
X800-SI-42	～450	～36	～19	900	780	650	860	90	60	66	456	126	582

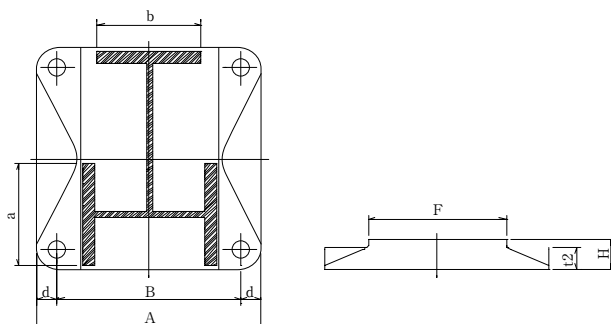
部品の質量はアンカーボルト部品と形板の1セットの質量です。

表中にないサイズについても対応可能です。センクシア株にお問い合わせください。

堰跡の凸部があるものがありますが、ご使用上性能に問題はありません。

RC断面は最小寸法です。本ハンドブック第3章等を参照し、柱脚部の設計を行ってください。

2.2.2 ハイベース T形の寸法一覧



ハイベース 型 式	RC断面 (min)
T400-SI-30	□700
T450-SI-30	□750
T500-SI-42	□800
T550-SI-42	□850
T600-SI-42	□900
T650-SI-42	□950
T700-SI-42	□1000
T750-SI-42	□1050
T800-SI-42	□1100

ハイベース 型 式	適用 フランジ 幅 (a)	適用 フランジ 幅 (b)	適用 フランジ 厚	適用 ウェブ 厚	寸 法 (mm)						質量 (kg)		セット 質量 (kg)
					A	B	F	H	d	t2	ハイベース	部品	
T400-SI-30	～200	～200	～36	～19	500	400	300	75	50	51	132	46	178
T450-SI-30	～250	～250	～36	～19	550	450	350	80	50	53	172	49	221
T500-SI-42	～300	～300	～36	～19	600	480	350	90	60	63	227	104	331
T550-SI-42	～300	～300	～36	～19	650	530	400	90	60	65	272	107	379
T600-SI-42	～300	～350	～36	～19	700	580	450	90	60	66	321	111	432
T650-SI-42	～300	～400	～36	～19	750	630	500	90	60	67	373	115	488
T700-SI-42	～300	～450	～36	～19	800	680	550	95	60	68	449	119	568
T750-SI-42	～300	～500	～36	～19	850	730	600	95	60	69	513	123	636
T800-SI-42	～300	～550	～36	～19	900	780	650	95	60	70	582	126	708

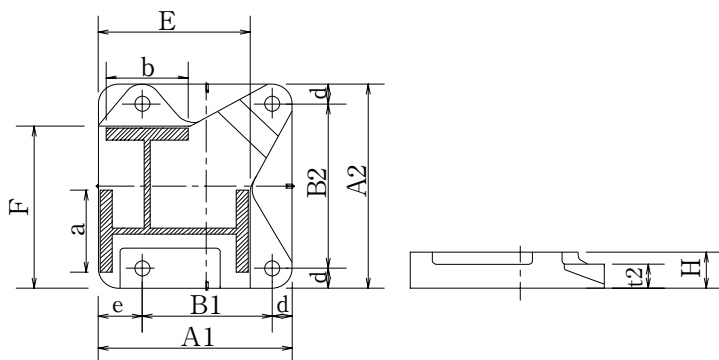
部品の質量はアンカーボルト部品と形板の1セットの質量です。

表中にないサイズについても対応可能です。センクシア株にお問い合わせください。

堰跡の凸部があるものがありますが、ご使用上性能に問題はありません。

RC断面は最小寸法です。本ハンドブック第3章等を参照し、柱脚部の設計を行ってください。

2.2.3 ハイベース LL形の寸法一覧



ハイベース 型 式	RC断面 (min)
LL400-S1-30	□700
LL450-S1-30	□750
LL500-S1-42	□800
LL550-S1-42	□850
LL600-S1-42	□900
LL650-S1-42	□950
LL700-S1-42	□1000
LL750-S1-42	□1050
LL800-S1-42	□1100

ハイベース 型 式	適用 フランジ 幅 (a)	適用 フランジ 幅 (b)	適用 フランジ 厚	適用 ウェブ 厚	寸 法 (mm)										質量(kg)		セット 質量 (kg)
					A1	B1	A2	B2	E	F	H	d	e	t2	ハイベース	部品	
LL400-S1-30	~200	~250	~36	~19	455	300	490	400	360	395	80	45	110	55	125	43	168
LL450-S1-30	~250	~250	~36	~19	505	350	540	450	410	445	80	45	110	55	152	46	198
LL500-S1-42	~250	~300	~36	~19	545	350	580	460	415	450	110	60	135	72	228	98	326
LL550-S1-42	~300	~300	~36	~19	595	400	630	510	465	500	110	60	135	72	277	102	379
LL600-S1-42	~300	~300	~36	~19	645	450	680	560	515	550	110	60	135	72	330	106	436
LL650-S1-42	~300	~300	~36	~19	695	500	730	610	565	600	110	60	135	72	388	109	497
LL700-S1-42	~300	~300	~36	~19	745	550	780	660	615	650	110	60	135	72	446	113	559
LL750-S1-42	~300	~300	~36	~19	795	600	830	710	665	700	110	60	135	72	510	117	627
LL800-S1-42	~300	~300	~36	~19	845	650	880	760	715	750	110	60	135	72	585	121	706

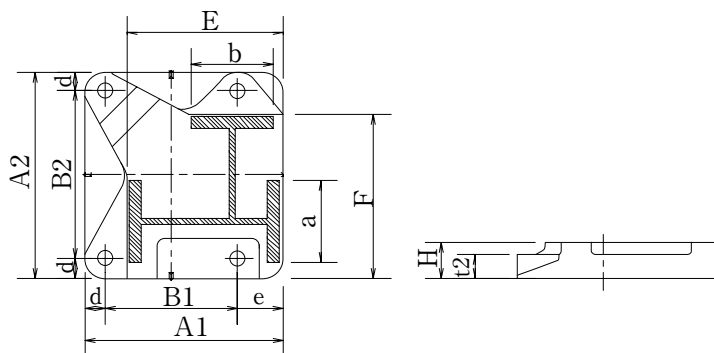
部品の質量はアンカーボルト部品と形板の1セットの質量です。

表中にないサイズについても対応可能です。センクシア㈱にお問い合わせください。

堰跡の凸部があるものがありますが、ご使用上性能に問題はありません。

RC断面は最小寸法です。本ハンドブック第3章等を参照し、柱脚部の設計を行ってください。

2.2.4 ハイベース LR形の寸法一覧



ハイベース 型 式	RC断面 (min)
LR400-S1-30	□700
LR450-S1-30	□750
LR500-S1-42	□800
LR550-S1-42	□850
LR600-S1-42	□900
LR650-S1-42	□950
LR700-S1-42	□1000
LR750-S1-42	□1050
LR800-S1-42	□1100

ハイベース 型 式	適用 フランジ 幅 (a)	適用 フランジ 幅 (b)	適用 フランジ 厚	適用 ウェブ 厚	寸 法 (mm)										質量 (kg)		セット 質量 (kg)
					A1	B1	A2	B2	E	F	H	d	e	t2	ハイベース	部品	
LR400-S1-30	~200	~250	~36	~19	455	300	490	400	360	395	80	45	110	55	125	43	168
LR450-S1-30	~250	~250	~36	~19	505	350	540	450	410	445	80	45	110	55	152	46	198
LR500-S1-42	~250	~300	~36	~19	545	350	580	460	415	450	110	60	135	72	228	98	326
LR550-S1-42	~300	~300	~36	~19	595	400	630	510	465	500	110	60	135	72	277	102	379
LR600-S1-42	~300	~300	~36	~19	645	450	680	560	515	550	110	60	135	72	330	106	436
LR650-S1-42	~300	~300	~36	~19	695	500	730	610	565	600	110	60	135	72	388	109	497
LR700-S1-42	~300	~300	~36	~19	745	550	780	660	615	650	110	60	135	72	446	113	559
LR750-S1-42	~300	~300	~36	~19	795	600	830	710	665	700	110	60	135	72	510	117	627
LR800-S1-42	~300	~300	~36	~19	845	650	880	760	715	750	110	60	135	72	585	121	706

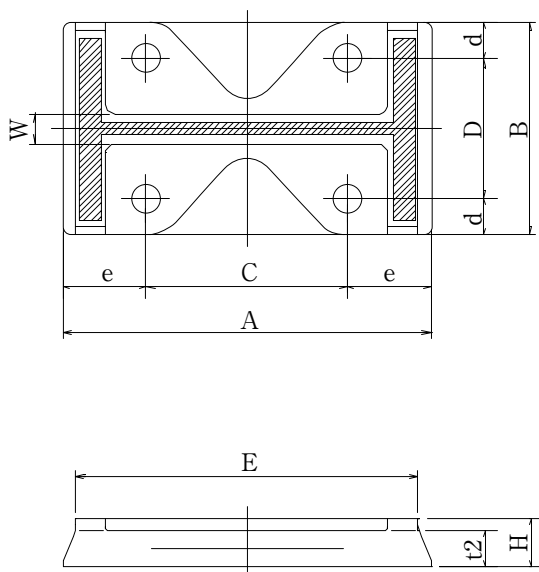
部品の質量はアンカーボルト部品と形板の1セットの質量です。

表中にないサイズについても対応可能です。センクシア㈱にお問い合わせください。

堰跡の凸部があるものがありますが、ご使用上性能に問題はありません。

RC断面は最小寸法です。本ハンドブック第3章等を参照し、柱脚部の設計を行ってください。

2.2.5 ハイベース H形の寸法一覧

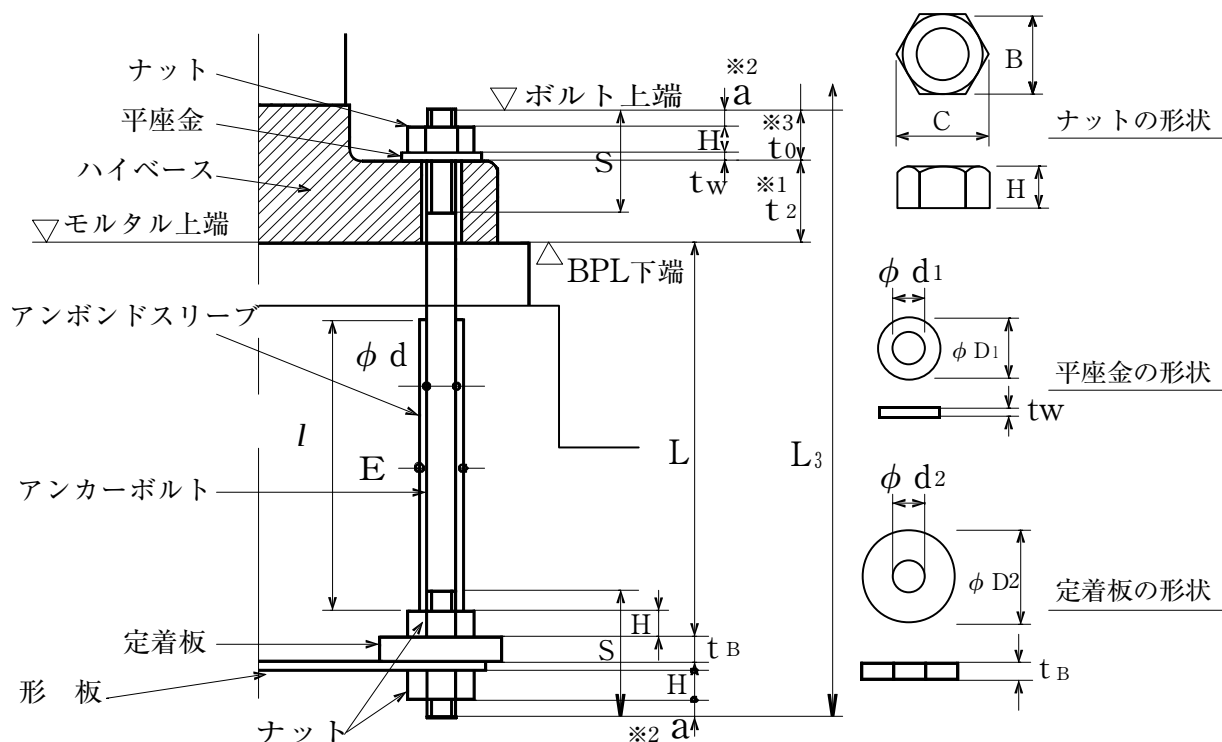


ハイベース型式	RC断面 (min)
SRCH400 - C1-42	650×500
SRCH400 - S1-42	650×550
SRCH400 - M1-42	650×650
SRCH450 - C1-42	700×500
SRCH450 - S1-42	700×550
SRCH500 - C1-42	750×500
SRCH500 - S1-42	750×550
SRCH550 - C1-42	800×500
SRCH550 - S1-42	800×550
SRCH600 - C1-42	850×500
SRCH600 - S1-42	850×550
SRCH650 - C1-42	900×500
SRCH650 - S1-42	900×550
SRCH700 - C1-42	950×500
SRCH700 - S1-42	950×550
SRCH750 - C1-42	1000×500
SRCH800 - S1-42	1050×550

ハイベース型式	適用 フランジ 幅	適用 フランジ 厚	適用 ウェブ 厚	寸 法 (mm)										質量 (kg)		セット 質量 (kg)
				A	B	C	D	E	W	H	d	e	t2	ハイ ベース 部品		
SRCH400 - C1-42	～250	～36	～19	450	300	180	180	410	50	80	60	135	55	69	87	156
SRCH400 - S1-42	～300	～36	～19	450	350	180	230	410	50	85	60	135	59	86	89	175
SRCH400 - M1-42	～400	～36	～19	450	450	180	330	410	50	90	60	135	63	117	92	209
SRCH450 - C1-42	～250	～36	～19	500	300	230	180	460	50	80	60	135	55	75	89	164
SRCH450 - S1-42	～300	～36	～19	500	350	230	230	460	50	85	60	135	59	93	90	183
SRCH500 - C1-42	～250	～36	～19	550	300	280	180	510	50	80	60	135	55	80	90	170
SRCH500 - S1-42	～300	～36	～19	550	350	280	230	510	50	85	60	135	59	100	92	192
SRCH550 - C1-42	～250	～36	～19	600	300	330	180	560	50	80	60	135	55	85	92	177
SRCH550 - S1-42	～300	～36	～19	600	350	330	230	560	50	85	60	135	59	107	94	201
SRCH600 - C1-42	～250	～36	～19	650	300	380	180	610	50	80	60	135	55	91	94	185
SRCH600 - S1-42	～300	～36	～19	650	350	380	230	610	50	85	60	135	59	113	96	209
SRCH650 - C1-42	～250	～36	～19	700	300	430	180	660	50	80	60	135	55	97	96	193
SRCH650 - S1-42	～300	～36	～19	700	350	430	230	660	50	85	60	135	59	120	98	218
SRCH700 - C1-42	～250	～36	～19	750	300	480	180	710	50	80	60	135	55	103	98	201
SRCH700 - S1-42	～300	～36	～19	750	350	480	230	710	50	85	60	135	59	128	100	228
SRCH750 - C1-42	～250	～36	～19	800	300	530	180	760	50	80	60	135	55	108	100	208
SRCH800 - S1-42	～300	～36	～19	850	350	580	230	810	50	85	60	135	59	142	104	246

部品の質量はアンカーボルト部品と形板の1セットの質量です。
 表中にないサイズについても対応可能です。センクシア株式会社にお問い合わせください。
 堰跡の凸部があるものがありますが、ご使用上性能に問題はありません。
 RC断面は最小寸法です。本ハンドブック第3章等を参照し、柱脚部の設計を行ってください。

2.2.6 アンカーボルト・部品の寸法



アンカーボルト								アンボンド スリーブ		ナット			平座金			定着板			セ ッ ト 質 量
ね じ の 呼 び	軸 径	ねじ		余 長 ※2	定 着 長 さ	台 座 上 長 ※3	全 長	外 径	長 さ	高 さ	二 面 幅	対 角 距 離	厚 さ	内 径	外 径	厚 さ	内 径	外 径	
		ピ ッチ	長 さ																
φd	P	S	a	L	t ₀	L ₃	E	l	H	B	C	tw	φd ₁	φD ₁	t _B	φd ₂	φD ₂	kg	
M30	30	3.5	130	13	600	43	800	35	515	24	46	53	6	31	56	16	33	90	24
M42	42	4.5	155	18	840	61	1080	48	745	34	65	75	9	43	78	22	45	120	67

※1 t₂はハイベース台座厚を示します。2.2.2～2.2.6 項を参照してください。

※2 a 寸法はハイベース台座厚 t₂によって変動しますが、本数値以上確保してください。

※3 t₀は、ハイベース台座上からアンカーボルト天端までの最小寸法を示します。

ハイベースのアンカーボルト孔径

ねじの呼び	M30	M42
孔径	36	49

第3章ハイベースを用いた柱脚部の設計

3.1 構造規定

3.1.1 ハイベース下面モルタルとアンカーボルト定着長さ

ハイベース下面モルタルおよびアンカーボルト定着長さは、表 3.1 による。

表 3.1 ハイベース下面モルタルの寸法制限およびアンカーボルトの定着長さ

部 品 名 称	寸 法 制 限
ハイベース下面のモルタル厚さ(tm)	$tm \geq 50\text{mm}$
ハイベース周辺部のモルタル幅(em)	$em \geq tm$
ハイベース端から基礎柱形までの縁端距離	$e \geq tm$ かつ $e \geq 0.065W$ (W: A, B の大きい方の値)

3.1.2 柱脚断面の適用制限

S R Cハイベース工法の柱脚断面の適用制限を、表 3.2 に示す。

表 3.2 柱脚断面の適用制限

項 目	適 用 制 限
アンカーボルト－引張鋼材比 ($\Sigma Ta / \Sigma T$)	$\Sigma Ta / \Sigma T \geq 0.15$ ΣTa : 全アンカーボルトの短期許容引張耐力の和 ΣT : 全アンカーボルトと全鉄筋の短期許容引張耐力の和
曲げ負担率 $hM / (hM + rM)$	$hM / (hM + rM) \geq 0.1$ $hM = 2 \cdot Ta \cdot Dt$ $rM = at \cdot ft \cdot jt$ hM : ハイベース部分の曲げ耐力の評価値 rM : RC 部分の曲げ耐力の評価値 Ta : 1 本のアンカーボルト短期許容耐力 Dt : アンカーボルトピッチ at : 引張鉄筋の断面積の和 ft : 短期許容応力度 jt : 柱の左右の主筋間距離

3.1.3 軸力制限

(1)耐震設計計算ルート 1、2-1,2-2,2-3 の場合

SRCハイベース工法を柱脚に用いた SRC 造の耐震設計を計算ルート 1,2-1～2-3 で行なう場合、柱軸力は表 3. 3 の軸力制限に従わなければならない。ここで、各計算ルートの定義は「2001 年版建築物の構造関係技術基準解説書(日本建築センター)」及び昭 55 建告 1790、1791 号による。

表 3. 3 引張軸力比の制限(計算ルート1,2-1～2-3)

計算ルート	ルート 1	ルート 2-1	ルート 2-2	ルート 2-3
軸力制限	$n \leq 0.8$		$n \leq 0.4$	

n : 引張軸力比 ($=|N|/\Sigma T$, $N < 0$)

N : 軸力 (圧縮が正)

ΣT : 全アンカーボルトと全鉄筋の短期許容引張耐力の和

(2)耐震設計計算ルート 3 の場合

SRCハイベース工法を柱脚に用いた SRC 造の耐震設計を計算ルート 3 で行なう場合、メカニズム時の柱軸力により柱の種別を表 3. 4 のように分類する。計算ルートと柱の種別の定義は「2001 年版建築物の構造関係技術基準解説書(日本建築センター)」及び昭 55 建告 1792 号による。

表3.4 SRCハイベース工法を用いた柱の種別(計算ルート3)

軸力比範囲 柱母材の種別	$n \leq 0.4$	$0.4 < n \leq 0.8$		$n > 0.8$
		$\Sigma Ta / \Sigma T \geq 0.2$	$0.2 > \Sigma Ta / \Sigma T \geq 0.15$	
F A	F A	F B	F D	使用不可
F B	F B	F B	F D	使用不可
F C	F C	F C	F D	使用不可
F D	F D	F D	F D	使用不可

n : 引張軸力比 ($=|N|/\Sigma T$, $N < 0$)

N : 軸力 (圧縮が正)

ΣTa : 全アンカーボルトの短期許容引張耐力の和

ΣT : 全アンカーボルトと全鉄筋の短期許容引張耐力の和

ただし、柱が耐力壁の側柱となる場合は、表 3.4 によらず、耐震壁の種別を表 3.5 により行なう。

表3.5 耐震壁の種別(Ds判定基準抜粋)

耐力壁の種別	W A	W C
想定される破壊モード	せん断破壊以外	せん断破壊

【参考資料】「2001 年版建築物の構造関係技術基準解説書(日本建築センター)」

3.2 ハイベースを用いた柱脚部の設計

柱脚部に生じる応力は、図 3.1 に示すようにハイベース部分（ハイベース直下のコンクリートとアンカーボルト）と鉄筋コンクリート部分（ハイベース直下のコンクリートを除く）の累加で負担するものとする。

つまり、以下に示す (3.1) ～ (3.3) 式の関係として柱脚部を設計する。

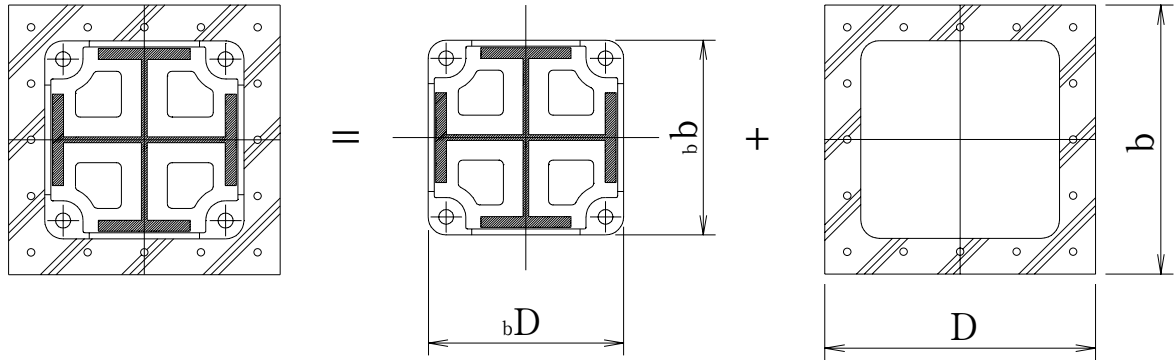


図 3.1 ハイベース部分と鉄筋コンクリート部分

$$N = {}_bN + {}_cN \quad \cdots (3.1)$$

$$M \leq {}_bM + {}_cM + {}_mM \quad \cdots (3.2)$$

$$Q \leq {}_rQ + {}_bQ \quad \cdots (3.3)$$

ここで

N ：軸方向応力 (kN)

M ：曲げモーメント (kN・m)

${}_bN$ ：ハイベース部分または鉄骨部分が負担する軸力 (kN)

${}_cN$ ：コンクリート部分が負担する軸力 (kN)

${}_bM$ ：ハイベース部分が負担する曲げモーメントまたは
鉄骨部分が負担する曲げモーメント (kN・m)

${}_cM$ ：コンクリート部分が負担する曲げモーメント (kN・m)

${}_mM$ ：鉄筋が負担する曲げモーメント (kN・m)

${}_rQ$ ：鉄筋コンクリート部分が負担するせん断力 (kN)

${}_bQ$ ：ハイベース部分が負担するせん断力 (kN)

SRCハイベース工法の耐力は、一般累加式で検討してもよい。従って柱脚部分のディテールが決まればSRC造としての柱脚部分の $N-M$ 関係は得ることができ、構造計算で得られた応力をプロットすれば検討完了となる。

しかし実際には柱脚部分のディテールは、標準型式のハイベースを用いたとしてもコンクリートの断面及び強度、鉄筋径、本数及び材質によりバリエーションが多く $N-M$ 関係を求めることは困難である。よって、上式で示されている関係を実際に検討する場合の方法について次に示す。

詳細には「鉄骨鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説（2001年，日本建築学会）」に解説されているので参照されたい。

①コンクリート部分で負担できる応力（ cN , cM ）を求める。次項にその算定式を示す。一般累加で検討するため軸力と曲げモーメントの組み合わせは任意であるが、コンクリート部分が負担可能な曲げモーメントが最大になるように軸力と曲げモーメントの組み合わせを選ぶ。

②（3.1）式からハイベース部分が負担する必要のある軸力（ bN ）を求める。

$$bN = N - cN \quad \cdots \quad (3.1) \text{ 式より}$$

③ cN , cM , bN , bM が得られると、（3.1）（3.2）より鉄筋が負担する必要のある曲げモーメント（ mM ）が算出できる。その値をもとに鉄筋量の算出または検定を行う。

$$mM = M - cM - bM \quad \cdots \quad (3.2) \text{ 式より}$$

2.2項に示す標準型式のハイベースと設計基準強度 $F_c=30\text{N/mm}^2$ を超すコンクリートを使用する場合、コンクリート部分は設計基準強度による耐力算定が可能であるが、ハイベース部分は $F_c=30\text{N/mm}^2$ を上限とした耐力算定を行う。

3.3 cN , cM の算出

コンクリート部分が負担できる軸力と曲げモーメントの関係式を表 3.5 及び表 3.6 に示す(参考文献：鉄骨鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説,2001年,日本建築学会)。

表 3.5 コンクリート断面の短期許容耐力

cN の範囲	X_{n1} の範囲	$\frac{cN}{cb \cdot cD \cdot f'_c}$	$\frac{cM}{cb \cdot cD^2 \cdot f'_c}$
$0 \leq cN < \frac{cN_c}{2}$	$0 \leq X_{n1} < \frac{cD - D}{2cD}$	$\frac{X_{n1}}{2}$	$\frac{X_{n1}}{12} (3 - 2X_{n1})$
	$\frac{cD - D}{2cD} \leq X_{n1} < \frac{cD + D}{2cD}$	$\frac{1}{2X_{n1}} \left\{ X_{n1}^2 - \left(\frac{b}{cb} \right) \left(X_{n1} - \frac{cD - D}{2cD} \right)^2 \right\}$	$\frac{1}{12X_{n1}} \left\{ X_{n1}^2 (3 - 2X_{n1}) - \left(\frac{b}{cb} \right) \left(X_{n1} - \frac{cD - D}{2cD} \right)^2 \left(1 - 2X_{n1} + 2 \frac{D}{cD} \right) \right\}$
	$\frac{cD + D}{2cD} \leq X_{n1} < 1$	$\frac{1}{2X_{n1}} \left\{ X_{n1}^2 - \left(\frac{b}{cb} \right) \left(\frac{D}{cD} \right) (2X_{n1} - 1) \right\}$	$\frac{1}{12X_{n1}} \left\{ X_{n1}^2 (3 - 2X_{n1}) - \left(\frac{b}{cb} \right) \left(\frac{D}{cD} \right)^3 \right\}$
$\frac{cN_c}{2} \leq cN < cN_c$	cM		
	$\left(1 - \frac{cN}{cN_c} \right) \frac{cb \cdot cD^3 - b \cdot D^3}{6cD} f'_c$		

$$cN_c = (cb \cdot cD - b \cdot D) f'_c$$

cM ：コンクリート部分の許容曲げモーメント（ $\text{N} \cdot \text{mm}$ ）

cN ：コンクリート部分の許容圧縮力（ N ）

X_{n1} ：柱のコンクリート部分の中立軸比

cb ：柱断面の幅（ mm ）

cD ：柱断面の全せい（ mm ）

b ：ベースプレートの幅（ mm ）

D ：ベースプレートのせい（ mm ）

f'_c ： $f'_c(1-15sP_c)$ （ N/mm^2 ） f_c ：コンクリートの許容圧縮応力度（ N/mm^2 ）

sP_c ：圧縮側鉄骨比 $[s_{ac}/(cb \cdot cD)]$ s_{ac} ：圧縮側鉄骨フランジ断面積（ mm^2 ）

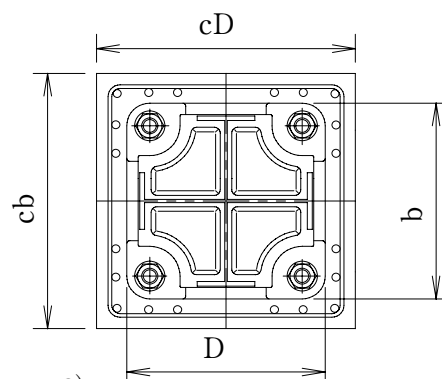


表 3.6 コンクリート断面の終局曲げ耐力

X_{n1} の範囲	$\frac{cN_u}{cb \cdot cD \cdot F_c}$	$\frac{cM_u}{cb \cdot cD^2 \cdot F_c}$
$0 \leq X_{n1} \leq s d_1$	—	$\frac{1}{2} \cdot \frac{cN_u}{cb \cdot cD \cdot F_c} \left(1 - \frac{cN_u}{c r_u \cdot cb \cdot cD \cdot F_c} \right)$
$s d_1 \leq X_{n1} \leq 1 - s d_1$	$c r_u \left\{ X_{n1} - \frac{cD}{cb} (1 - 2s d_1) (X_{n1} - s d_1) \right\}$	$c r_u \left\{ \frac{X_{n1}(1 - X_{n1})}{2} - \frac{cD}{cb} \cdot \frac{(1 - 2s d_1)(X_{n1} - s d_1)(1 - X_{n1} - s d_1)}{2} \right\}$
$1 - s d_1 \leq X_{n1} \leq 1$	$c r_u \left\{ X_{n1} - \frac{cD}{cb} (1 - 2s d_1)^2 \right\}$	$c r_u \frac{X_{n1}(1 - X_{n1})}{2}$

$$cN_u = (cb \cdot cD - b \cdot D) \cdot F_c \cdot c r_u$$

cM_u : コンクリート部分の終局曲げモーメント (N・mm)

cN_u : コンクリート部分の終局圧縮力 (N)

X_{n1} : 柱のコンクリート部分の中立軸比

$s d_1$: 鉄骨のかぶり厚さの全せいに対する比

cb : 柱断面の幅 (mm)

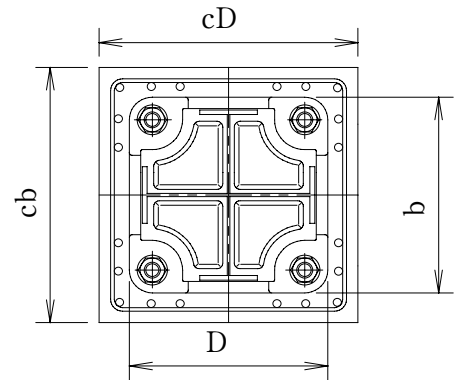
cD : 柱断面の全せい (mm)

F_c : コンクリートの設計基準強度 (N/mm²)

sP_c : 圧縮側鉄骨比 [$s a_c / (cb \cdot cD)$]

$s a_c$: 圧縮側鉄骨フランジ断面積 (mm²)

$c r_u$: 鉄骨比に応じて定まるコンクリートの F_c に対する低減係数 (=0.85-2.5 sP_c)



3.4 ハイベース部分のせん断耐力の検討

3.4.1 許容せん断耐力

S R Cハイベース工法を用いたS R C非埋込み柱脚の許容せん断耐力(Q_a)は、ハイベース部分の許容せん断耐力(bQ_{a0} または bQ_{a1})とそれを取り囲む鉄筋コンクリート部分の許容せん断耐力(rQ_a)の累加とする。

$$Q_a = \max(bQ_{a0}, bQ_{a1}) + rQ_a \quad \dots (3.4)$$

ハイベースの許容せん断耐力は、表 3.7 による。また、鉄筋コンクリート部分の許容せん断耐力は、(3.5) 式による。

$$rQ_a = 4b' \cdot r_j \cdot f_s + 0.5 m_{as} \cdot m_{ft} \quad \dots (3.5)$$

b' : $cb - b$ (mm)

b : ベースプレートの幅 (mm)

f_s : コンクリートの許容せん断応力度 (N/mm^2)

m_{as} : 柱脚 RC 部分に挿入した縦筋の断面積の和 (mm^2)

cb : RC 柱幅 (mm)

r_j : RC 部分の応力中心距離 (mm)

m_{ft} : 主筋の許容引張応力度 (N/mm^2)

表 3.7 ハイベース部分の許容せん断耐力

hN'	bQ_{a0}	bQ_{a1} (座金全周溶接が必要)
$hN_a \geq hN' > crN_a$	$0.4 \cdot hN$	$4 \cdot \beta \cdot bQ_a$
$crN_a \geq hN' > crN_a - 2T_a$	$0.4 \cdot \frac{hM}{hM_a'} \cdot crN_a$	$2 \cdot bQ_a \cdot \left\{ \beta + \min \left(\beta, \sqrt{1 - \left(\frac{hM}{hM_a'} \cdot \frac{N_a - hN'}{2T_a} \right)^2} \right) \right\}$
$crN_a - 2T_a \geq hN' > -2T_a$	$0.4 \cdot \frac{hM}{hM_a'} (hN' + 2T_a)$	$2 \cdot bQ_a \cdot \left\{ \beta + \min \left(\beta, \sqrt{1 - \left(\frac{hM}{hM_a'} \right)^2} \right) \right\}$
$-2T_a \geq hN' > -4T_a$	0	$2 \cdot bQ_a \cdot \left\{ \min \left(\beta, \sqrt{1 - \left(\frac{hM}{hM_a'} \right)^2} \right) + \min \left(\beta, \sqrt{1 - \left(\frac{hM}{hM_a'} \cdot \frac{-2T_a - hN'}{2T_a} \right)^2} \right) \right\}$

bQ_{a0} : ハイベース底面の摩擦による許容せん断耐力 (N)

bQ_{a1} : 座金をハイベースに全周隅肉溶接し、アンカーボルトのせん断を期待した場合の許容せん断耐力 (N)

hN_a : $a \cdot 0.75 \cdot 0.9 \cdot F_c \cdot bA$ (N)

bQ_a : $a \cdot Q_b$ (N)

bA : ハイベース底面積 (= $D \cdot b$, mm^2)

T_a : $a \cdot 0.75 \cdot T_b$ (N)

b : ベースプレートの幅 (mm)

D_t : アンカーボルトピッチ (mm)

D : ベースプレートのせい (mm)

a : (短期) = 1.0, (長期) = 2/3

hN, hM : 柱脚部の軸力、モーメント (Nまたは $N \cdot mm$)

hN', hM' : 原点と (hM, hN) を結ぶ直線と耐力曲線の交点座標 (Nまたは $N \cdot mm$ 、図参照)

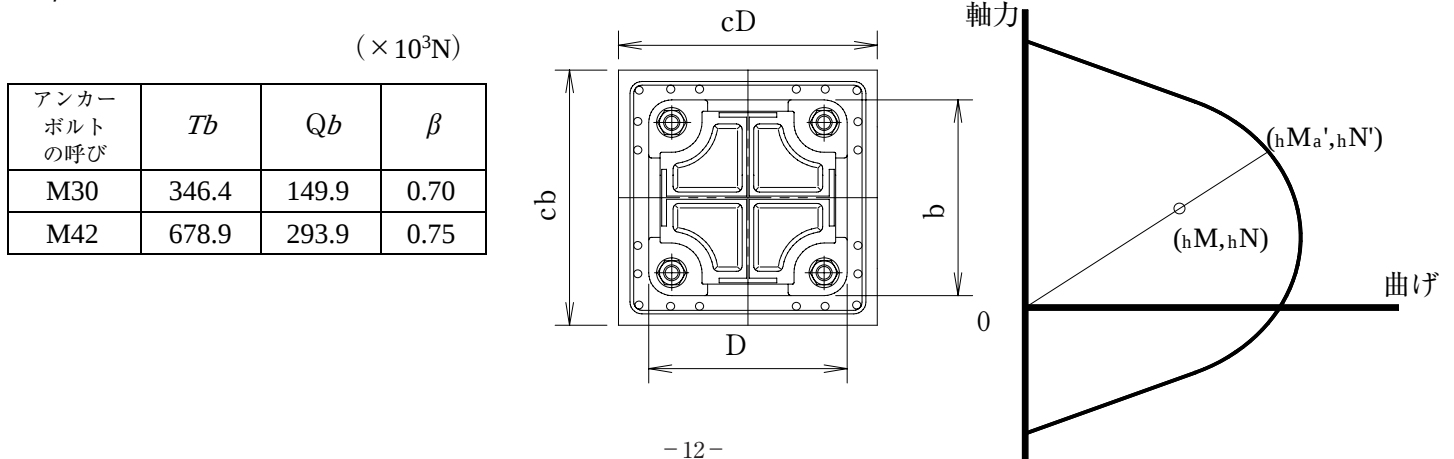
crN_a : $(D + D_t) / (2D) \cdot hN_a$ (N)

Q_b : アンカーボルト 1 本当りのせん断耐力

F_c : コンクリート設計基準強度 (N/mm^2)

T_b : アンカーボルト 1 本当りの軸降伏耐力

β : ハイベースとアンカーボルトの応力伝達係数



3.4.2 終局せん断耐力

ハイベース工法を用いたSRC非埋め込み柱脚の終局せん断耐力(Q_u)は、ハイベース部分の終局せん断耐力(bQ_{u0} または bQ_{u1})とそれを取り囲む鉄筋コンクリート部分の終局せん断耐力(rQ_u)の累加とする。

$$Q_u = \max(bQ_{u0}, bQ_{u1}) + rQ_u \quad \dots (3.6)$$

ハイベース部分の終局せん断耐力は、表 3.8 による。また、鉄筋コンクリート部分の許容せん断耐力は、(3.7) 式による。

$$rQ_u = b' \cdot r_j \cdot 2F_s + 0.5 m a_s \cdot m \sigma_y \quad \dots (3.7)$$

b' : $cb - b$ (mm)

cb : RC 柱幅 (mm)

b : ベースプレートの幅 (mm)

r_j : RC 部分の応力中心距離 (mm)

F_s : コンクリートのせん断応力度 (N/mm^2)

$m \sigma_y$: 主筋の降伏応力度 (N/mm^2)

$m a_s$: せん断力伝達のために挿入した縦筋の断面積の和 (mm^2)

表 3.8 ハイベース部分の終局せん断耐力

${}_hN$ の範囲	bQ_{u0}	bQ_{u1} (座金全周溶接が必要)
${}_hN_u \geq {}_hN > {}_{cr}N_u$	$0.5 {}_hN$	$4 \cdot \beta \cdot bQ_u$
${}_{cr}N_u \geq {}_hN > {}_{cr}N_u - 2T_u$	$0.5 {}_{cr}N_u$	$2bQ_u \cdot \left\{ \beta + \min \left[\beta, \sqrt{1 - \left(\frac{{}_{cr}N_u - {}_hN}{2T_u} \right)^2} \right] \right\}$
${}_{cr}N_u - 2T_u \geq {}_hN > -2T_u$	$0.5({}_hN + 2T_u)$	$Q_{u1} = 2 \beta \cdot bQ_u$
$-2T_u \geq {}_hN > -4T_u$	0	$2bQ_u \cdot \min \left[\beta, \sqrt{1 - \left(\frac{-2T_u - {}_hN}{2T_u} \right)^2} \right]$

bQ_{u0} : ハイベース底面の摩擦による終局せん断耐力(N)

bQ_{u1} : 座金をハイベースに全周隅肉溶接し、アンカーボルトのせん断を期待した場合の終局せん断耐力 (N)

${}_hN_u$: $0.9 \cdot F_c \cdot bA$ (N)

bQ_u : Q_b (N)

bA : ハイベース底面積 ($=D \cdot b$, mm^2)

${}_{cr}N_u$: $(D + Dt) / (2D) \cdot {}_hN_u$ (N)

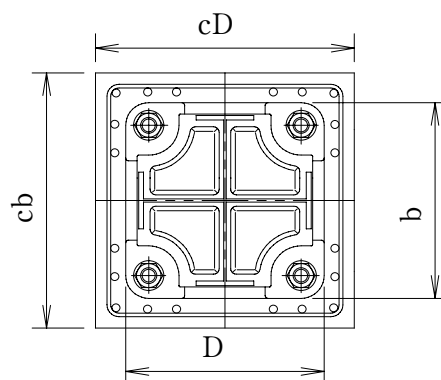
b : ベースプレートの幅 (mm)

D : ベースプレートのせい (mm)

D_t : アンカーボルトピッチ (mm)

F_c : コンクリート設計基準強度 (N/mm^2)

T_u : T_b (N)



3.5 アンカーボルトの定着

3.5.1 基礎コンクリートによる定着（コーン耐力による）

基礎柱形部が十分に大きく、各引張側アンカーボルトが(3.8)式を満足する場合、コンクリートのコーン耐力によりアンカーボルトに発生する引張力を基礎に伝達することが可能である。

$$0.25\sqrt{F_c} \cdot A_c > T_{eu} \quad \dots (3.8)$$

F_c ：コンクリート設計基準強度(N/mm²)

A_c ：コンクリートのコーン破壊面の有効水平投影面積(mm²)

T_{eu} ：アンカーボルトのねじ部破断耐力(N)

表 3.9 アンカーボルトの T_{eu} (kN)

M30	M42
392.5	784.7

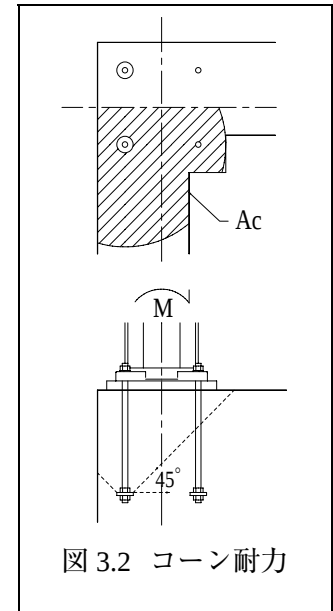


図 3.2 コーン耐力

3.5.2 基礎柱形主筋による定着

前項 (3.8) 式を満足できない場合は、(3.9) (3.10) 式を満足する鉄筋によりアンカーボルトの定着を確保する。この時、この鉄筋は柱脚部の耐力算定には用いないものとし、基礎への円滑な応力伝達を行うために定着長さ L_t （上部、下部重ね長さ）を確保する必要がある（図3.3参照）。また、表3.10にアンカーボルト 1 本当りの必要鉄筋本数 (n_r/n) を示す。本項に従いアンカーボルトの定着を行なう場合、表 3.10 の数値に引張力の発生するアンカーボルト本数を乗じた本数以上の鉄筋が必要である。

$$n_r \cdot A_r \cdot rF_u \geq n \cdot T_b \quad \dots (3.9)$$

n_r ：アンカーボルト定着に用いる鉄筋本数

rF_u ：鉄筋の F 値（JIS 製品は 1.1 倍可）(N/mm²)

T_b ：アンカーボルト終局耐力（3.4 項参照）(N)

rF ：鉄筋の F 値 (N/mm²)

A_r ：鉄筋 1 本の断面積 (mm²)

n ：引張側アンカーボルト本数

$$L_t \geq \frac{d_b \cdot F}{4\tau_{bu}} \quad \dots (3.10)$$

L_t ：鉄筋の定着長さ

d_b ：主筋径

F ：主筋の降伏応力

$$\tau_{bu} = \left\{ (0.086b_i + 0.11)\sqrt{F_c} + k_{st} \right\}$$

$$b_i = \min(b_{si}, b_{ci})$$

$$b_{si} = (b - N_1 d_b) / (N_1 d_b) \quad b_{ci} = \left\{ \sqrt{2} \cdot 2d_{cs} - d_b \right\} / d_b$$

$$k_{st} = \begin{cases} (56 + 47N_w / N_1)(b_{si} + 1)p_w & b_{ci} \geq b_{si} \text{ のとき} \\ 146A_w / (d_b \cdot s) & b_{ci} < b_{si} \text{ のとき} \end{cases}$$

F_c ：コンクリート強度(N/mm²)

b ：基礎柱形幅 N_1 ：一列の鉄筋本数 N_w ：帯筋の足の数

d_{cs} ：主筋の中心から側面までのかぶり厚さ

p_w ：帯筋比

A_w ：帯筋 1 本の断面積

s ：帯筋間隔

（日本建築学会編「鉄筋コンクリート造建物の靱性保証型耐震設計指針・同解説」参照）

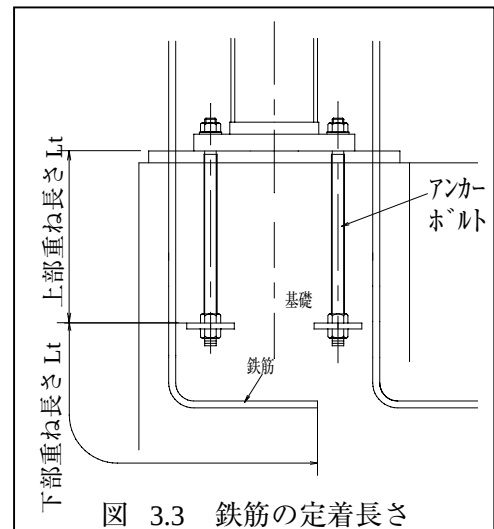


図 3.3 鉄筋の定着長さ

表 3.10 n_r/n (本)

		M30	M42
D22	SD345	3	5
	SD390	3	5
D25	SD345	2	4
	SD390	2	3
D29	SD345	2	3
	SD390	2	3

付録1．R C柱形とS R Cハイベースの納まり図（参考）



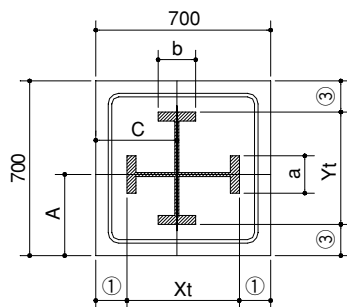
注 意

- ① 本納まり図は、一例です。
- ② 本納まり図とディテールが異なる場合はセンクシア(株)に問い合わせください。

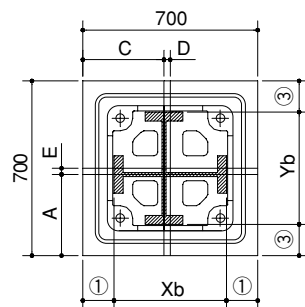
X400-S1-30 (RCサイズ 700×700)

SCALE=1/30

柱頭納まり図



柱脚納まり図



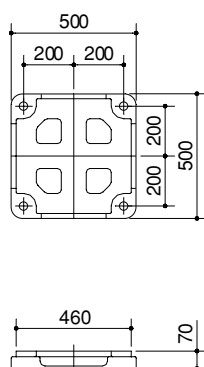
X方向鉄骨かぶり①により決まる寸法一覧 (参考)

①	Xt	Xb	C	b(max)	②	D
125	450	450	—	—	—	—
			325	~150		25
			350	~200		0
			375	~150		25
			—	—		—
150	400	400	—	—	—	—
			—	—		—
			350	~150		0
			—	—		—
			—	—		—

Y方向鉄骨かぶり③により決まる寸法一覧 (参考)

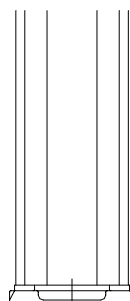
③	A	Yt	Yb	a(max)	E
125	—	450	450	—	—
	325			~150	25
	350			~200	0
	375			~150	25
	—			—	—
150	—	400	400	—	—
	—			—	—
	350			~150	0
	—			—	—
	—			—	—

ハイベース各部の寸法

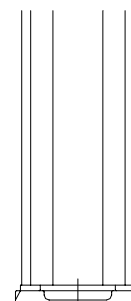


鉄骨絞り図 (参考)

X方向鉄骨柱



Y方向鉄骨柱

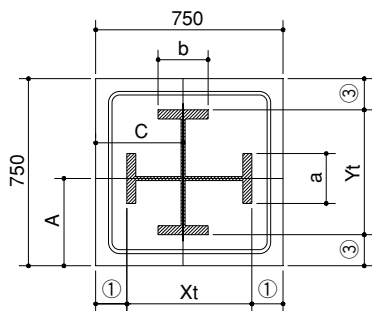


※ 1. 寸法表の『A』『C』寸法はRC端からウェブ芯までの距離を示す。
 ※ 2. 寸法表の『D』『E』寸法はハイベースセンターマークからウェブ芯までの距離を示す。

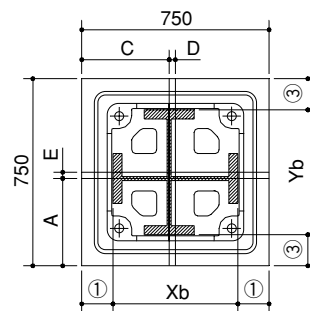
X450-S1-30 (RCサイズ750×750)

SCALE=1/30

柱頭納まり図



柱脚納まり図



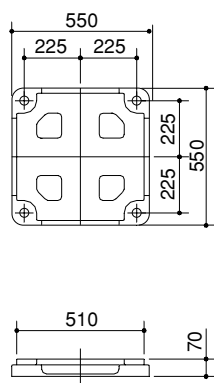
X方向鉄骨かぶり①により決まる寸法一覧 (参考)

①	Xt	Xb	C	b(max)	②	D
125	500	500	325	~150	—	50
			350	~200		25
			375	~250		0
			400	~200		25
			425	~150		50
			—	—		—
150	450	450	—	—	—	—
			350	~150		25
			375	~200		0
			400	~150		25
			—	—		—
			—	—		—

Y方向鉄骨かぶり③により決まる寸法一覧 (参考)

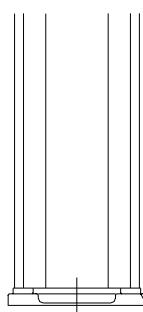
③	A	Yt	Yb	a(max)	E
125	325	500	500	~150	50
	350			~200	25
	375			~250	0
	400			~200	25
	425			~150	50
	—			—	—
150	—	450	450	—	—
	350			~150	25
	375			~200	0
	400			~150	25
	—			—	—
	—			—	—

ハイベース各部の寸法

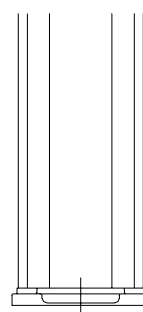


鉄骨絞り図 (参考)

X方向鉄骨柱



Y方向鉄骨柱

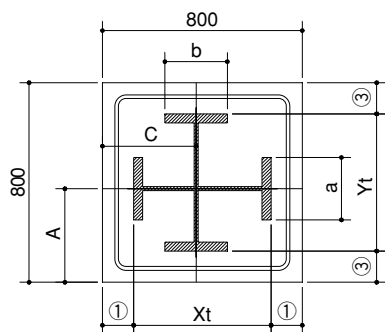


※ 1. 寸法表の『A』『C』寸法はRC端からウェブ芯までの距離を示す。
 ※ 2. 寸法表の『D』『E』寸法はハイベースセンターマークからウェブ芯までの距離を示す。

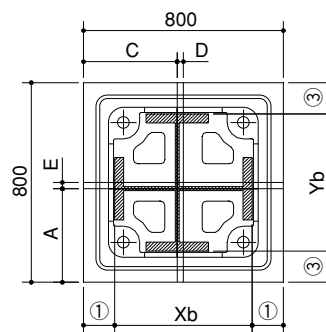
X500-S1-42 (RCサイズ 800×800)

SCALE=1/30

柱頭納まり図



柱脚納まり図



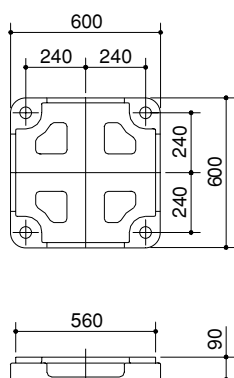
X方向鉄骨かぶり①により決まる寸法一覧 (参考)

①	Xt	Xb	C	b(max)	②	D
125	550	550	350	~200	—	50
			375	~250		25
			400	~300		0
			425	~250		25
			450	~200		50
			—	—		—
150	500	500	350	~150	—	50
			375	~200		25
			400	~250		0
			425	~200		25
			450	~150		50
			—	—		—

Y方向鉄骨かぶり③により決まる寸法一覧 (参考)

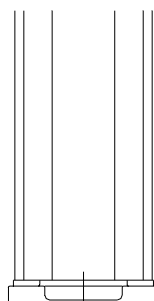
③	A	Yt	Yb	a(max)	E
125	350	550	550	~200	50
	375			~250	25
	400			~300	0
	425			~250	25
	450			~200	50
	—			—	—
150	350	500	500	~150	50
	375			~200	25
	400			~250	0
	425			~200	25
	450			~150	50
	—			—	—

ハイベース各部の寸法

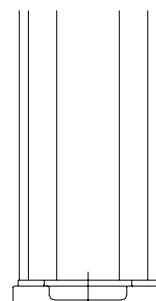


鉄骨絞り図 (参考)

X方向鉄骨柱



Y方向鉄骨柱

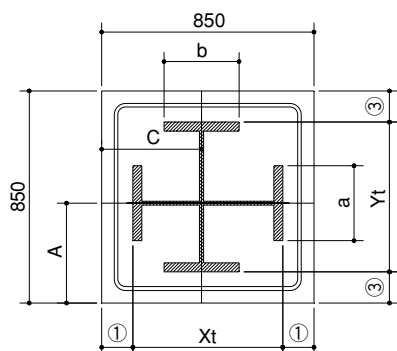


※ 1. 寸法表の『A』『C』寸法はRC端からウェブ芯までの距離を示す。
 ※ 2. 寸法表の『D』『E』寸法はハイベースセンターマークからウェブ芯までの距離を示す。

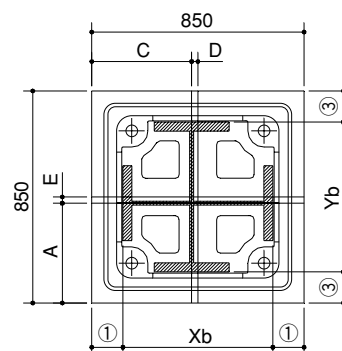
X550-S1-42 (RCサイズ`850×850)

SCALE=1/30

柱頭納まり図



柱脚納まり図



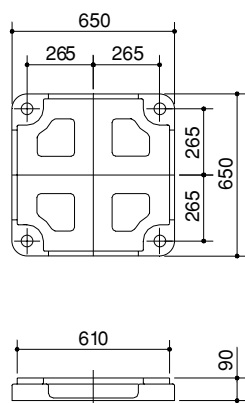
X方向鉄骨かぶり①により決まる寸法一覧 (参考)

①	Xt	Xb	C	b(max)	②	D
125	600	600	375	~250	—	50
			400	~300		25
			425	~350		0
			450	~300		25
			475	~250		50
			—	—		—
150	550	550	375	~200	—	50
			400	~250		25
			425	~300		0
			450	~250		25
			475	~200		50
			—	—		—

Y方向鉄骨かぶり③により決まる寸法一覧 (参考)

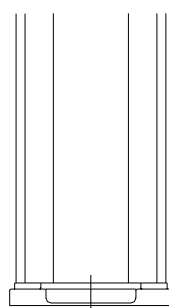
③	A	Yt	Yb	a(max)	E
125	375	600	600	~250	50
	400			~300	25
	425			~350	0
	450			~300	25
	475			~250	50
	—			—	—
150	375	550	550	~200	50
	400			~250	25
	425			~300	0
	450			~250	25
	475			~200	50
	—			—	—

ハイベース各部の寸法

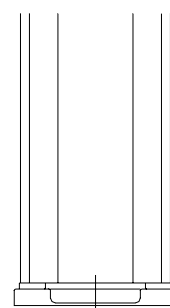


鉄骨絞り図 (参考)

X方向鉄骨柱



Y方向鉄骨柱



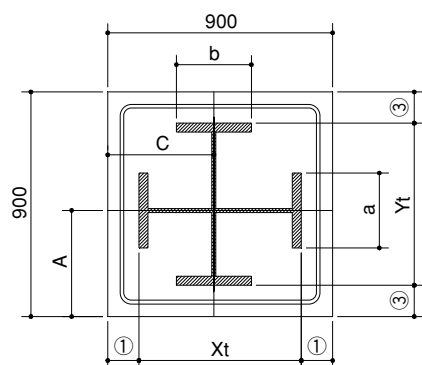
※ 1. 寸法表の『A』『C』寸法はRC端からウェブ芯までの距離を示す。

※ 2. 寸法表の『D』『E』寸法はハイベースセンターマークからウェブ芯までの距離を示す。

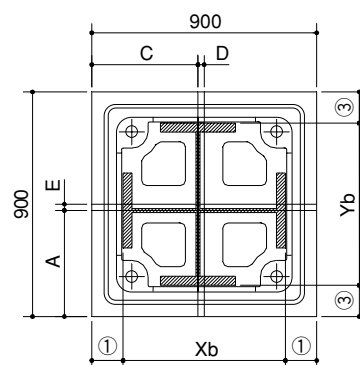
X600-S1-42 (RCサイズ 900×900)

SCALE=1/30

柱頭納まり図



柱脚納まり図



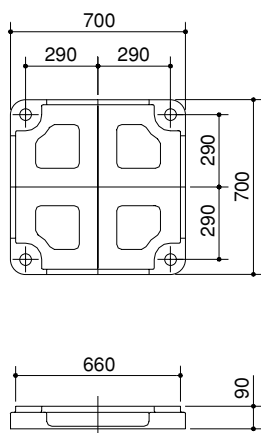
X方向鉄骨かぶり①により決まる寸法一覧 (参考)

①	Xt	Xb	C	b(max)	②	D
125	650	650	400	~300	—	50
			425	~350		25
			450	~400		0
			475	~350		25
			500	~300		50
			—	—		—
150	600	600	400	~250	—	50
			425	~300		25
			450	~350		0
			475	~300		25
			500	~250		50
			—	—		—

Y方向鉄骨かぶり③により決まる寸法一覧 (参考)

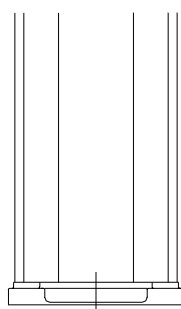
③	A	Yt	Yb	a(max)	E
125	400	650	650	~300	50
	425			~350	25
	450			~400	0
	475			~350	25
	500			~300	50
	—			—	—
150	400	600	600	~250	50
	425			~300	25
	450			~350	0
	475			~300	25
	500			~250	50
	—			—	—

ハイベース各部の寸法

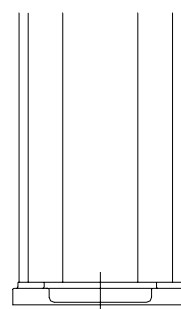


鉄骨絞り図 (参考)

X方向鉄骨柱



Y方向鉄骨柱

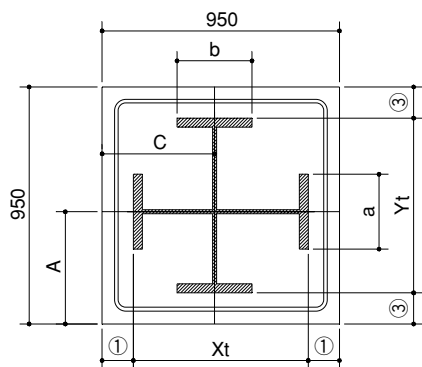


※ 1. 寸法表の『A』『C』寸法はRC端からウェブ芯までの距離を示す。
 ※ 2. 寸法表の『D』『E』寸法はハイベースセンターマークからウェブ芯までの距離を示す。

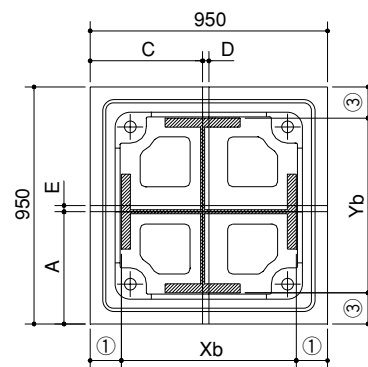
X650-S1-42 (RCサイズ`950×950)

SCALE=1/30

柱頭納まり図



柱脚納まり図



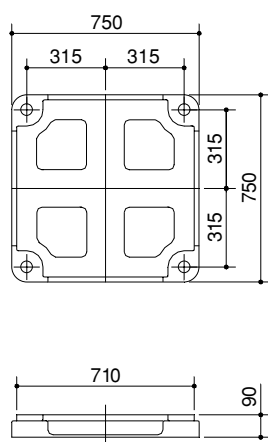
X方向鉄骨かぶり①により決まる寸法一覧 (参考)

①	Xt	Xb	C	b(max)	②	D
125	700	700	425	~350	—	50
			450	~400		25
			475	~450		0
			500	~400		25
			525	~350		50
			—	—		—
150	650	650	425	~300	—	50
			450	~350		25
			475	~400		0
			500	~350		25
			525	~300		50
			—	—		—

Y方向鉄骨かぶり③により決まる寸法一覧 (参考)

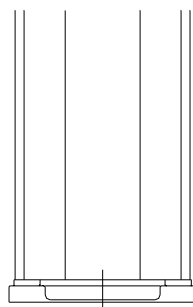
③	A	Yt	Yb	a(max)	E
125	425	700	700	~350	50
	450			~400	25
	475			~450	0
	500			~400	25
	525			~350	50
	—			—	—
150	425	650	650	~300	50
	450			~350	25
	475			~400	0
	500			~350	25
	525			~300	50
	—			—	—

ハイベース各部の寸法

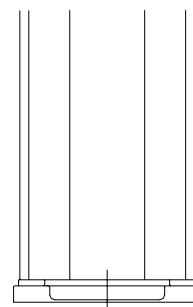


鉄骨絞り図 (参考)

X方向鉄骨柱



Y方向鉄骨柱



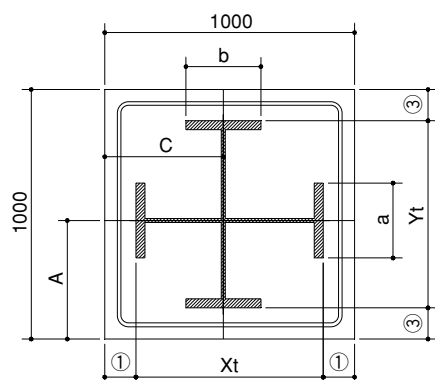
※ 1. 寸法表の『A』『C』寸法はRC端からウェブ芯までの距離を示す。

※ 2. 寸法表の『D』『E』寸法はハイベースセンターマークからウェブ芯までの距離を示す。

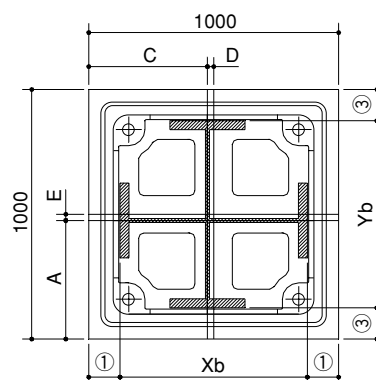
X700-S1-42 (RCサイズ 1000×1000)

SCALE=1/30

柱頭納まり図



柱脚納まり図



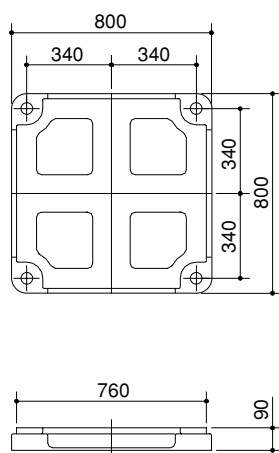
X方向鉄骨かぶり①により決まる寸法一覧 (参考)

①	Xt	Xb	C	b(max)	②	D
125	750	750	450	~400	—	50
			475	~450		25
			500	~450		0
			525	~450		25
			550	~400		50
			—	—		—
150	700	700	450	~350	—	50
			475	~400		25
			500	~450		0
			525	~400		25
			550	~350		50
			—	—		—

Y方向鉄骨かぶり③により決まる寸法一覧 (参考)

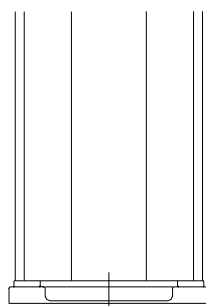
③	A	Yt	Yb	a(max)	E
125	450	750	750	~400	50
	475			~450	25
	500			~450	0
	525			~450	25
	550			~400	50
	—			—	—
150	450	700	700	~350	50
	475			~400	25
	500			~450	0
	525			~400	25
	550			~350	50
	—			—	—

ハイベース各部の寸法

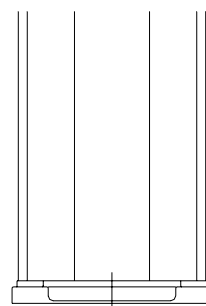


鉄骨絞り図 (参考)

X方向鉄骨柱



Y方向鉄骨柱

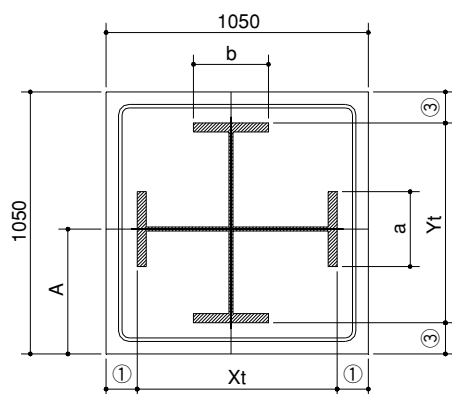


※ 1. 寸法表の『A』『C』寸法はRC端からウェブ芯までの距離を示す。
 ※ 2. 寸法表の『D』『E』寸法はハイベースセンターマークからウェブ芯までの距離を示す。

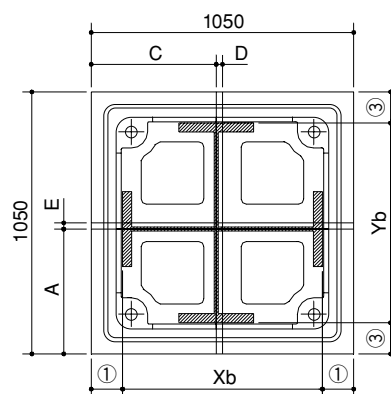
X750-S1-42 (RCサイズ 1050×1050)

SCALE=1/30

柱頭納まり図



柱脚納まり図



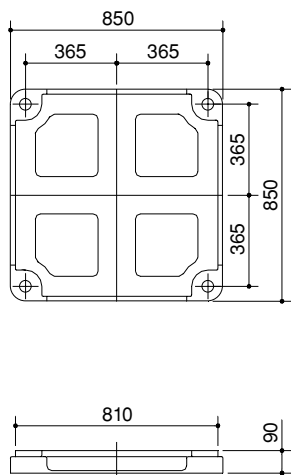
X方向鉄骨かぶり①により決まる寸法一覧 (参考)

①	Xt	Xb	C	b(max)	②	D
125	800	800	475	~450	—	50
			500	~450		25
			525	~450		0
			550	~450		25
			575	~450		50
			—	—		—
150	750	750	475	~400	—	50
			500	~450		25
			525	~450		0
			550	~450		25
			575	~400		50
			—	—		—

Y方向鉄骨かぶり③により決まる寸法一覧 (参考)

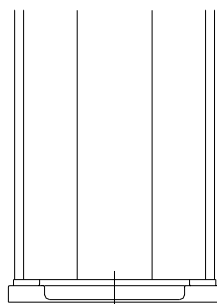
③	A	Yt	Yb	a(max)	E
125	475	800	800	~450	50
	500			~450	25
	525			~450	0
	550			~450	25
	575			~450	50
	—			—	—
150	475	750	750	~400	50
	500			~450	25
	525			~450	0
	550			~450	25
	575			~400	50
	—			—	—

ハイベース各部の寸法

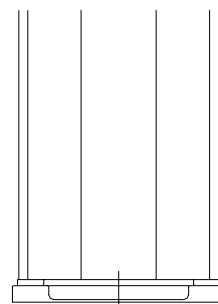


鉄骨絞り図 (参考)

X方向鉄骨柱



Y方向鉄骨柱



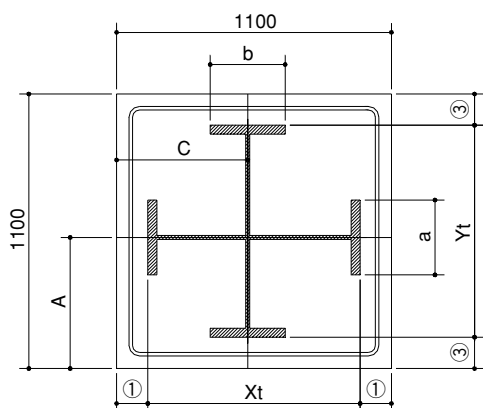
※ 1. 寸法表の『A』『C』寸法はRC端からウェブ芯までの距離を示す。

※ 2. 寸法表の『D』『E』寸法はハイベースセンターマークからウェブ芯までの距離を示す。

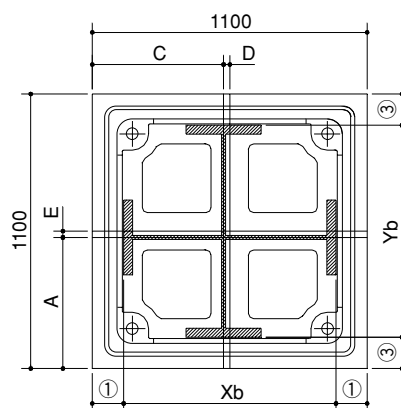
X800-S1-42 (RCサイズ 1100×1100)

SCALE=1/30

柱頭納まり図



柱脚納まり図



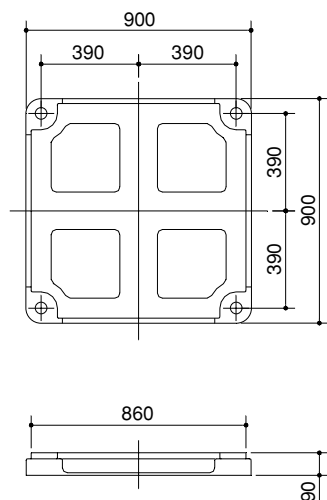
X方向鉄骨かぶり①により決まる寸法一覧 (参考)

①	Xt	Xb	C	b(max)	②	D
125	850	850	500	~450	—	50
			525	~450		25
			550	~450		0
			575	~450		25
			600	~450		50
			—	—		—
150	800	800	500	~450	—	50
			525	~450		25
			550	~450		0
			575	~450		25
			600	~450		50
			—	—		—

Y方向鉄骨かぶり③により決まる寸法一覧 (参考)

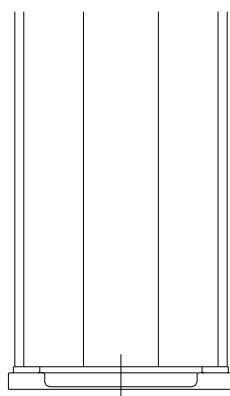
③	A	Yt	Yb	a(max)	E
125	500	850	850	~450	50
	525			~450	25
	550			~450	0
	575			~450	25
	600			~450	50
	—			—	—
150	500	800	800	~450	50
	525			~450	25
	550			~450	0
	575			~450	25
	600			~450	50
	—			—	—

ハイベース各部の寸法

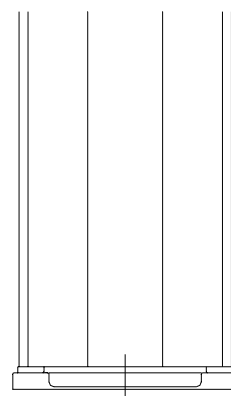


鉄骨絞り図 (参考)

X方向鉄骨柱



Y方向鉄骨柱

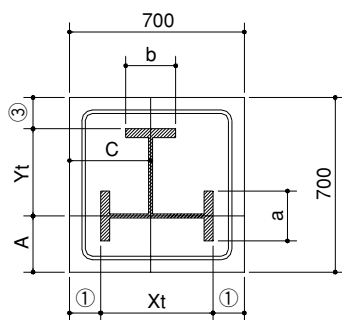


※ 1. 寸法表の『A』『C』寸法はRC端からウェブ芯までの距離を示す。
 ※ 2. 寸法表の『D』『E』寸法はハイベースセンターマークからウェブ芯までの距離を示す。

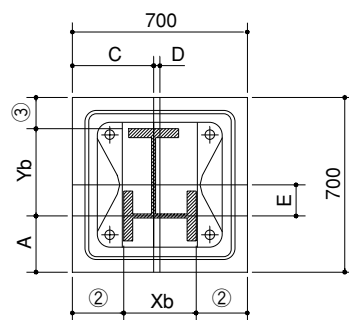
T400-S1-30 (RCサイズ700×700)

SCALE=1/30

柱頭納まり図



柱脚納まり図



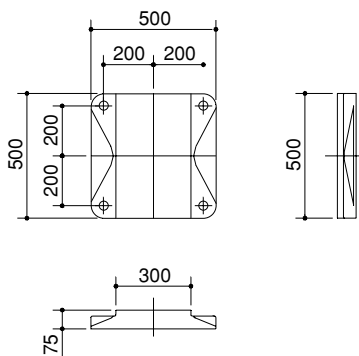
X方向鉄骨かぶり①により決まる寸法一覧 (参考)

①	Xt	Xb	C	b(max)	②	D
125	450	290	—	—	205	—
			—	—		—
			300	~150		50
			325	~200		25
			350	~250		0
			375	~200		25
			400	~150		50
			—	—		—
			—	—		—
150	400	290	—	—	205	—
			—	—		—
			300	~150		50
			325	~200		25
			350	~250		0
			375	~200		25
			400	~150		50
			—	—		—
			—	—		—

Y方向鉄骨かぶり③により決まる寸法一覧 (参考)

③	A	Yt	Yb	a(max)	E
125	200	375	375	~150	150
	225	350	350	~200	125
	250	325	325	~250	100
	275	300	300	~300	75
	300	275	275	~250	50
	325	250	250	~200	25
	350	225	225	~150	0
	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—
150	225	325	325	~150	125
	250	300	300	~200	100
	275	275	275	~250	75
	300	250	250	~200	50
	325	225	225	~150	25
	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—

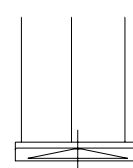
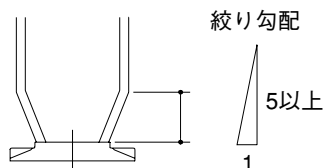
ハイベース各部の寸法



鉄骨絞り図 (参考)

X方向鉄骨柱

Y方向鉄骨柱

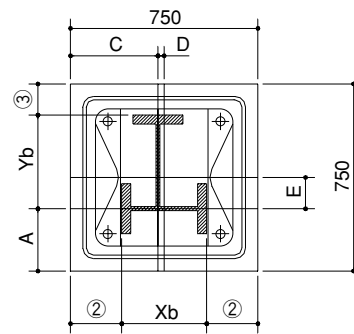


※ 1. 寸法表の『A』『C』寸法はRC端からウェブ芯までの距離を示す。

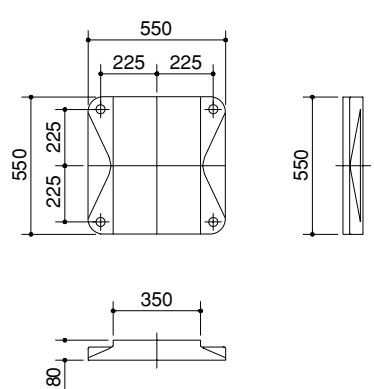
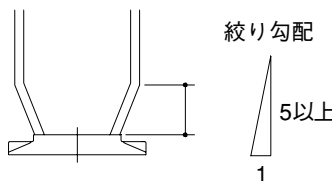
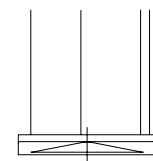
※ 2. 寸法表の『D』『E』寸法はハイベースセンターマークからウェブ芯までの距離を示す。

SCALE=1/30

柱脚納まり図



Y方向鉄骨かぶり③により決まる寸法一覧（参考）

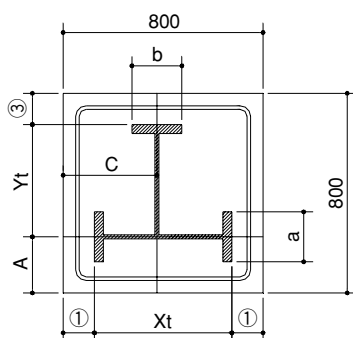
ハイベース各部の寸法	鉄骨絞り図（参考）	
 Technical drawing of the high base showing top, side, and front views with dimensions. The top view is a rectangle with overall dimensions 550 (width) x 550 (depth). It features a central square area with side lengths of 225. The front view shows a base width of 350 and a height of 80.	X 方向鉄骨柱  Diagram showing the X-direction steel column section and reinforcement ratio. The reinforcement ratio is indicated as 5以上 (5 or more) over 1.	Y 方向鉄骨柱  Diagram showing the Y-direction steel column section.

– 26 –

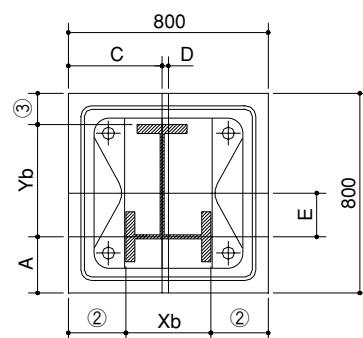
T500-S1-42 (RCサイズ 800×800)

SCALE=1/30

柱頭納まり図



柱脚納まり図



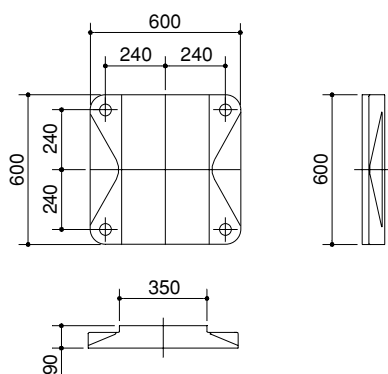
X方向鉄骨かぶり①により決まる寸法一覧 (参考)

①	Xt	Xb	C	b(max)	②	D
125	550	340	—	—	230	—
			325	~150		75
			350	~200		50
			375	~250		25
			400	~300		0
			425	~250		25
			450	~200		50
			475	~150		75
			—	—		—
150	500	340	—	—	230	—
			325	~150		75
			350	~200		50
			375	~250		25
			400	~300		0
			425	~250		25
			450	~200		50
			475	~150		75
			—	—		—

Y方向鉄骨かぶり③により決まる寸法一覧 (参考)

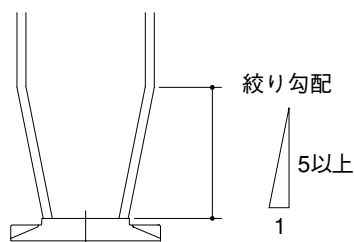
③	A	Yt	Yb	a(max)	E
125	200	475	475	~150	200
	225	450	450	~200	175
	250	425	425	~250	150
	275	400	400	~300	125
	300	375	375	~350	100
	325	350	350	~400	75
	350	325	325	~350	50
	375	300	300	~300	25
	400	275	275	~250	0
150	225	425	425	~150	175
	250	400	400	~200	150
	275	375	375	~250	125
	300	350	350	~300	100
	325	325	325	~350	75
	350	300	300	~300	50
	375	275	275	~250	25
	400	250	250	~200	0
	425	225	225	~150	25

ハイベース各部の寸法

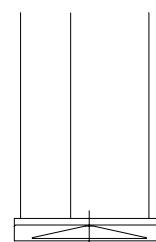


鉄骨絞り図 (参考)

X方向鉄骨柱



Y方向鉄骨柱

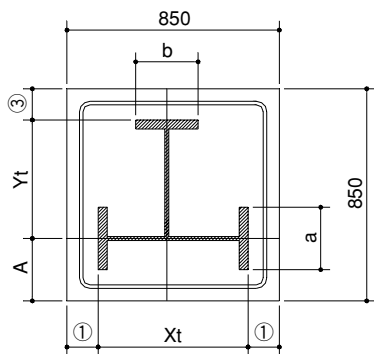


※ 1. 寸法表の『A』『C』寸法はRC端からウェブ芯までの距離を示す。
 ※ 2. 寸法表の『D』『E』寸法はハイベースセンターマークからウェブ芯までの距離を示す。

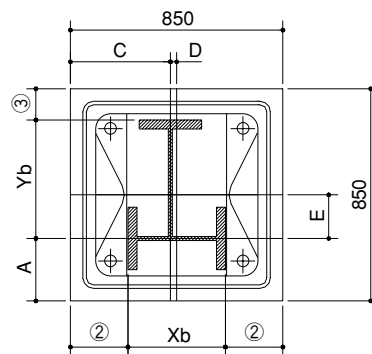
T550-S1-42 (RCサイズ 850×850)

SCALE=1/30

柱頭納まり図



柱脚納まり図



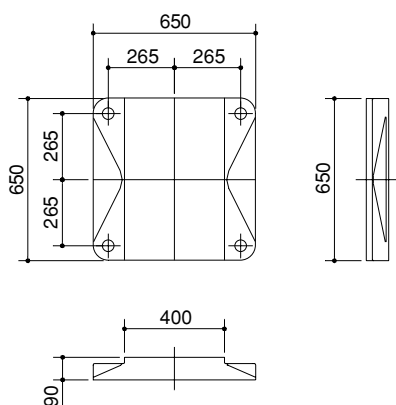
X方向鉄骨かぶり①により決まる寸法一覧 (参考)

①	Xt	Xb	C	b(max)	②	D
125	600	390	325	~150	230	100
			350	~200		75
			375	~250		50
			400	~300		25
			425	~350		0
			450	~300		25
			475	~250		50
			500	~200		75
			525	~150		100
150	550	390	325	~150	230	100
			350	~200		75
			375	~250		50
			400	~300		25
			425	~350		0
			450	~300		25
			475	~250		50
			500	~200		75
			525	~150		100

Y方向鉄骨かぶり③により決まる寸法一覧 (参考)

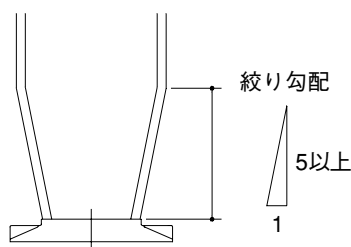
③	A	Yt	Yb	a(max)	E
125	200	525	525	~150	225
	225	500	500	~200	200
	250	475	475	~250	175
	275	450	450	~300	150
	300	425	425	~350	125
	325	400	400	~400	100
	350	375	375	~450	75
	375	350	350	~400	50
	400	325	325	~350	25
150	225	475	475	~150	200
	250	450	450	~200	175
	275	425	425	~250	150
	300	400	400	~300	125
	325	375	375	~350	100
	350	350	350	~400	75
	375	325	325	~350	50
	400	300	300	~300	25
	425	275	275	~250	0

ハイベース各部の寸法

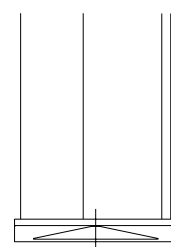


鉄骨絞り図 (参考)

X方向鉄骨柱



Y方向鉄骨柱

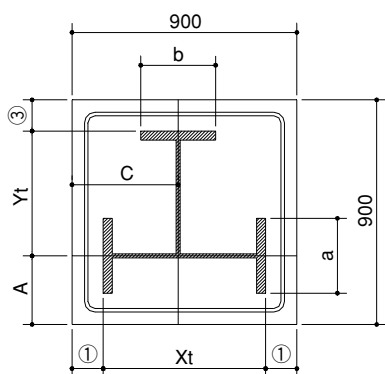


※ 1. 寸法表の『A』『C』寸法はRC端からウェブ芯までの距離を示す。
 ※ 2. 寸法表の『D』『E』寸法はハイベースセンターマークからウェブ芯までの距離を示す。

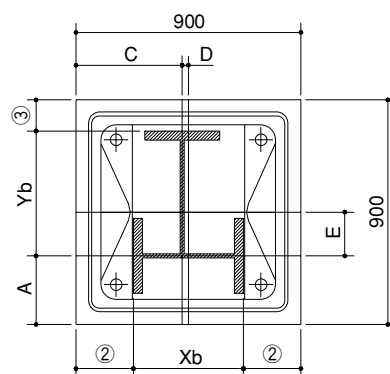
T600-S1-42 (RCサイズ`900×900)

SCALE=1/30

柱頭納まり図



柱脚納まり図



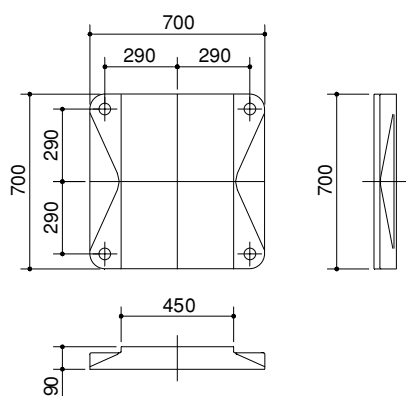
X方向鉄骨かぶり①により決まる寸法一覧 (参考)

①	Xt	Xb	C	b(max)	②	D
125	650	440	350	~200	230	100
			375	~250		75
			400	~300		50
			425	~350		25
			450	~400		0
			475	~350		25
			500	~300		50
			525	~250		75
			550	~200		100
150	600	440	350	~200	230	100
			375	~250		75
			400	~300		50
			425	~350		25
			450	~400		0
			475	~350		25
			500	~300		50
			525	~250		75
			550	~200		100

Y方向鉄骨かぶり③により決まる寸法一覧 (参考)

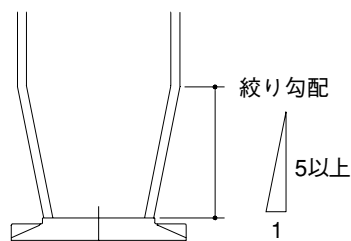
③	A	Yt	Yb	a(max)	E
125	200	575	575	~150	250
	225	550	550	~200	225
	250	525	525	~250	200
	275	500	500	~300	175
	300	475	475	~350	150
	325	450	450	~400	125
	350	425	425	~450	100
	375	400	400	~450	75
	400	375	375	~450	50
150	225	525	525	~150	225
	250	500	500	~200	200
	275	475	475	~250	175
	300	450	450	~300	150
	325	425	425	~350	125
	350	400	400	~400	100
	375	375	375	~450	75
	400	350	350	~400	50
	425	325	325	~350	25

ハイベース各部の寸法

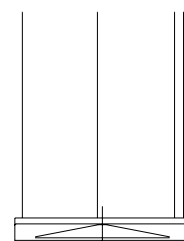


鉄骨絞り図 (参考)

X方向鉄骨柱



Y方向鉄骨柱



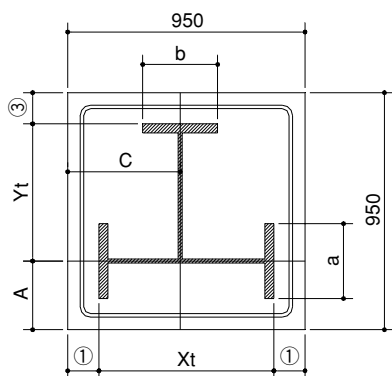
※ 1. 寸法表の『A』『C』寸法はRC端からウェブ芯までの距離を示す。

※ 2. 寸法表の『D』『E』寸法はハイベースセンターマークからウェブ芯までの距離を示す。

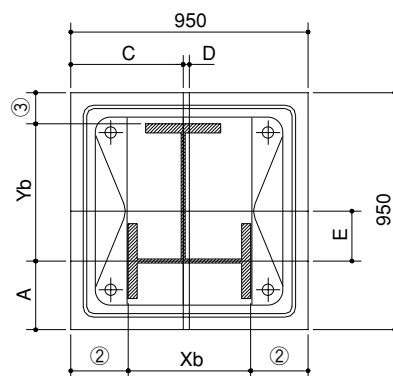
T650-S1-42 (RCサイズ 950×950)

SCALE=1/30

柱頭納まり図



柱脚納まり図



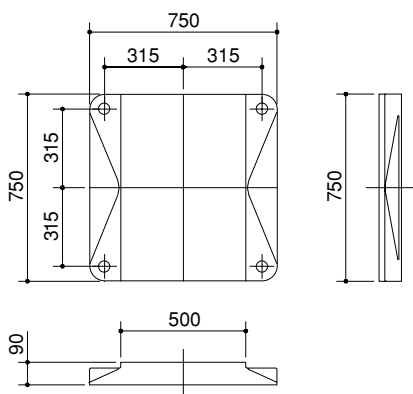
X方向鉄骨かぶり①により決まる寸法一覧 (参考)

①	Xt	Xb	C	b(max)	②	D
125	700	490	375	~250	230	100
			400	~300		75
			425	~350		50
			450	~400		25
			475	~450		0
			500	~400		25
			525	~350		50
			550	~300		75
			575	~250		100
150	650	490	375	~250	230	100
			400	~300		75
			425	~350		50
			450	~400		25
			475	~450		0
			500	~400		25
			525	~350		50
			550	~300		75
			575	~250		100

Y方向鉄骨かぶり③により決まる寸法一覧 (参考)

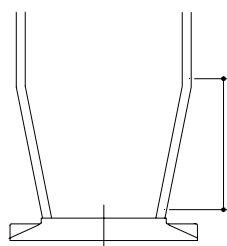
③	A	Yt	Yb	a(max)	E
125	200	625	625	~150	275
	225	600	600	~200	250
	250	575	575	~250	225
	275	550	550	~300	200
	300	525	525	~350	175
	325	500	500	~400	150
	350	475	475	~450	125
	375	450	450	~450	100
	400	425	425	~450	75
150	225	575	575	~150	250
	250	550	550	~200	225
	275	525	525	~250	200
	300	500	500	~300	175
	325	475	475	~350	150
	350	450	450	~400	125
	375	425	425	~450	100
	400	400	400	~450	75
	425	375	375	~450	50

ハイベース各部の寸法



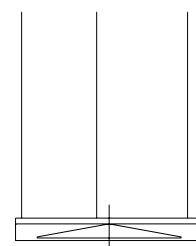
鉄骨絞り図 (参考)

X方向鉄骨柱



絞り勾配
5以上
1

Y方向鉄骨柱

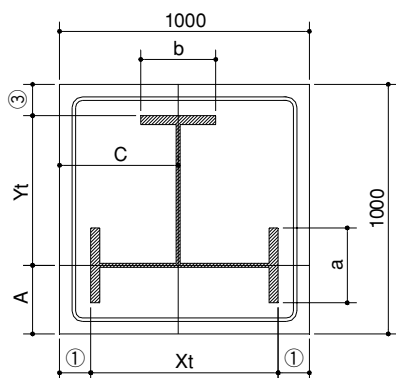


※ 1. 寸法表の『A』『C』寸法はRC端からウェブ芯までの距離を示す。
 ※ 2. 寸法表の『D』『E』寸法はハイベースセンターマークからウェブ芯までの距離を示す。

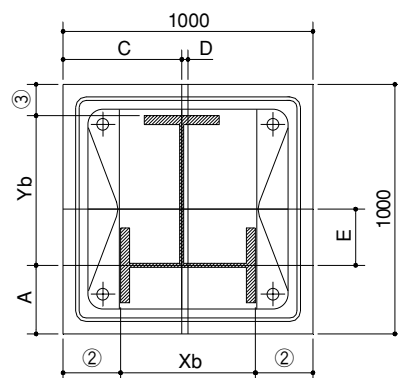
T700-S1-42 (RCサイズ 1000×1000)

SCALE=1/30

柱頭納まり図



柱脚納まり図



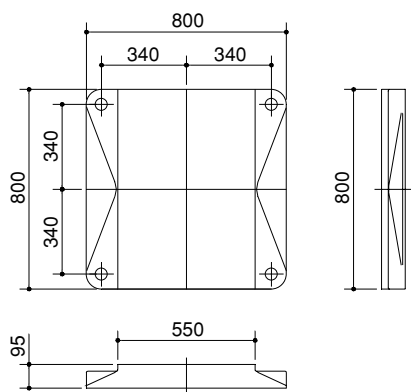
X方向鉄骨かぶり①により決まる寸法一覧 (参考)

①	Xt	Xb	C	b(max)	②	D
125	750	540	400	~300	230	100
			425	~350		75
			450	~400		50
			475	~450		25
			500	~450		0
			525	~450		25
			550	~400		50
			575	~350		75
			600	~300		100
150	700	540	400	~300	230	100
			425	~350		75
			450	~400		50
			475	~450		25
			500	~450		0
			525	~450		25
			550	~400		50
			575	~350		75
			600	~300		100

Y方向鉄骨かぶり③により決まる寸法一覧 (参考)

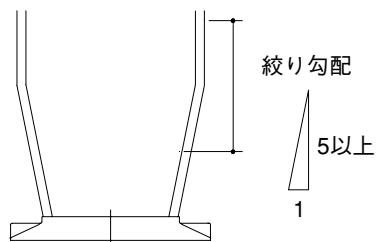
③	A	Yt	Yb	a(max)	E
125	200	675	675	~150	300
	225	650	650	~200	275
	250	625	625	~250	250
	275	600	600	~300	225
	300	575	575	~350	200
	325	550	550	~400	175
	350	525	525	~450	150
	375	500	500	~450	125
	400	475	475	~450	100
150	225	625	625	~150	275
	250	600	600	~200	250
	275	575	575	~250	225
	300	550	550	~300	200
	325	525	525	~350	175
	350	500	500	~400	150
	375	475	475	~450	125
	400	450	450	~450	100
	425	425	425	~450	75

ハイベース各部の寸法

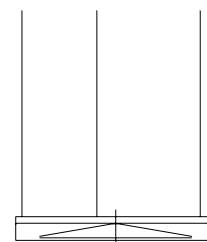


鉄骨絞り図 (参考)

X方向鉄骨柱



Y方向鉄骨柱

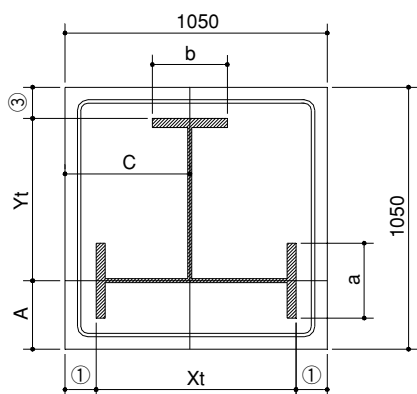


※ 1. 寸法表の『A』『C』寸法はRC端からウェブ芯までの距離を示す。
 ※ 2. 寸法表の『D』『E』寸法はハイベースセンターマークからウェブ芯までの距離を示す。

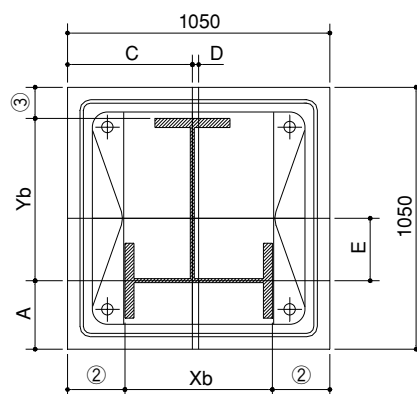
T750-S1-42 (RCサイズ 1050×1050)

SCALE=1/30

柱頭納まり図



柱脚納まり図

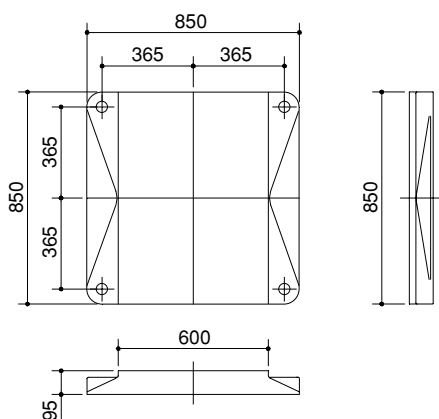


X方向鉄骨かぶり①により決まる寸法一覧 (参考)

Y方向鉄骨かぶり③により決まる寸法一覧 (参考)

①	Xt	Xb	C	b(max)	②	D	③	A	Yt	Yb	a(max)	E
125	800	590	425	~350	230	100	125	200	725	725	~150	325
			450	~400		75		225	700	700	~200	300
			475	~450		50		250	675	675	~250	275
			500	~450		25		275	650	650	~300	250
			525	~450		0		300	625	625	~350	225
			550	~450		25		325	600	600	~400	200
			575	~450		50		350	575	575	~450	175
			600	~400		75		375	550	550	~450	150
			625	~350		100		400	525	525	~450	125
150	750	590	425	~350	230	100	150	225	675	675	~150	300
			450	~400		75		250	650	650	~200	275
			475	~450		50		275	625	625	~250	250
			500	~450		25		300	600	600	~300	225
			525	~450		0		325	575	575	~350	200
			550	~450		25		350	550	550	~400	175
			575	~450		50		375	525	525	~450	150
			600	~400		75		400	500	500	~450	125
			625	~350		100		425	475	475	~450	100

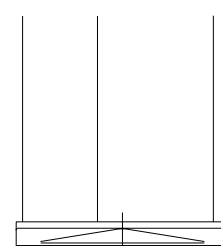
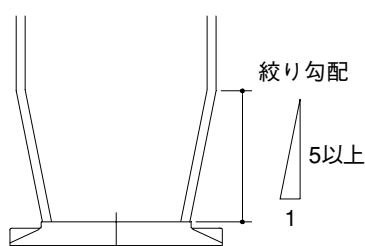
ハイベース各部の寸法



鉄骨絞り図 (参考)

X方向鉄骨柱

Y方向鉄骨柱

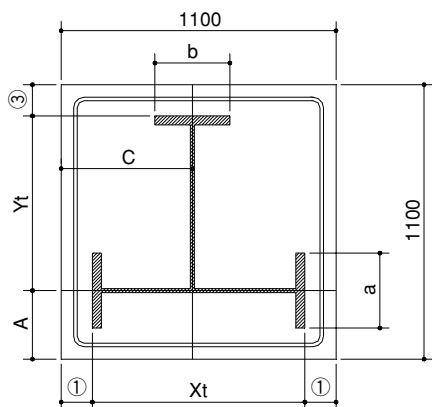


※ 1. 寸法表の『A』『C』寸法はRC端からウェブ芯までの距離を示す。
 ※ 2. 寸法表の『D』『E』寸法はハイベースセンターマークからウェブ芯までの距離を示す。

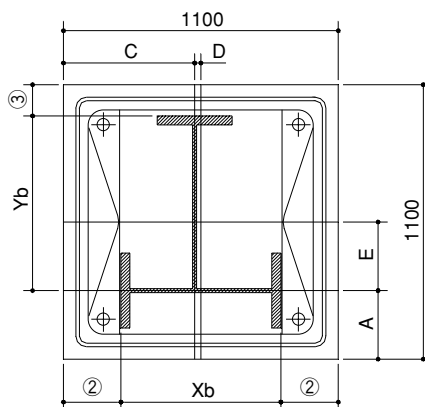
T800-S1-42 (RCサイズ 1100×1100)

SCALE=1/30

柱頭納まり図



柱脚納まり図



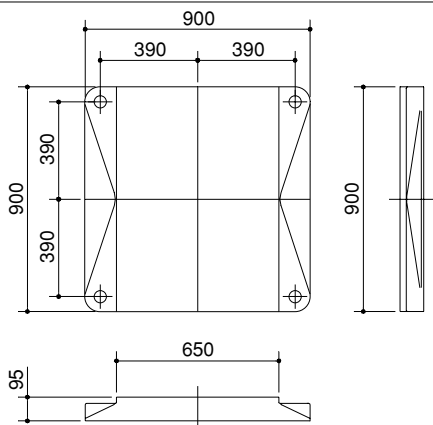
X方向鉄骨かぶり①により決まる寸法一覧 (参考)

①	Xt	Xb	C	b(max)	②	D
125	850	640	450	~400	230	100
			475	~450		75
			500	~450		50
			525	~450		25
			550	~450		0
			575	~450		25
			600	~450		50
			625	~450		75
			650	~400		100
150	800	640	450	~400	230	100
			475	~450		75
			500	~450		50
			525	~450		25
			550	~450		0
			575	~450		25
			600	~450		50
			625	~450		75
			650	~400		100

Y方向鉄骨かぶり③により決まる寸法一覧 (参考)

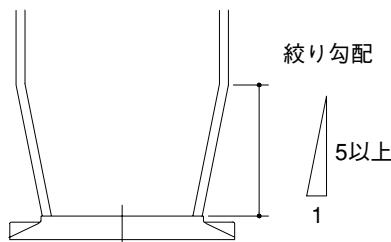
③	A	Yt	Yb	a(max)	E
125	200	775	775	~150	350
	225	750	750	~200	325
	250	725	725	~250	300
	275	700	700	~300	275
	300	675	675	~350	250
	325	650	650	~400	225
	350	625	625	~450	200
	375	600	600	~450	175
	400	575	575	~450	150
150	225	725	725	~150	325
	250	700	700	~200	300
	275	675	675	~250	275
	300	650	650	~300	250
	325	625	625	~350	225
	350	600	600	~400	200
	375	575	575	~450	175
	400	550	550	~450	150
	425	525	525	~450	125

ハイベース各部の寸法

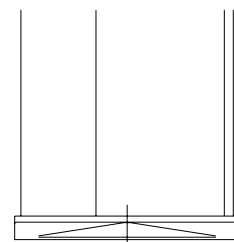


鉄骨絞り図 (参考)

X方向鉄骨柱



Y方向鉄骨柱



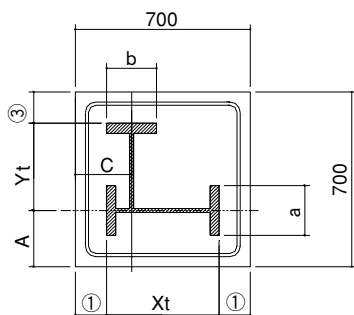
※ 1. 寸法表の『A』『C』寸法はRC端からウェブ芯までの距離を示す。

※ 2. 寸法表の『D』『E』寸法はハイベースセンターマークからウェブ芯までの距離を示す。

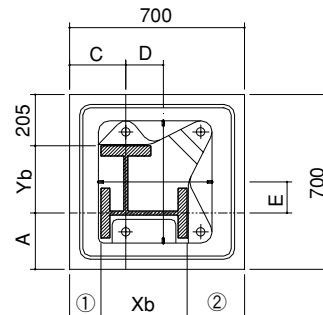
LL400-S1-30 (RCサイズ 700×700)

SCALE=1/30

柱頭納まり図



柱脚納まり図



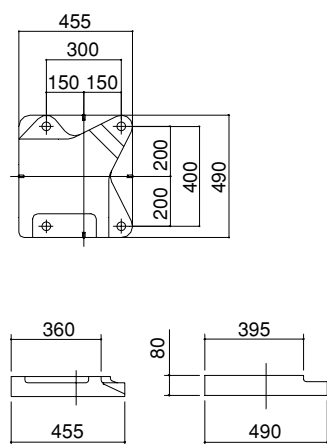
X方向鉄骨かぶり①により決まる寸法一覧 (参考)

①	Xt	Xb	C	b(max)	②	D
125	450	345	225	~200	230	150
			250	~250		125
			275	~300		100
			300	~250		75
			325	~200		50
			350	~150		25
150	400	345	250	~200	205	150
			275	~250		125
			300	~300		100
			325	~250		75
			350	~200		50
			—	—		—

Y方向鉄骨かぶり③により決まる寸法一覧 (参考)

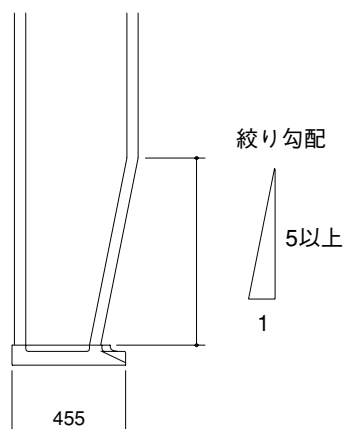
③	A	Yt	Yb	a(max)	E
125	225	350	270	~200	125
	250	325	245	~200	100
	275	300	220	~150	75
	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—
150	225	325	270	~150	125
	250	300	245	~200	100
	275	275	220	~150	75
	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—

ハイベース各部の寸法

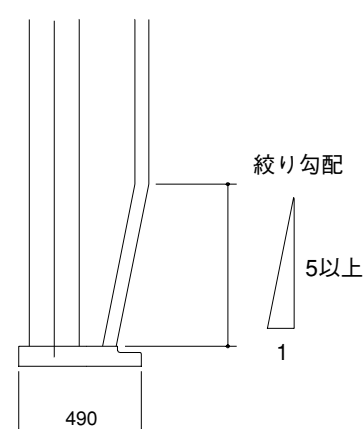


鉄骨絞り図 (参考)

X方向鉄骨柱



Y方向鉄骨柱

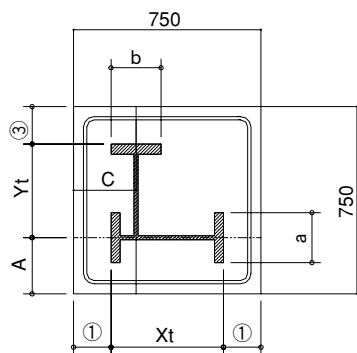


※ 1. 寸法表の『A』『C』寸法はRC端からウェブ芯までの距離を示す。
 ※ 2. 寸法表の『D』『E』寸法はハイベースセンターマークからウェブ芯までの距離を示す。

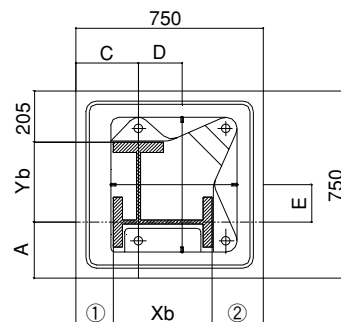
LL450-S1-30 (RCサイズ 750×750)

SCALE=1/30

柱頭納まり図



柱脚納まり図



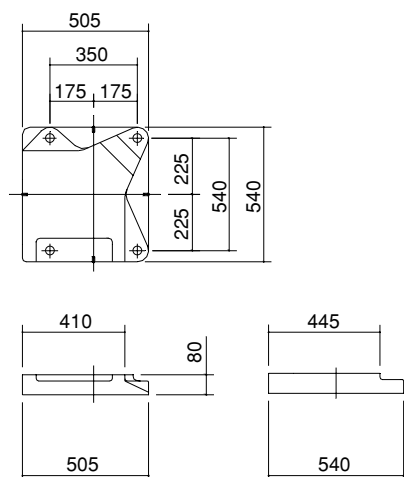
X方向鉄骨かぶり①により決まる寸法一覧 (参考)

①	Xt	Xb	C	b(max)	②	D
125	500	395	225	~200	230	175
			250	~250		150
			275	~300		125
			300	~300		100
			325	~250		75
			350	~200		50
150	450	395	250	~200	205	175
			275	~250		150
			300	~300		125
			325	~300		100
			350	~250		75
			375	~200		50

Y方向鉄骨かぶり③により決まる寸法一覧 (参考)

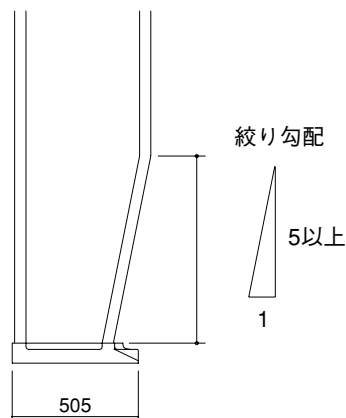
③	A	Yt	Yb	a(max)	E
125	225	400	320	~200	150
	250	375	295	~250	125
	275	350	270	~250	100
	300	325	245	~200	75
	325	300	220	~150	50
	—	—	—	—	—
150	225	375	320	~150	150
	250	350	295	~200	125
	275	325	270	~250	100
	300	300	245	~200	75
	325	275	220	~150	50
	—	—	—	—	—

ハイベース各部の寸法

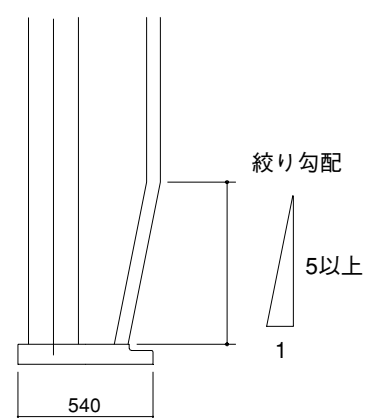


鉄骨絞り図 (参考)

X方向鉄骨柱



Y方向鉄骨柱



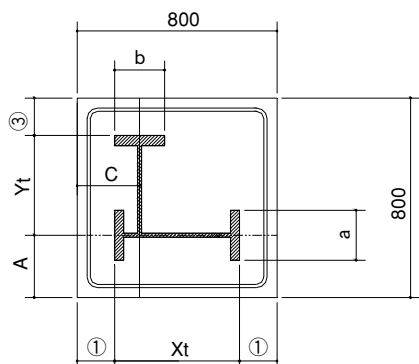
※ 1. 寸法表の『A』『C』寸法はRC端からウェブ芯までの距離を示す。

※ 2. 寸法表の『D』『E』寸法はハイベースセンターマークからウェブ芯までの距離を示す。

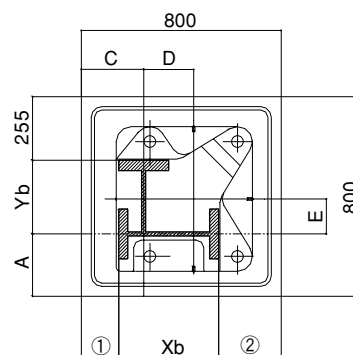
LL500-S1-42 (RCサイズ 800×800)

SCALE=1/30

柱頭納まり図



柱脚納まり図



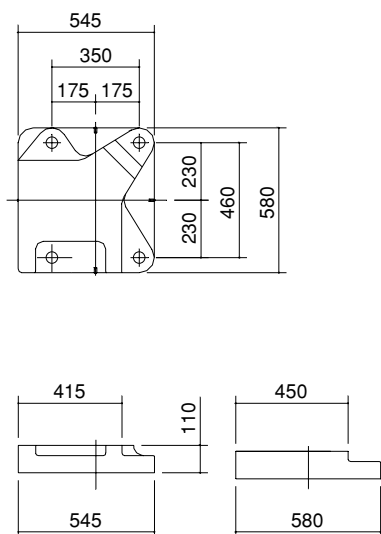
X方向鉄骨かぶり①により決まる寸法一覧 (参考)

①	Xt	Xb	C	b(max)	②	D
125	550	400	225	~200	275	200
			250	~250		175
			275	~300		150
			300	~350		125
			325	~350		100
			350	~300		75
150	500	400	250	~200	250	200
			275	~250		175
			300	~300		150
			325	~350		125
			350	~350		100
			375	~300		75

Y方向鉄骨かぶり③により決まる寸法一覧 (参考)

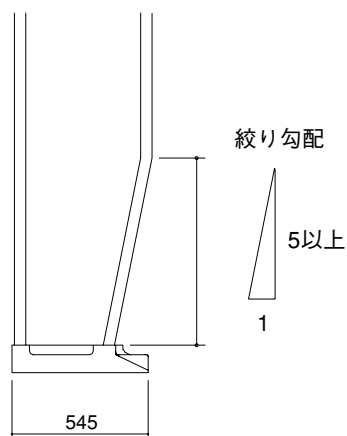
③	A	Yt	Yb	a(max)	E
125	250	425	295	~250	140
	275	400	270	~250	115
	300	375	245	~200	90
	325	350	220	~150	65
	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—
150	250	400	295	~250	140
	275	375	270	~250	115
	300	350	245	~200	90
	325	325	220	~150	65
	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—

ハイベース各部の寸法

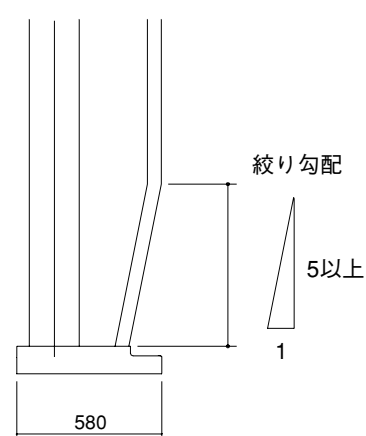


鉄骨絞り図 (参考)

X方向鉄骨柱



Y方向鉄骨柱

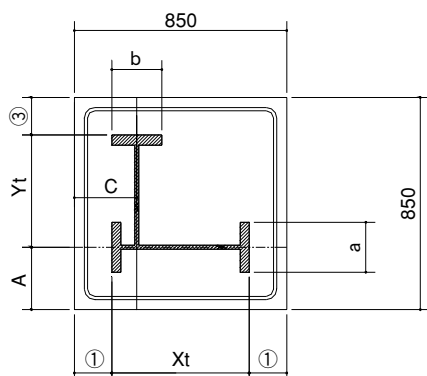


※ 1. 寸法表の『A』『C』寸法はRC端からウェブ芯までの距離を示す。
 ※ 2. 寸法表の『D』『E』寸法はハイベースセンターマークからウェブ芯までの距離を示す。

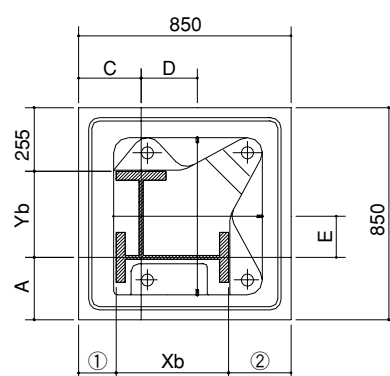
LL550-S1-42 (RCサイズ`850×850)

SCALE=1/30

柱頭納まり図



柱脚納まり図



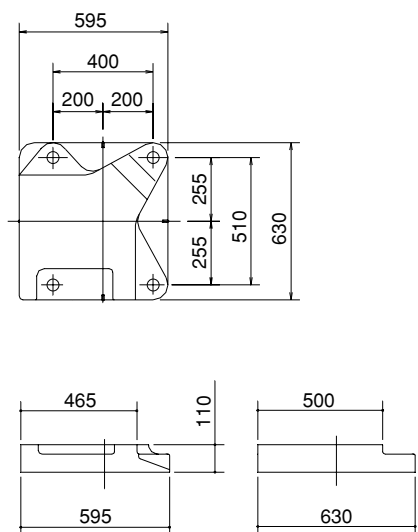
X方向鉄骨かぶり①により決まる寸法一覧 (参考)

①	Xt	Xb	C	b(max)	②	D
125	600	450	225	~200	275	225
			250	~250		200
			275	~300		175
			300	~350		150
			325	~350		125
			350	~350		100
150	550	450	250	~200	250	225
			275	~250		200
			300	~300		175
			325	~350		150
			350	~350		125
			375	~350		100

Y方向鉄骨かぶり③により決まる寸法一覧 (参考)

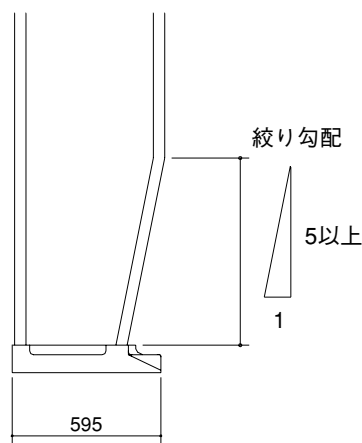
③	A	Yt	Yb	a(max)	E
125	250	475	345	~250	165
	275	450	320	~300	140
	300	425	295	~300	115
	325	400	270	~250	90
	350	375	245	~200	65
	375	350	220	~150	40
150	250	450	345	~200	165
	275	425	320	~250	140
	300	400	295	~300	115
	325	375	270	~250	90
	350	350	245	~200	65
	375	325	220	~150	40

ハイベース各部の寸法

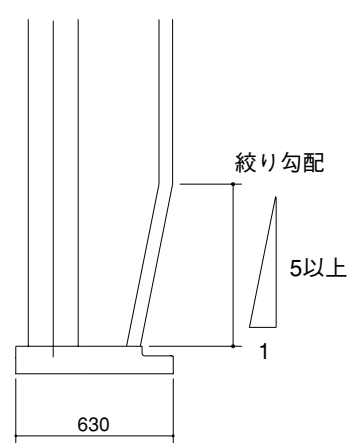


鉄骨絞り図 (参考)

X方向鉄骨柱



Y方向鉄骨柱



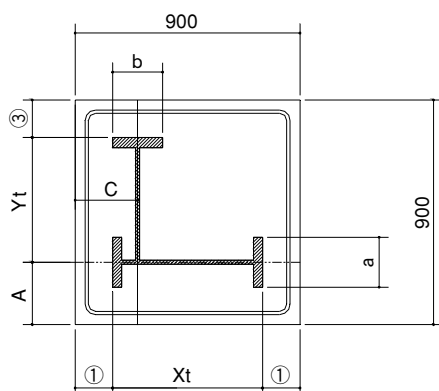
※ 1. 寸法表の『A』『C』寸法はRC端からウェブ芯までの距離を示す。

※ 2. 寸法表の『D』『E』寸法はハイベースセンターマークからウェブ芯までの距離を示す。

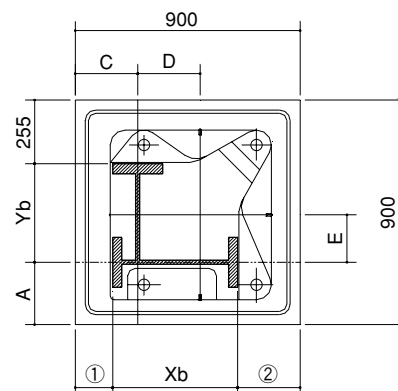
LL600-S1-42 (RCサイズ`900×900)

SCALE=1/30

柱頭納まり図



柱脚納まり図



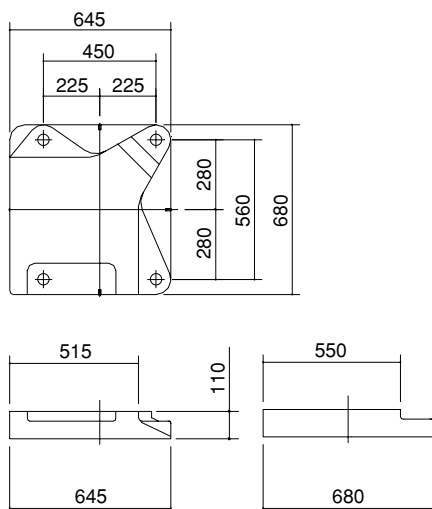
X方向鉄骨かぶり①により決まる寸法一覧 (参考)

①	Xt	Xb	C	b(max)	②	D
125	650	500	225	~200	275	250
			250	~250		225
			275	~300		200
			300	~350		175
			325	~400		150
			350	~450		125
150	600	500	250	~200	250	250
			275	~250		225
			300	~300		200
			325	~350		175
			350	~400		150
			375	~450		125

Y方向鉄骨かぶり③により決まる寸法一覧 (参考)

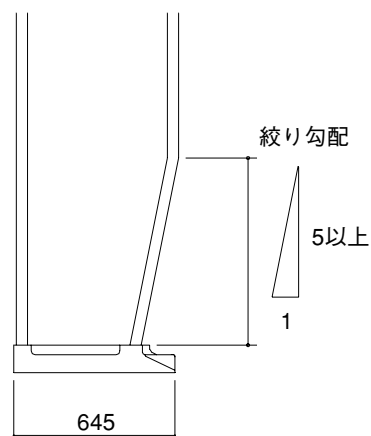
③	A	Yt	Yb	a(max)	E
125	250	525	395	~250	190
	275	500	370	~300	165
	300	475	345	~350	140
	325	450	320	~350	115
	350	425	295	~300	90
	375	400	270	~250	65
150	250	500	395	~200	190
	275	475	370	~250	165
	300	450	345	~300	140
	325	425	320	~350	115
	350	400	295	~300	90
	375	375	270	~250	65

ハイベース各部の寸法

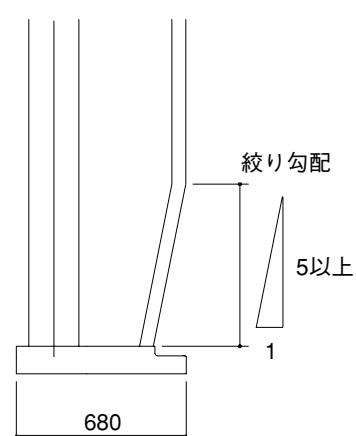


鉄骨絞り図 (参考)

X方向鉄骨柱



Y方向鉄骨柱

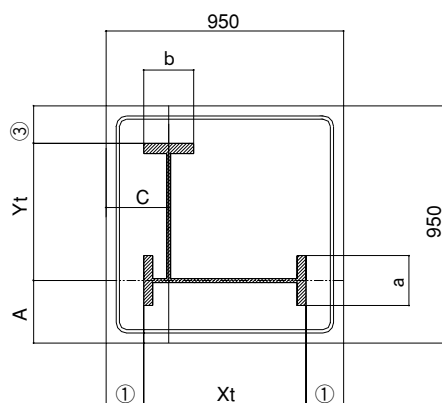


※ 1. 寸法表の『A』『C』寸法はRC端からウェブ芯までの距離を示す。
 ※ 2. 寸法表の『D』『E』寸法はハイベースセンターマークからウェブ芯までの距離を示す。

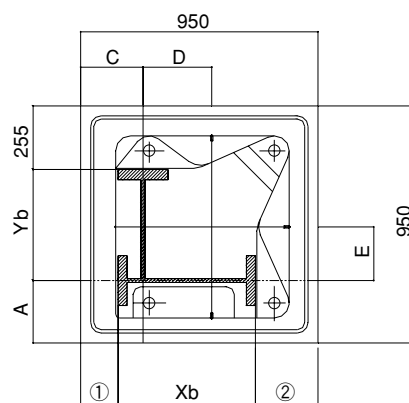
LL650-S1-42 (RCサイズ`950×950)

SCALE=1/30

柱頭納まり図



柱脚納まり図



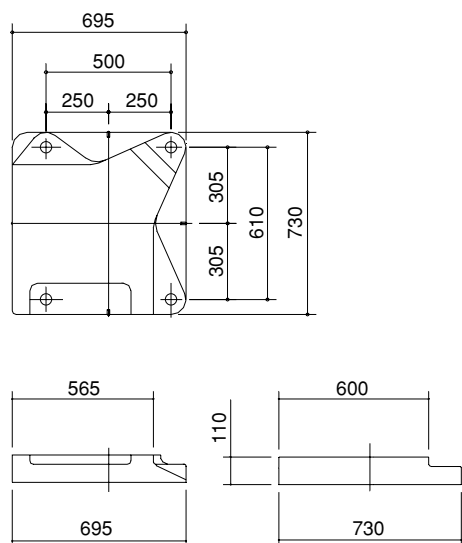
X方向鉄骨かぶり①により決まる寸法一覧 (参考)

①	Xt	Xb	C	b(max)	②	D
125	700	550	225	~200	275	275
			250	~250		250
			275	~300		225
			300	~350		200
			325	~400		175
			350	~450		150
150	650	550	250	~200	250	275
			275	~250		250
			300	~300		225
			325	~350		200
			350	~400		175
			375	~450		150

Y方向鉄骨かぶり③により決まる寸法一覧 (参考)

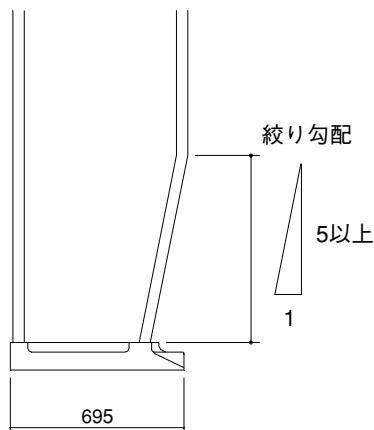
③	A	Yt	Yb	a(max)	E
125	250	575	445	~250	215
	275	550	420	~300	190
	300	525	395	~350	165
	325	500	370	~400	140
	350	475	345	~400	115
	375	450	320	~350	90
150	250	550	445	~200	215
	275	525	420	~250	190
	300	500	395	~300	165
	325	475	370	~350	140
	350	450	345	~400	115
	375	425	320	~350	90

ハイベース各部の寸法

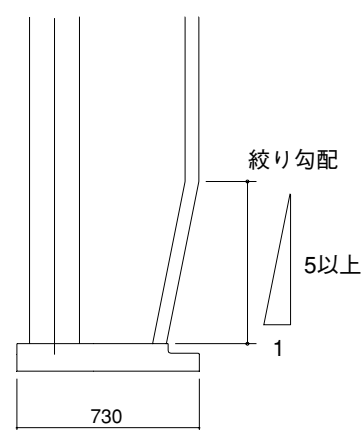


鉄骨絞り図 (参考)

X方向鉄骨柱



Y方向鉄骨柱

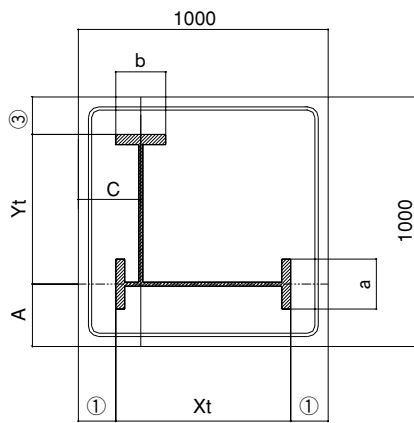


※ 1. 寸法表の『A』『C』寸法はRC端からウェブ芯までの距離を示す。
 ※ 2. 寸法表の『D』『E』寸法はハイベースセンターマークからウェブ芯までの距離を示す。

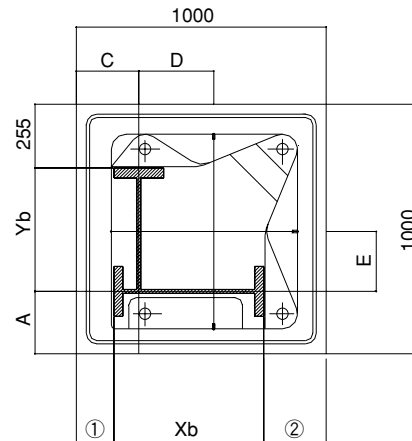
LL700-S1-42 (RCサイズ 1000×1000)

SCALE=1/30

柱頭納まり図



柱脚納まり図



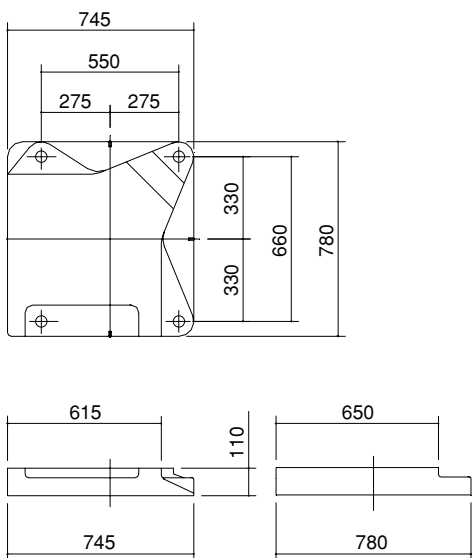
X方向鉄骨かぶり①により決まる寸法一覧（参考）

①	Xt	Xb	C	b(max)	②	D
125	750	600	225	~200	275	300
			250	~250		275
			275	~300		250
			300	~350		225
			325	~400		200
			350	~450		175
150	700	600	250	~200	250	300
			275	~250		275
			300	~300		250
			325	~350		225
			350	~400		200
			375	~450		175

Y方向鉄骨かぶり③により決まる寸法一覧（参考）

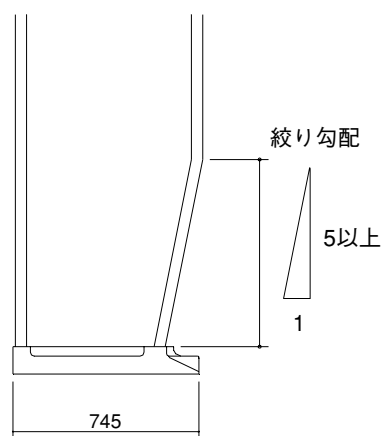
③	A	Yt	Yb	a(max)	E
125	250	625	495	~250	240
	275	600	470	~300	215
	300	575	445	~350	190
	325	550	420	~400	165
	350	525	395	~450	140
	375	500	370	~450	115
150	250	600	495	~200	240
	275	575	470	~250	215
	300	550	445	~300	190
	325	525	420	~350	165
	350	500	395	~400	140
	375	475	370	~450	115

ハイベース各部の寸法

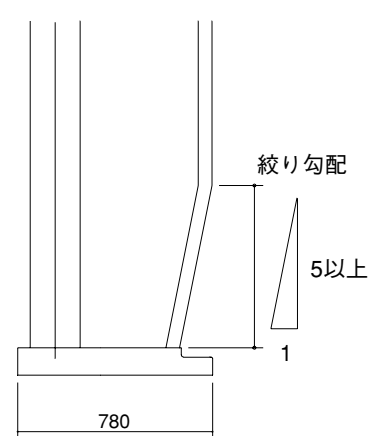


鉄骨絞り図 (参考)

X 方向鉄骨柱



Y 方向鉄骨柱



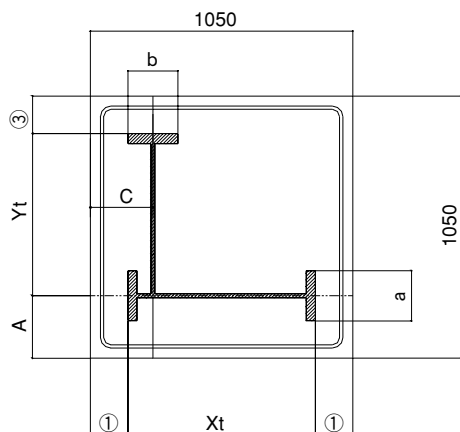
※1. 寸法表の『A』『C』寸法はRC端からウェブ芯までの距離を示す。

※ 2. 寸法表の『D』『E』寸法はハイベースセンターマークからウェブ芯までの距離を示す。

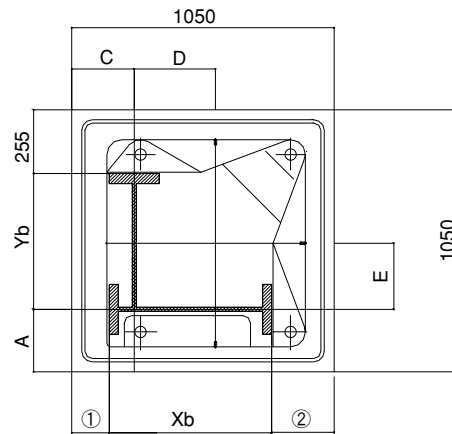
LL750-S1-42 (RCサイズ 1050×1050)

SCALE=1/30

柱頭納まり図



柱脚納まり図



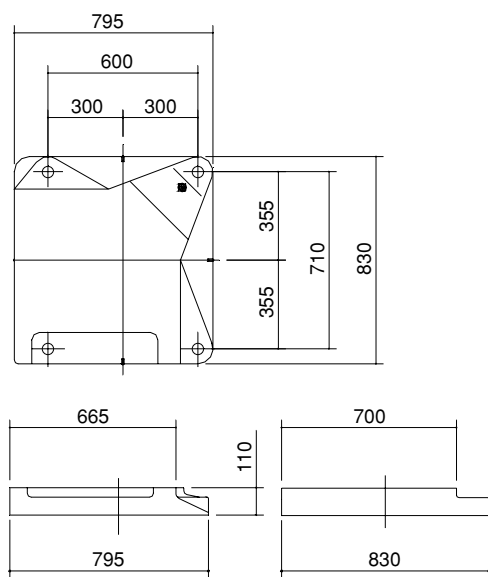
X方向鉄骨かぶり①により決まる寸法一覧 (参考)

①	Xt	Xb	C	b(max)	②	D
125	800	650	225	~200	275	325
			250	~250		300
			275	~300		275
			300	~350		250
			325	~400		225
			350	~450		200
150	750	650	250	~200	250	325
			275	~250		300
			300	~300		275
			325	~350		250
			350	~400		225
			375	~450		200

Y方向鉄骨かぶり③により決まる寸法一覧 (参考)

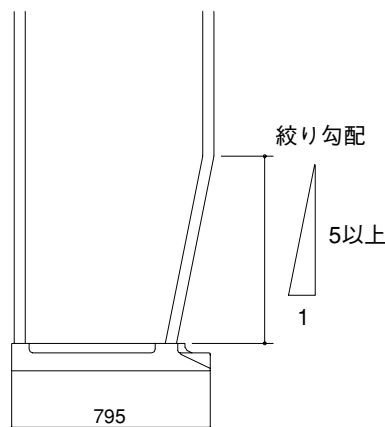
③	A	Yt	Yb	a(max)	E
125	250	675	545	~250	265
	275	650	520	~300	240
	300	625	495	~350	215
	325	600	470	~400	190
	350	575	445	~450	165
	375	550	420	~450	140
150	250	650	545	~200	265
	275	625	520	~250	240
	300	600	495	~300	215
	325	575	470	~350	190
	350	550	445	~400	165
	375	525	420	~450	140

ハイベース各部の寸法

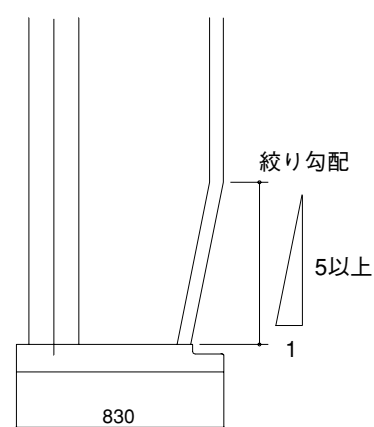


鉄骨絞り図 (参考)

X方向鉄骨柱



Y方向鉄骨柱



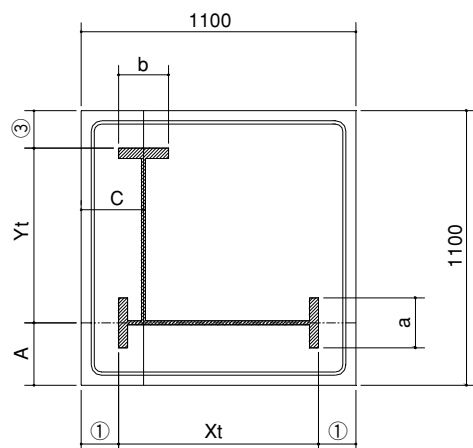
※ 1. 寸法表の『A』 『C』 寸法はRC端からウェブ芯までの距離を示す。

※ 2. 寸法表の『D』 『E』 寸法はハイベースセンターマークからウェブ芯までの距離を示す。

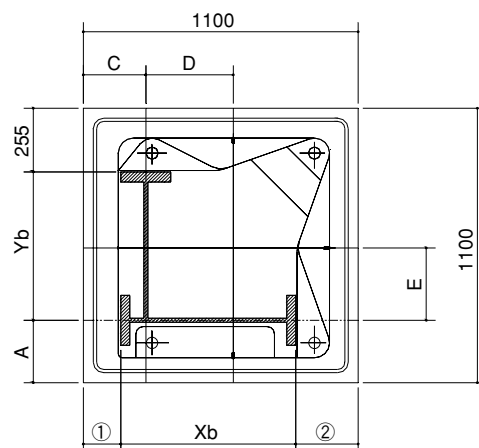
LL800-S1-42 (RCサイズ 1100×1100)

SCALE=1/30

柱頭納まり図



柱脚納まり図



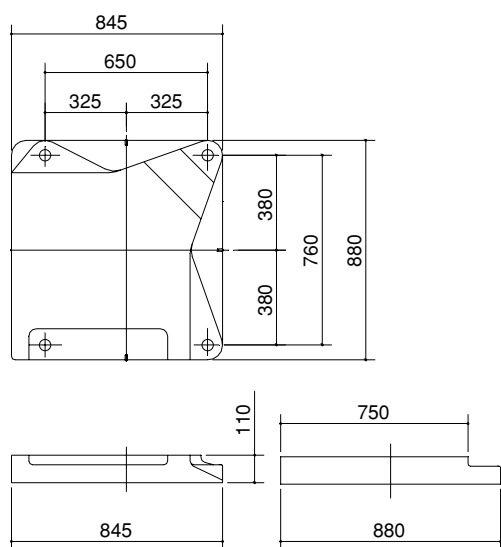
X方向鉄骨かぶり①により決まる寸法一覧 (参考)

①	Xt	Xb	C	b(max)	②	D
125	850	700	225	~200	275	350
			250	~250		325
			275	~300		300
			300	~350		275
			325	~400		250
			350	~450		225
150	800	700	250	~200	250	350
			275	~250		325
			300	~300		300
			325	~350		275
			350	~400		250
			375	~450		225

Y方向鉄骨かぶり③により決まる寸法一覧 (参考)

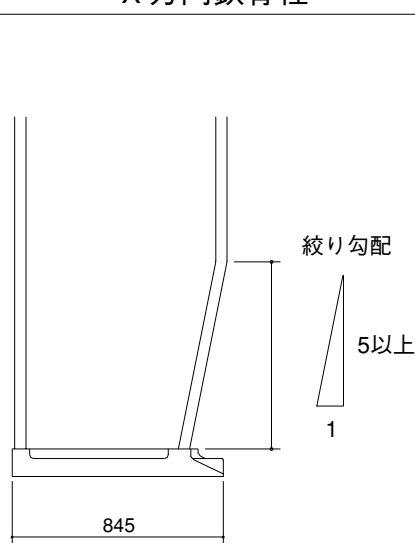
③	A	Yt	Yb	a(max)	E
125	250	725	595	~250	290
	275	700	570	~300	265
	300	675	545	~350	240
	325	650	520	~400	215
	350	625	495	~450	190
	375	600	470	~450	165
	250	700	595	~200	290
150	275	675	570	~250	265
	300	650	545	~300	240
	325	625	520	~350	215
	350	600	495	~400	190
	375	575	470	~450	165

ハイベース各部の寸法

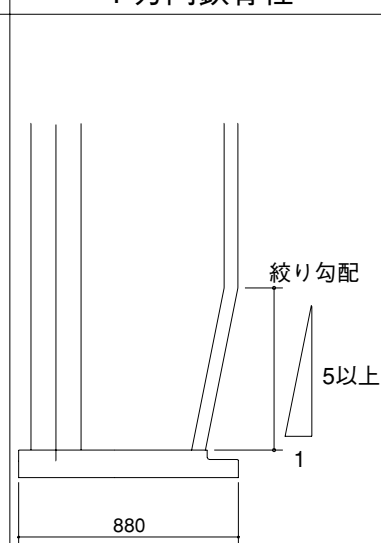


鉄骨絞り図 (参考)

X方向鉄骨柱



Y方向鉄骨柱

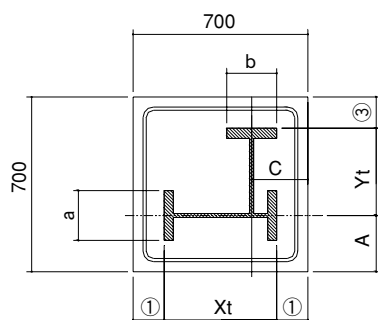


※ 1. 寸法表の『A』 『C』 寸法は RC 端からウェブ芯までの距離を示す。
 ※ 2. 寸法表の『D』 『E』 寸法はハイベースセンターマークからウェブ芯までの距離を示す。

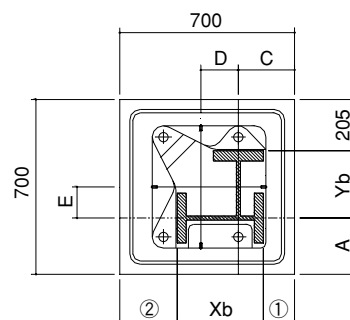
LR400-S1-30 (RCサイズ 700×700)

SCALE=1/30

柱頭納まり図



柱脚納まり図



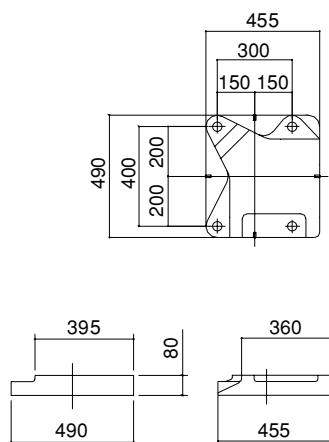
X方向鉄骨かぶり①により決まる寸法一覧 (参考)

①	Xt	Xb	C	b(max)	②	D
125	450	345	225	~200	230	150
			250	~250		125
			275	~300		100
			300	~250		75
			325	~200		50
			350	~150		25
150	400	345	250	~200	205	150
			275	~250		125
			300	~300		100
			325	~250		75
			350	~200		50
			—	—		—

Y方向鉄骨かぶり③により決まる寸法一覧 (参考)

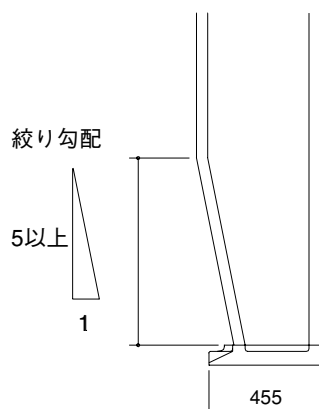
③	A	Yt	Yb	a(max)	E
125	225	350	270	~200	125
	250	325	245	~200	100
	275	300	220	~150	75
	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—
150	225	325	270	~150	125
	250	300	245	~200	100
	275	275	220	~150	75
	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—

ハイベース各部の寸法

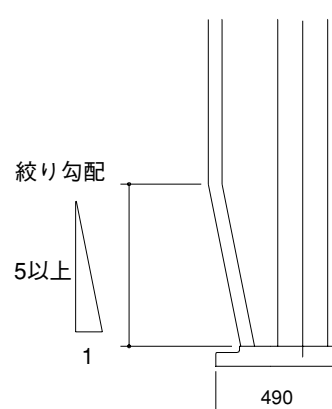


鉄骨絞り図 (参考)

X方向鉄骨柱



Y方向鉄骨柱



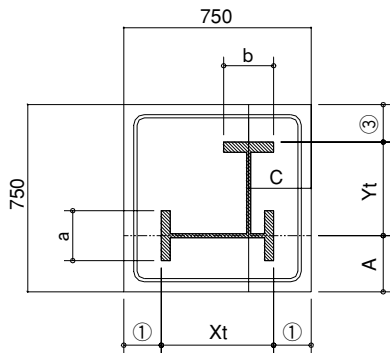
※ 1. 寸法表の『A』『C』寸法はRC端からウェブ芯までの距離を示す。

※ 2. 寸法表の『D』『E』寸法はハイベースセンターマークからウェブ芯までの距離を示す。

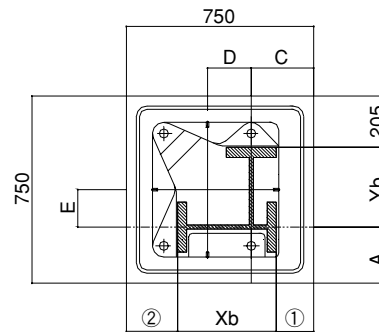
LR450-S1-30 (RCサイズ 750×750)

SCALE=1/30

柱頭納まり図



柱脚納まり図



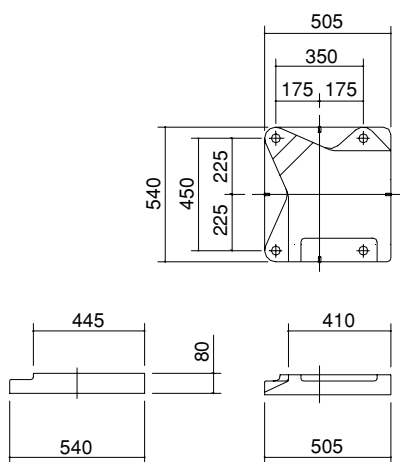
X方向鉄骨かぶり①により決まる寸法一覧 (参考)

①	Xt	Xb	C	b(max)	②	D
125	500	395	225	~200	230	175
			250	~250		150
			275	~300		125
			300	~300		100
			325	~250		75
			350	~200		50
150	450	395	250	~200	205	175
			275	~250		150
			300	~300		125
			325	~300		100
			350	~250		75
			375	~200		50

Y方向鉄骨かぶり③により決まる寸法一覧 (参考)

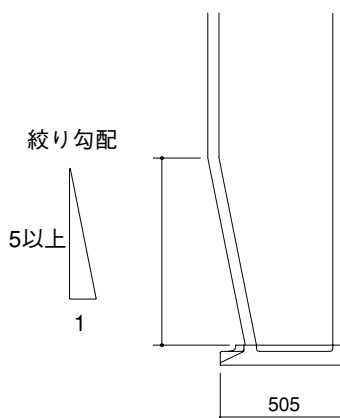
③	A	Yt	Yb	a(max)	E
125	225	400	320	~200	150
	250	375	295	~250	125
	275	350	270	~250	100
	300	325	245	~200	75
	325	300	220	~150	50
	—	—	—	—	—
150	225	375	320	~150	150
	250	350	295	~200	125
	275	325	270	~250	100
	300	300	245	~200	75
	325	275	220	~150	50
	—	—	—	—	—

ハイベース各部の寸法

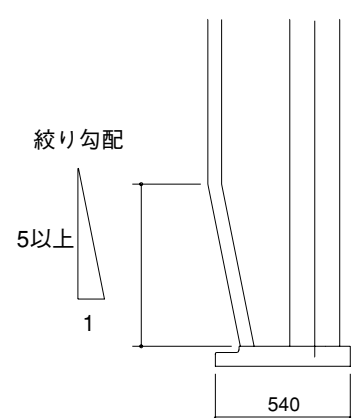


鉄骨絞り図 (参考)

X方向鉄骨柱



Y方向鉄骨柱

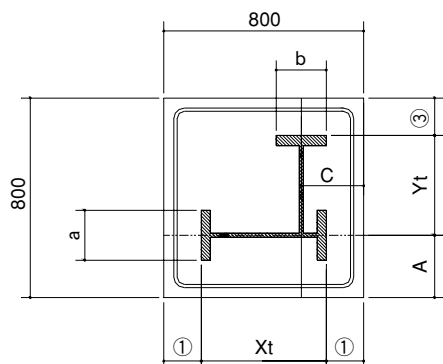


※ 1. 寸法表の『A』『C』寸法はRC端からウェブ芯までの距離を示す。
 ※ 2. 寸法表の『D』『E』寸法はハイベースセンターマークからウェブ芯までの距離を示す。

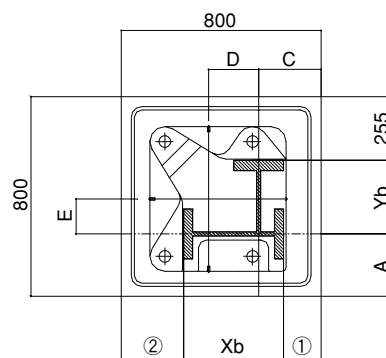
LR500-S1-42 (RCサイズ 800×800)

SCALE=1/30

柱頭納まり図



柱脚納まり図



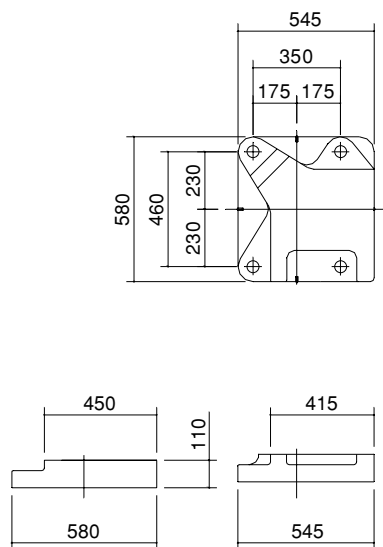
X方向鉄骨かぶり①により決まる寸法一覧 (参考)

①	Xt	Xb	C	b(max)	②	D
125	550	400	225	~200	275	200
			250	~250		175
			275	~300		150
			300	~350		125
			325	~350		100
			350	~300		75
150	500	400	250	~200	250	200
			275	~250		175
			300	~300		150
			325	~350		125
			350	~350		100
			375	~300		75

Y方向鉄骨かぶり③により決まる寸法一覧 (参考)

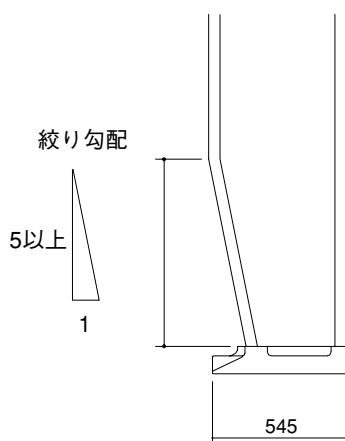
③	A	Yt	Yb	a(max)	E
125	250	425	295	~250	140
	275	400	270	~250	115
	300	375	245	~200	90
	325	350	220	~150	65
	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—
150	250	400	295	~250	140
	275	375	270	~250	115
	300	350	245	~200	90
	325	325	220	~150	65
	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—

ハイベース各部の寸法

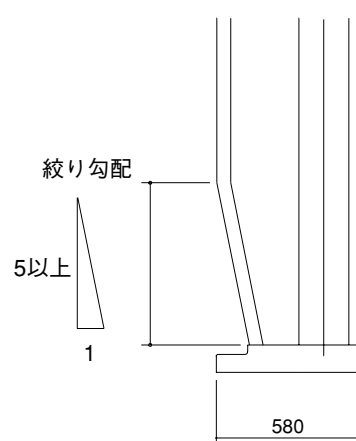


鉄骨絞り図 (参考)

X方向鉄骨柱



Y方向鉄骨柱



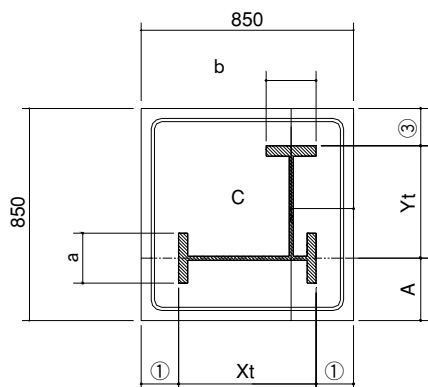
※ 1. 寸法表の『A』『C』寸法はRC端からウェブ芯までの距離を示す。

※ 2. 寸法表の『D』『E』寸法はハイベースセンターマークからウェブ芯までの距離を示す。

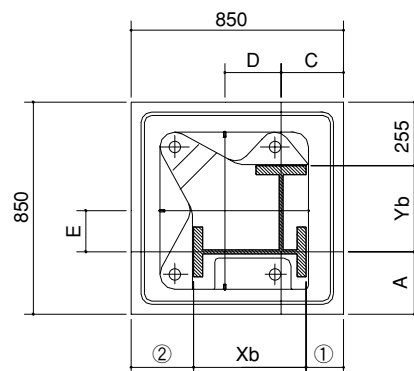
LR550-S1-42 (RCサイズ 850×850)

SCALE=1/30

柱頭納まり図



柱脚納まり図



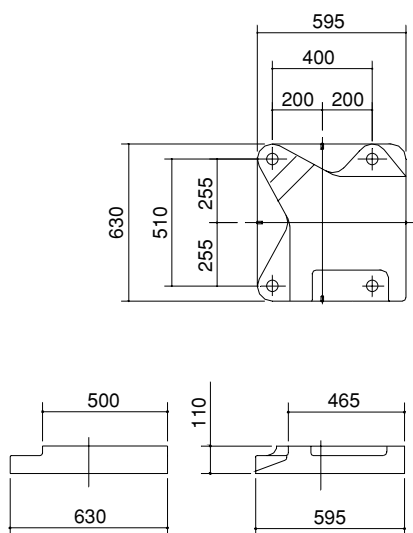
X方向鉄骨かぶり①により決まる寸法一覧 (参考)

①	Xt	Xb	C	b(max)	②	D
125	600	450	225	~200	275	225
			250	~250		200
			275	~300		175
			300	~350		150
			325	~350		125
			350	~350		100
150	550	450	250	~200	250	225
			275	~250		200
			300	~300		175
			325	~350		150
			350	~350		125
			375	~350		100

Y方向鉄骨かぶり③により決まる寸法一覧 (参考)

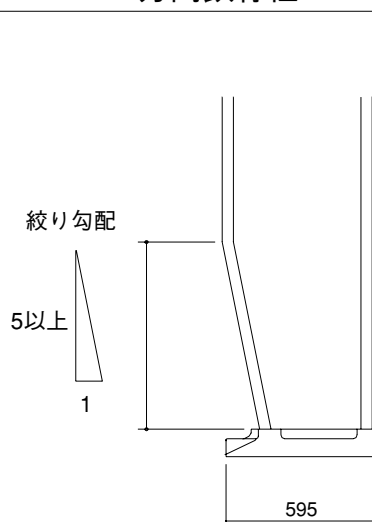
③	A	Yt	Yb	a(max)	E
125	250	475	345	~250	165
	275	450	320	~300	140
	300	425	295	~300	115
	325	400	270	~250	90
	350	375	245	~200	65
	375	350	220	~150	40
	375	350	220	~150	40
150	250	450	345	~200	165
	275	425	320	~250	140
	300	400	295	~300	115
	325	375	270	~250	90
	350	350	245	~200	65
	375	325	220	~150	40
	375	325	220	~150	40

ハイベース各部の寸法

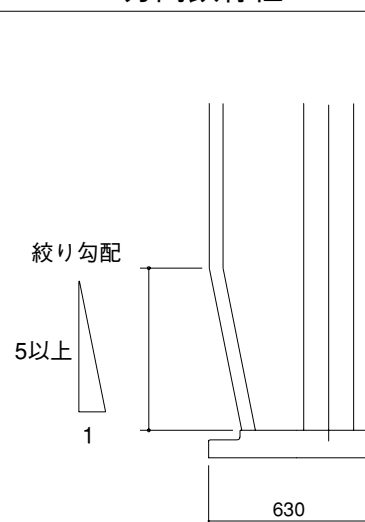


鉄骨絞り図 (参考)

X方向鉄骨柱



Y方向鉄骨柱

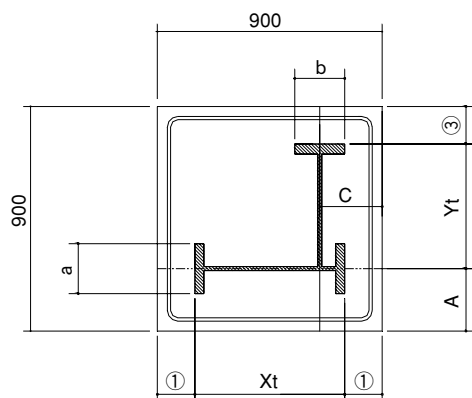


- ※ 1. 寸法表の『A』『C』寸法はRC端からウェブ芯までの距離を示す。
 ※ 2. 寸法表の『D』『E』寸法はハイベースセンターマークからウェブ芯までの距離を示す。

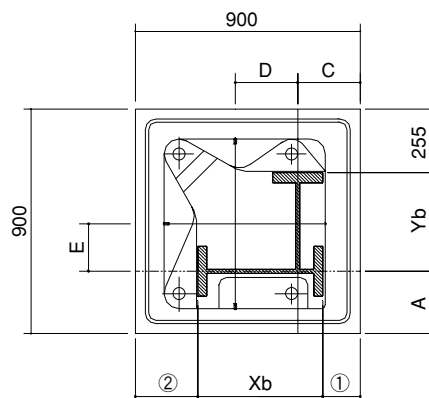
LR600-S1-42 (RCサイズ 900×900)

SCALE=1/30

柱頭納まり図



柱脚納まり図



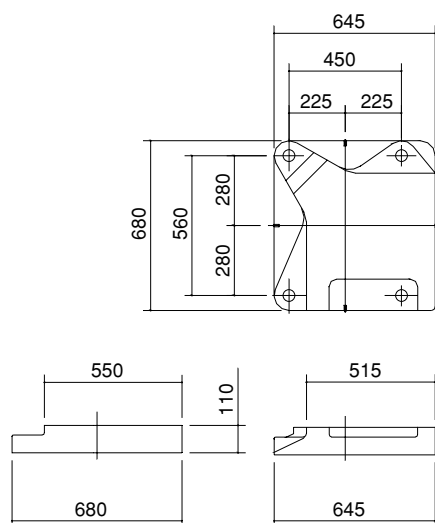
X方向鉄骨かぶり①により決まる寸法一覧 (参考)

①	Xt	Xb	C	b(max)	②	D
125	650	500	225	~200	275	250
			250	~250		225
			275	~300		200
			300	~350		175
			325	~400		150
			350	~450		125
150	600	500	250	~200	250	250
			275	~250		225
			300	~300		200
			325	~350		175
			350	~400		150
			375	~450		125

Y方向鉄骨かぶり③により決まる寸法一覧 (参考)

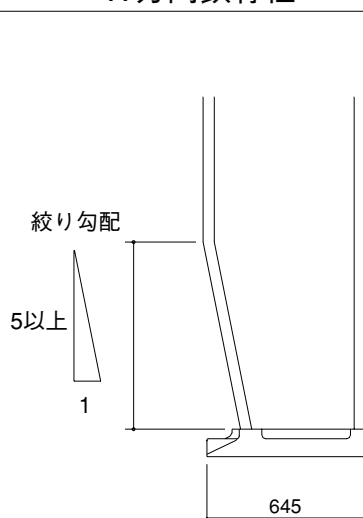
③	A	Yt	Yb	a(max)	E
125	250	525	395	~250	190
	275	500	370	~300	165
	300	475	345	~350	140
	325	450	320	~350	115
	350	425	295	~300	90
	375	400	270	~250	65
150	250	500	395	~200	190
	275	475	370	~250	165
	300	450	345	~300	140
	325	425	320	~350	115
	350	400	295	~300	90
	375	375	270	~250	65

ハイベース各部の寸法

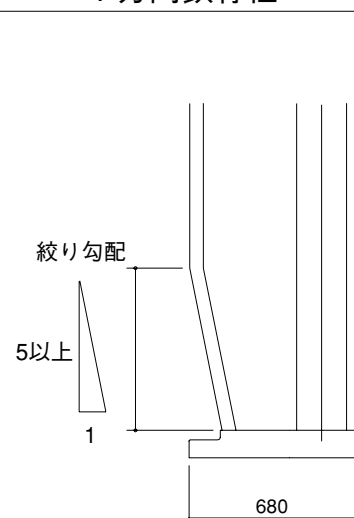


鉄骨絞り図 (参考)

X方向鉄骨柱



Y方向鉄骨柱



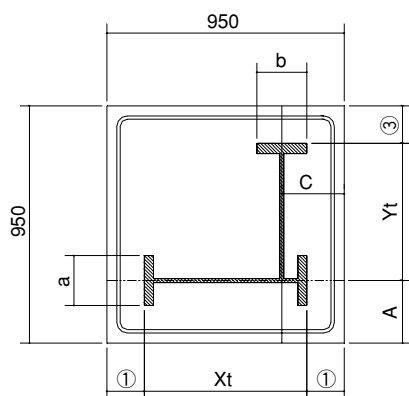
※ 1. 寸法表の『A』『C』寸法はRC端からウェブ芯までの距離を示す。

※ 2. 寸法表の『D』『E』寸法はハイベースセンターマークからウェブ芯までの距離を示す。

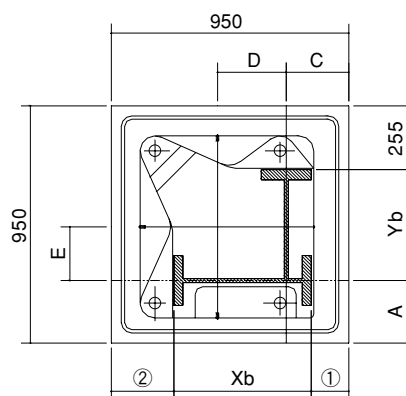
LR650-S1-42 (RCサイズ 950×950)

SCALE=1/30

柱頭納まり図



柱脚納まり図



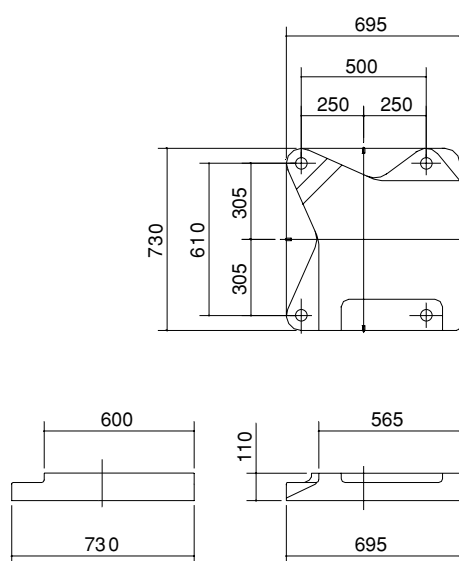
X方向鉄骨かぶり①により決まる寸法一覧 (参考)

①	Xt	Xb	C	b(max)	②	D
125	700	550	225	~200	275	275
			250	~250		250
			275	~300		225
			300	~350		200
			325	~400		175
			350	~450		150
150	650	550	250	~200	250	275
			275	~250		250
			300	~300		225
			325	~350		200
			350	~400		175
			375	~450		150

Y方向鉄骨かぶり③により決まる寸法一覧 (参考)

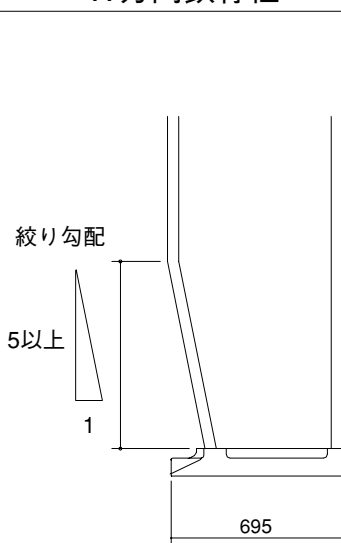
③	A	Yt	Yb	a(max)	E
125	250	575	445	~250	215
	275	550	420	~300	190
	300	525	395	~350	165
	325	500	370	~400	140
	350	475	345	~400	115
	375	450	320	~350	90
	375	450	320	~350	90
150	250	550	445	~200	215
	275	525	420	~250	190
	300	500	395	~300	165
	325	475	370	~350	140
	350	450	345	~400	115
	375	425	320	~350	90
	375	425	320	~350	90

ハイベース各部の寸法

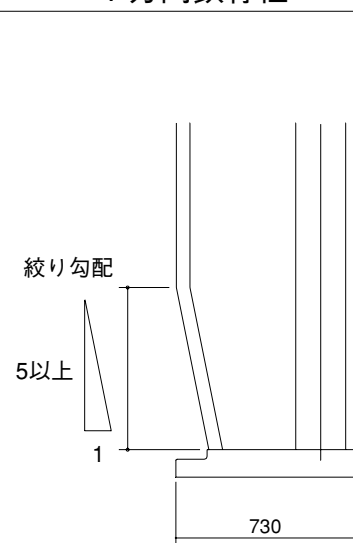


鉄骨絞り図 (参考)

X方向鉄骨柱



Y方向鉄骨柱



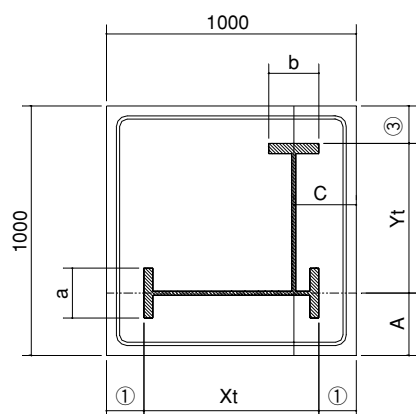
※ 1. 寸法表の『A』『C』寸法はRC端からウェブ芯までの距離を示す。

※ 2. 寸法表の『D』『E』寸法はハイベースセンターマークからウェブ芯までの距離を示す。

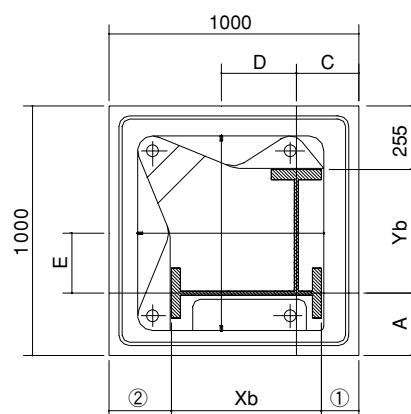
LR700-S1-42 (RCサイズ 1000×1000)

SCALE=1/30

柱頭納まり図



柱脚納まり図



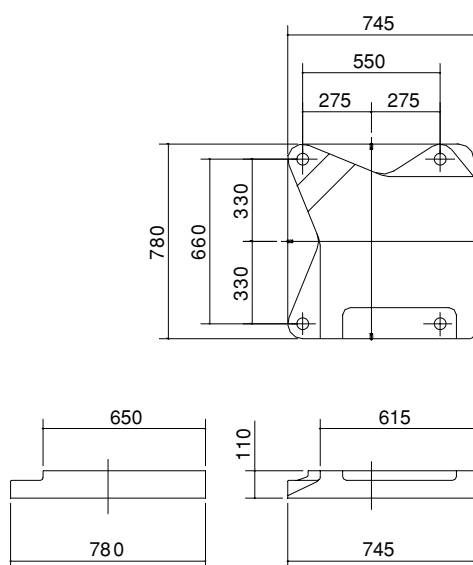
X方向鉄骨かぶり①により決まる寸法一覧 (参考)

①	Xt	Xb	C	b(max)	②	D
125	750	600	225	~200	275	300
			250	~250		275
			275	~300		250
			300	~350		225
			325	~400		200
			350	~450		175
150	700	600	250	~200	250	300
			275	~250		275
			300	~300		250
			325	~350		225
			350	~400		200
			375	~450		175

Y方向鉄骨かぶり③により決まる寸法一覧 (参考)

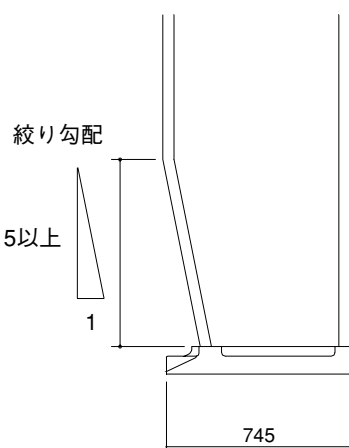
③	A	Yt	Yb	a(max)	E
125	250	625	495	~250	240
	275	600	470	~300	215
	300	575	445	~350	190
	325	550	420	~400	165
	350	525	395	~450	140
	375	500	370	~450	115
	375	475	370	~450	115
150	250	600	495	~200	240
	275	575	470	~250	215
	300	550	445	~300	190
	325	525	420	~350	165
	350	500	395	~400	140
	375	475	370	~450	115
	375	475	370	~450	115

ハイベース各部の寸法

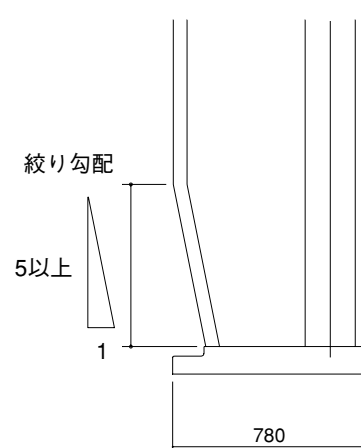


鉄骨絞り図 (参考)

X方向鉄骨柱



Y方向鉄骨柱



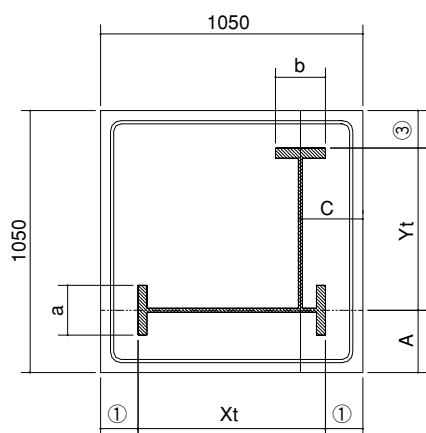
※ 1. 寸法表の『A』『C』寸法はRC端からウェブ芯までの距離を示す。

※ 2. 寸法表の『D』『E』寸法はハイベースセンターマークからウェブ芯までの距離を示す。

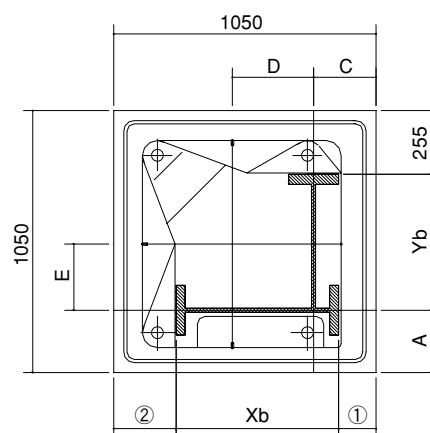
LR750-S1-42 (RCサイズ 1050×1050)

SCALE=1/30

柱頭納まり図



柱脚納まり図



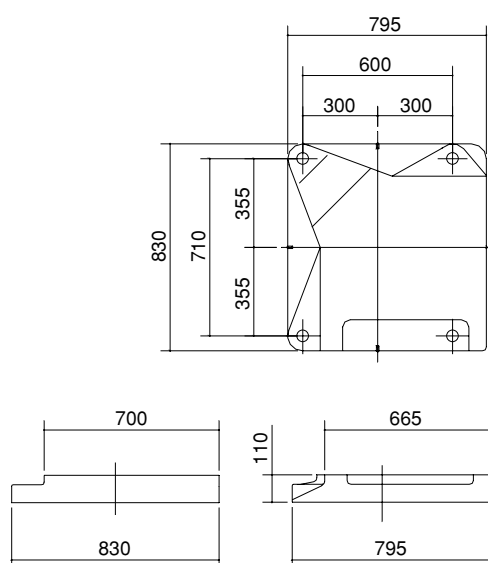
X方向鉄骨かぶり①により決まる寸法一覧 (参考)

①	Xt	Xb	C	b(max)	②	D
125	800	650	225	~200	275	325
			250	~250		300
			275	~300		275
			300	~350		250
			325	~400		225
			350	~450		200
150	750	650	250	~200	250	325
			275	~250		300
			300	~300		275
			325	~350		250
			350	~400		225
			375	~450		200

Y方向鉄骨かぶり③により決まる寸法一覧 (参考)

③	A	Yt	Yb	a(max)	E
125	250	675	545	~250	265
	275	650	520	~300	240
	300	625	495	~350	215
	325	600	470	~400	190
	350	575	445	~450	165
	375	550	420	~450	140
150	250	650	545	~200	265
	275	625	520	~250	240
	300	600	495	~300	215
	325	575	470	~350	190
	350	550	445	~400	165
	375	525	420	~450	140

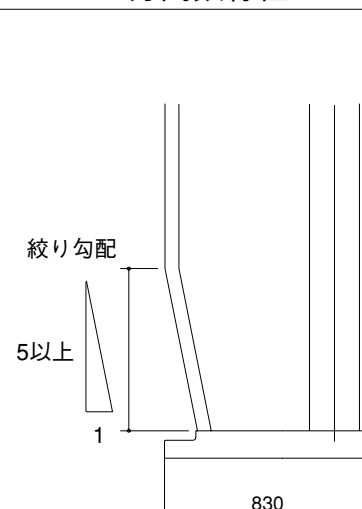
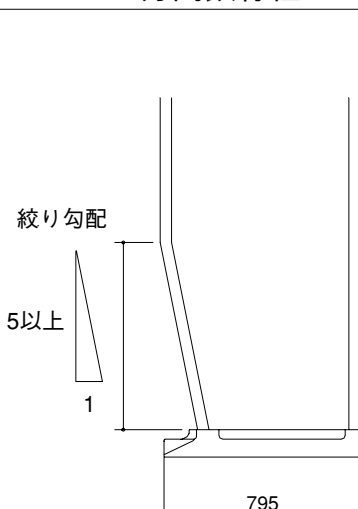
ハイベース各部の寸法



鉄骨絞り図 (参考)

X方向鉄骨柱

Y方向鉄骨柱

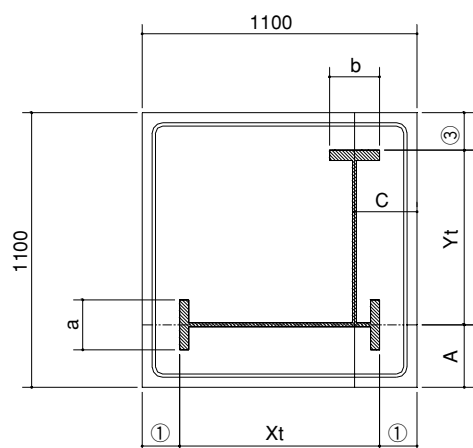


※ 1. 寸法表の『A』『C』寸法はRC端からウェブ芯までの距離を示す。
 ※ 2. 寸法表の『D』『E』寸法はハイベースセンターマークからウェブ芯までの距離を示す。

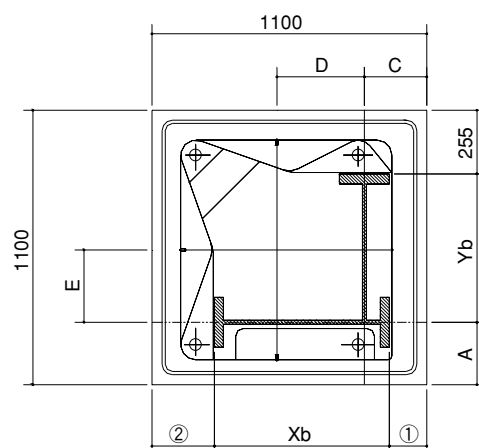
LR800-S1-42 (RCサイズ 1100×1100)

SCALE=1/30

柱頭納まり図



柱脚納まり図



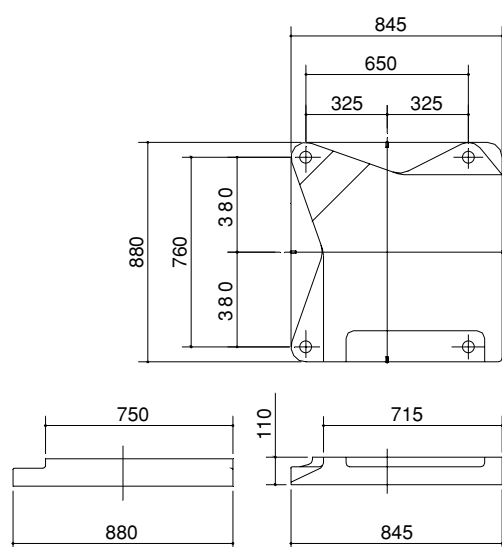
X方向鉄骨かぶり①により決まる寸法一覧 (参考)

①	Xt	Xb	C	b(max)	②	D
125	850	700	225	~200	275	350
			250	~250		325
			275	~300		300
			300	~350		275
			325	~400		250
			350	~450		225
150	800	700	250	~200	250	350
			275	~250		325
			300	~300		300
			325	~350		275
			350	~400		250
			375	~450		225

Y方向鉄骨かぶり③により決まる寸法一覧 (参考)

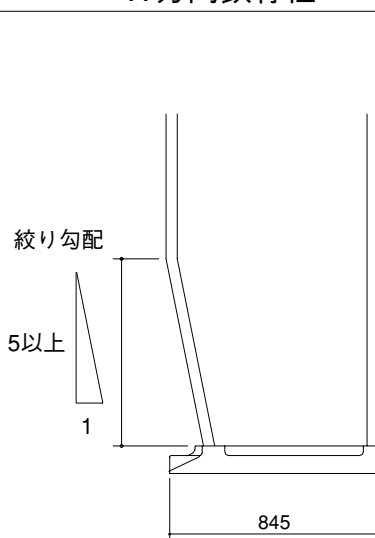
③	A	Yt	Yb	a(max)	E
125	250	725	595	~250	290
	275	700	570	~300	265
	300	675	545	~350	240
	325	650	520	~400	215
	350	625	495	~450	190
	375	600	470	~450	165
150	250	700	595	~200	290
	275	675	570	~250	265
	300	650	545	~300	240
	325	625	520	~350	215
	350	600	495	~400	190
	375	575	470	~450	165

ハイベース各部の寸法

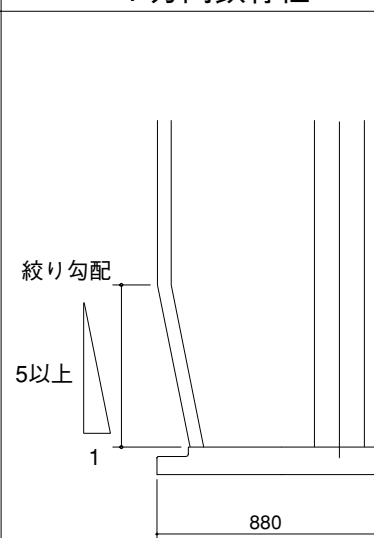


鉄骨絞り図 (参考)

X方向鉄骨柱



Y方向鉄骨柱



※ 1. 寸法表の『A』『C』寸法はRC端からウェブ芯までの距離を示す。

※ 2. 寸法表の『D』『E』寸法はハイベースセンターマークからウェブ芯までの距離を示す。

付録 2．柱脚検討ソフト

SRC ハイベースの設計にあたりましては、柱脚検討用ソフト（S 造の検討も可能）を提供（無償）させて頂いております。本ハンドブックと併せてご利用ください。

このソフトは<http://www.SuperHIBASE.com/>よりダウンロード出来ます。

ここでは、このソフトの説明をいたしますが、ソフトには充実したヘルプ機能を搭載しておりますので、更に詳しい説明はヘルプ機能をご利用ください。

1. メイン画面の説明

(1) 構造種別

柱脚検計 - "C1.hud"

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ツール(T) ヘルプ(H)

物件名: 日立金属 詳細 **構造種別**: ☒ 鉄骨造 ☒ SRC造 建物形状: ☒ 対称 計算ルート: ルート 3 積雪荷重の扱い: なし 短期計算荷重: ☒ 地震 ☐ 暴風 ☐ 積雪

検討する構造を選択します。

柱: RC: 900×900(Fc24) 鉄筋D25(SD345) 本数 8×8
柱名称: C1(Y3-X2) (柱脚で決まる柱ランク 00FA (Y)FA)
T400×200×9×12+ H500×200×9×12(SS400)
A=149.9(cm²) Zx=1100(cm³) Zpx=1250(cm³) spcx=0.00296
Zy=1470(cm³) Zpy=1680(cm³) spcy=0.00296

柱脚: LL600-S1-42
曲げ負担率(≧0.10) 000.342 (Y)0.306
軸力負担率(≧0.15) 0.294
限界軸力(kN) 00-5546.16 (Y)-5546.16

		長期	地震時		短期L	短期R	終局L	終局R
X	軸力	応力 4616.00	0.00		5003.70	0.00	-358.80	4693.40
		応力 17.00	0.00		373.00	0.00	919.70	2479.40
	曲げ	モーメント						
		応力 810.79			1804.67	1766.49	2051.16	2532.70
	判定	OK			OK	OK	OK	OK
Y	せん断力	応力 0.00	0.00		162.90	0.00	374.40	1132.00
		応力 3465.66			4391.37	1862.71	2559.85	4207.09
	判定	OK			OK	OK	OK	OK
	軸力	応力 4616.00	0.00		4924.60	0.00	4074.20	4268.40
		応力 91.70	0.00		494.60	0.00	2653.40	2671.60
Y	曲げ	モーメント						
		応力 817.62			1870.80	1772.02	2705.18	2703.89
	判定	OK			OK	OK	OK	OK
	せん断力	応力 -21.10	0.00		149.70	0.00	943.50	951.60
		応力 3295.00			4163.51	1751.01	4039.53	4039.53
	判定	OK			OK	OK	OK	OK

応力表・耐力図の更新する。

短期マニュアル 終局マニュアル 2003/01/30 11:15

(2) 物件名

柱脚検計 - "C1.hud"

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ツール(T) ヘルプ(H)

物件名: 日立金属 詳細 **構造種別**: ☒ 鉄骨造 ☒ SRC造 建物形状: ☒ 対称 計算ルート: ルート 3 積雪荷重の扱い: なし 短期計算荷重: ☒ 地震 ☐ 暴風 ☐ 積雪

物件名を入力します。(全角で24文字以内)
「詳細」をクリックすると、検討日及び担当者を入力することが可能です。

詳細情報の設定

物件名: 日立金属

日付: 2003/01/30 今日

担当者: 設計係員

決定 キャンセル

柱脚: LL600-S1-42
曲げ負担率(≧0.10) 000.342 (Y)0.306
軸力負担率(≧0.15) 0.294
限界軸力(kN) 00-5546.16 (Y)-5546.16

応力表・耐力図の更新する。

短期マニュアル 終局マニュアル 2003/01/30 11:15

(3) 建物形状

柱脚設計 - "C1.hud"

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ツール(T) ヘルプ(H)

物件名: 日立金属 詳細

構造種別: ☐ 鉄骨造 ☒ SRC造

建物形状: ☒ 対称

計算ルート: ルート 3

積雪荷重の扱い: $\Delta 1$ 0.70 $\Delta 2$ 0.35

短期計算荷重: ☒ 地震 ☐ 暴風 ☐ 積雪

建物が対象かどうかを指定します。
地震時や暴風時の荷重が左右で応力状態が変わる際には、このチェックをはずしてください。
対称 : (短期L,R) = (長期 $\pm$ K)
非対称 : (短期L) = (長期 $\pm$ KL)
(短期R) = (長期 $\pm$ KR)

		長期	地震時		短期L	短期R	終局L	終局R
X	軸力	応力 4616.00	0.00		5003.70	0.00	-358.80	4693.40
		応力 17.00	0.00		373.00	0.00	919.70	2479.40
	曲げモーメント	ブーン			1804.67	1766.49	2051.16	2532.70
	耐力判定	OK			OK	OK	OK	OK
Y	せん断力	応力 0.00	0.00		162.90	0.00	374.40	1132.00
		耐力 3465.66			4391.37	1862.71	2559.85	4207.09
	耐力判定	OK			OK	OK	OK	OK
	軸力	応力 4616.00	0.00		4924.60	0.00	4074.20	4268.40
Y		応力 91.70	0.00		494.60	0.00	2653.40	2671.60
	曲げモーメント	ブーン			-	-	-	-
	耐力判定	817.62			1870.80	1772.02	2705.18	2703.89
	せん断力	応力 -21.10	0.00		149.70	0.00	943.50	951.60
	耐力 3295.00			4163.51	1751.01	4039.53	4039.53	
	耐力判定	OK			OK	OK	OK	OK

柱脚: LL600-S1-42
曲げ負担率(≥ 0.10) 0.00.342 0.00.306
軸力負担率(≥ 0.15) 0.294
限界軸力(kN) 0.0-5546.16
(Y)-5546.16

応力表・耐力図の更新する。

短期マニュアル 終局マニュアル 2003/01/30 11:15

(4) 計算ルート

柱脚設計 - "C1.hud"

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ツール(T) ヘルプ(H)

物件名: 日立金属 詳細

構造種別: ☐ 鉄骨造 ☒ SRC造

建物形状: ☒ 対称

計算ルート: ルート 3

積雪荷重の扱い: $\Delta 1$ 0.70 $\Delta 2$ 0.35

短期計算荷重: ☒ 地震 ☐ 暴風 ☐ 積雪

構造計算のルートを指定します。
SRCハイペース工法の場合、計算ルートに応じて諸規定(詳細は本ハンドブックp.8を参照ください。)が定められています。ここで計算ルートを指定することで、それらの規定に準じた計算及び表示を行います。
ここで各設計の定義は「2001年版建築物の構造関係技術基準解説書(日本建築センター)」及び昭55建告1790、1791号によります。

計算ルート:
ルート 3
ルート 1
ルート 2-1
ルート 2-2
ルート 2-3
ルート 3

		長期	地震時		短期L	短期R	終局L	終局R
X	軸力	応力 4616.00	0.00		5003.70	0.00	-358.80	4693.40
		応力 17.00	0.00		373.00	0.00	919.70	2479.40
	曲げモーメント	ブーン			1804.67	1766.49	2051.16	2532.70
	耐力判定	OK			OK	OK	OK	OK
Y	せん断力	応力 0.00	0.00		162.90	0.00	374.40	1132.00
		耐力 3465.66			4391.37	1862.71	2559.85	4207.09
	耐力判定	OK			OK	OK	OK	OK
	軸力	応力 4616.00	0.00		4924.60	0.00	4074.20	4268.40
Y		応力 91.70	0.00		494.60	0.00	2653.40	2671.60
	曲げモーメント	ブーン			-	-	-	-
	耐力判定	817.62			1870.80	1772.02	2705.18	2703.89
	せん断力	応力 -21.10	0.00		149.70	0.00	943.50	951.60
	耐力 3295.00			4163.51	1751.01	4039.53	4039.53	
	耐力判定	OK			OK	OK	OK	OK

柱脚: LL600-S1-42
曲げ負担率(≥ 0.10) 0.00.342 0.00.306
軸力負担率(≥ 0.15) 0.294
限界軸力(kN) 0.0-5546.16
(Y)-5546.16

応力表・耐力図の更新する。

短期マニュアル 終局マニュアル 2003/01/30 11:15

(5) 積雪荷重の扱い

柱脚設計 - "C1.hud"

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ツール(T) ヘルプ(H)

物件名: 旧立金属 詳細

構造種別: ☒ 鉄骨造 ☐ SRC造

建物形状: ☒ 対称

計算ルート: ルート 3

積雪荷重の扱い: なし α_1 0.70 α_2 0.35

短期計算荷重: ☒ 地震 ☐ 暴風 ☐ 積雪

柱: C1(Y2-X2) C1(Y2-X3) C1(Y3-X2)

柱名称: C1(Y3-X2) RC: 900×900 (柱脚で決まる柱ランク 00FA (Y)FA) T400×200×9 H500×200×9 (SS400) A=149.9(cm²)

積雪荷重による応力の取り扱い方法を指定します。
 多雪と指定した場合は1 (デフォルトは0.75) 及び α_2 (デフォルトは0.35) を設定してください。以下のように長期及び短期応力を算定します。
 (注: 短期自動計算を指定していない場合は、入力した値で判定します。)

“なし”
 “一般” 短期荷重を積雪とした場合 (短期) = (長期) + S
 “多雪” (長期) = G+P+ (α_1 × S)
 短期荷重を地震とした場合 (短期) = G+P+ (α_2 × S) + K
 短期荷重を暴風とした場合 (短期) = G+P+ (α_2 × S) + W
 短期荷重を積雪とした場合 (短期) = G+P+S

			長 期	地震時	短期計算荷重			
					短期L	短期R	終局L	終局R
X	軸 力	応力	4616.00	0.00	5003.70	0.00	-358.80	4693.40
		応力	17.00	0.00	373.00	0.00	919.70	2479.40
	曲げ	モーメント	810.79		1804.67	1766.49	2051.16	2632.70
		耐力	3465.66		4391.37	1862.71	2559.85	4207.09
		判定	OK		OK	OK	OK	OK
Y	せん断力	応力	0.00	0.00	162.90	0.00	374.40	1132.00
		耐力	3465.66		4391.37	1862.71	2559.85	4207.09
		判定	OK		OK	OK	OK	OK
	軸 力	応力	4616.00	0.00	4924.60	0.00	4074.20	4268.40
		応力	91.70	0.00	494.60	0.00	2653.40	2671.60
Y	曲げ	モーメント	817.62		1870.80	1772.02	2705.18	2703.89
		耐力	3295.00		4163.51	1751.01	4039.53	4039.53
		判定	OK		OK	OK	OK	OK
	せん断力	応力	-21.10	0.00	149.70	0.00	943.50	951.60
		耐力	3295.00		4163.51	1751.01	4039.53	4039.53
		判定	OK		OK	OK	OK	OK

応力表・耐力図の更新する。

短期マニュアル 終局マニュアル 2003/01/30 11:15

(6) 短期計算荷重

柱脚設計 - "C1.hud"

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ツール(T) ヘルプ(H)

物件名: 旧立金属 詳細

構造種別: ☒ 鉄骨造 ☐ SRC造

建物形状: ☒ 対称

計算ルート: ルート 3

積雪荷重の扱い: なし α_1 0.70 α_2 0.35

短期計算荷重: ☒ 地震 ☐ 暴風 ☐ 積雪

柱: C1(Y2-X2) C1(Y2-X3) C1(Y3-X2) C1(Y3-X3)

柱名称: C1(Y3-X2) RC: 900×900 (Fc24) 鉄筋D25 (SD345) 本数 8×8 (柱脚で決まる柱ランク 00FA (Y)FA) T400×200×9×12+ H500×200×9×12 (SS400) A=149.9(cm²) Zx=1100(cm³) Zpx=1250(cm³) spcx=0.00296 Zy=1470(cm³) Zpy=1680(cm³) spcy=0.00296

短期計算荷重を指定します。

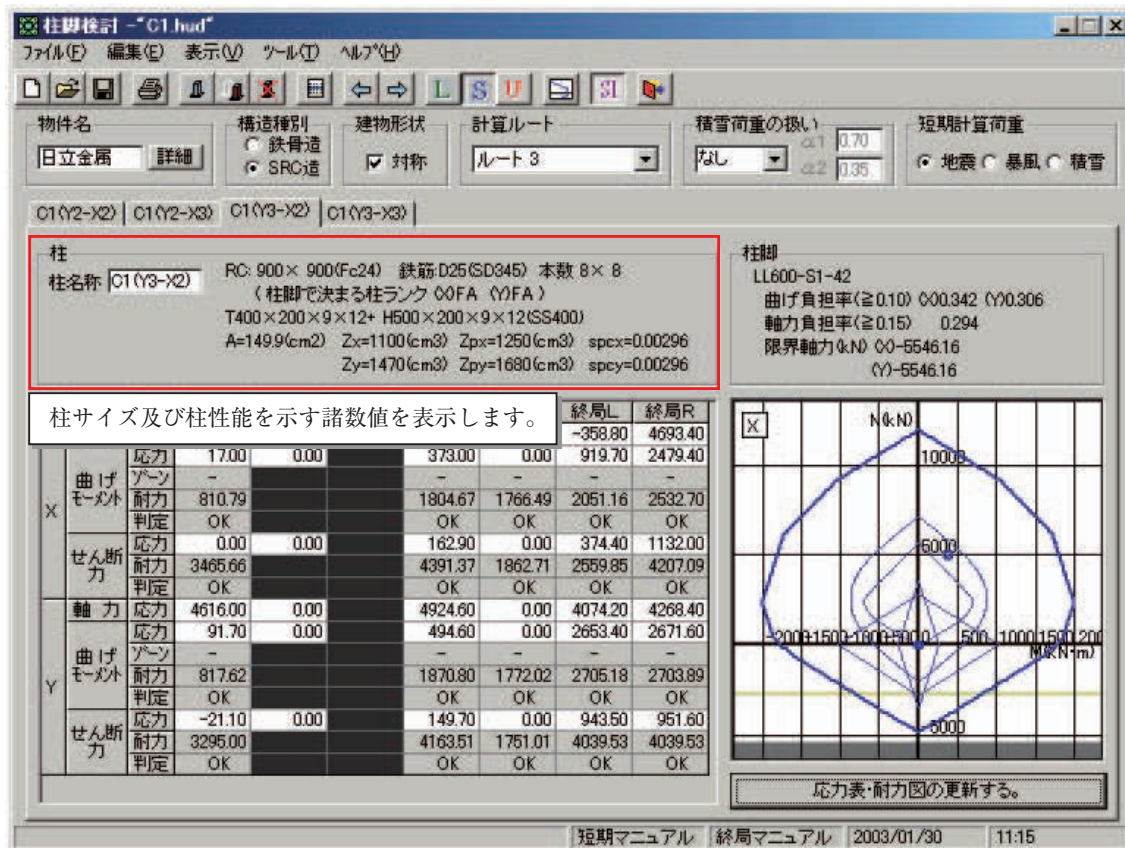
柱脚: LL600-S1-42
 曲げ負担率(≧0.10) 0.00342 (Y)0.306
 軸力負担率(≧0.15) 0.294
 限界軸力(kN) 0.0-5546.16 (Y)-5546.16

			長 期	地震時	短期L	短期R	終局L	終局R
X	軸 力	応力	4616.00	0.00	5003.70	0.00	-358.80	4693.40
		応力	17.00	0.00	373.00	0.00	919.70	2479.40
	曲げ	モーメント	810.79		1804.67	1766.49	2051.16	2632.70
		耐力	3465.66		4391.37	1862.71	2559.85	4207.09
		判定	OK		OK	OK	OK	OK
Y	せん断力	応力	0.00	0.00	162.90	0.00	374.40	1132.00
		耐力	3465.66		4391.37	1862.71	2559.85	4207.09
		判定	OK		OK	OK	OK	OK
	軸 力	応力	4616.00	0.00	4924.60	0.00	4074.20	4268.40
		応力	91.70	0.00	494.60	0.00	2653.40	2671.60
Y	曲げ	モーメント	817.62		1870.80	1772.02	2705.18	2703.89
		耐力	3295.00		4163.51	1751.01	4039.53	4039.53
		判定	OK		OK	OK	OK	OK
	せん断力	応力	-21.10	0.00	149.70	0.00	943.50	951.60
		耐力	3295.00		4163.51	1751.01	4039.53	4039.53
		判定	OK		OK	OK	OK	OK

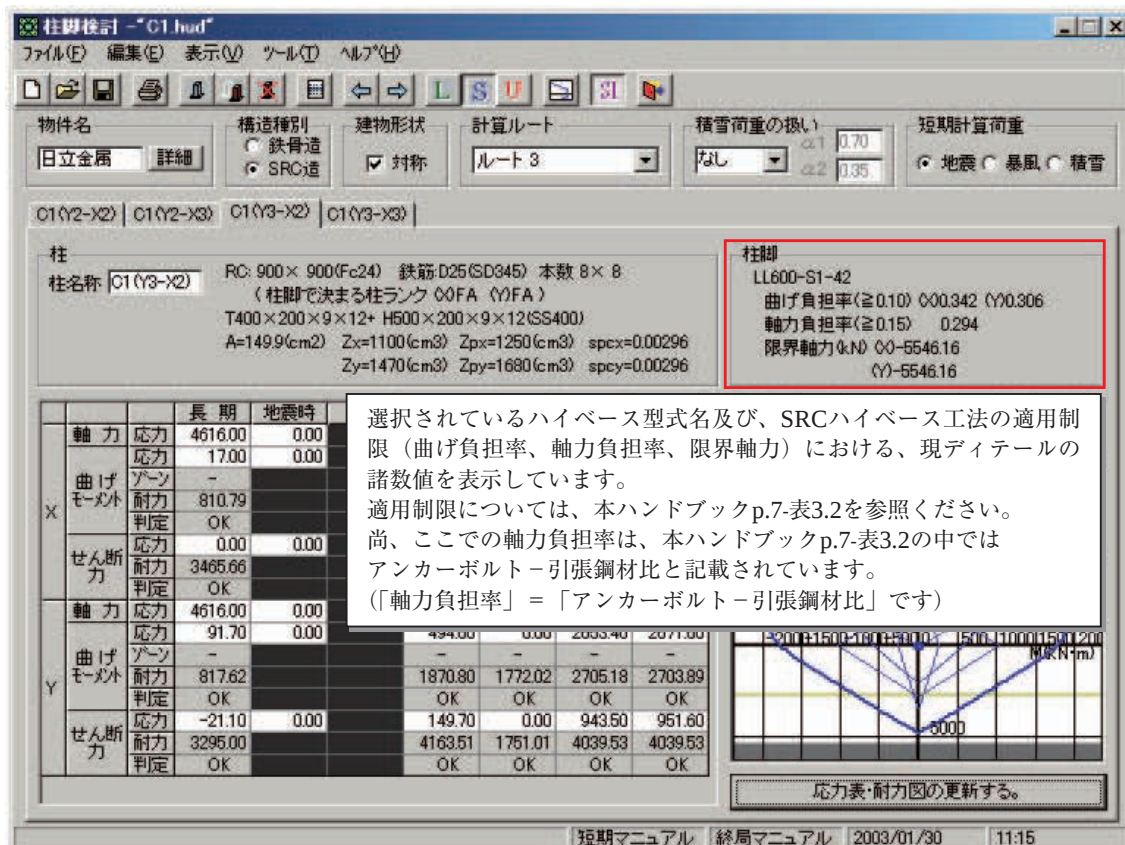
応力表・耐力図の更新する。

短期マニュアル 終局マニュアル 2003/01/30 11:15

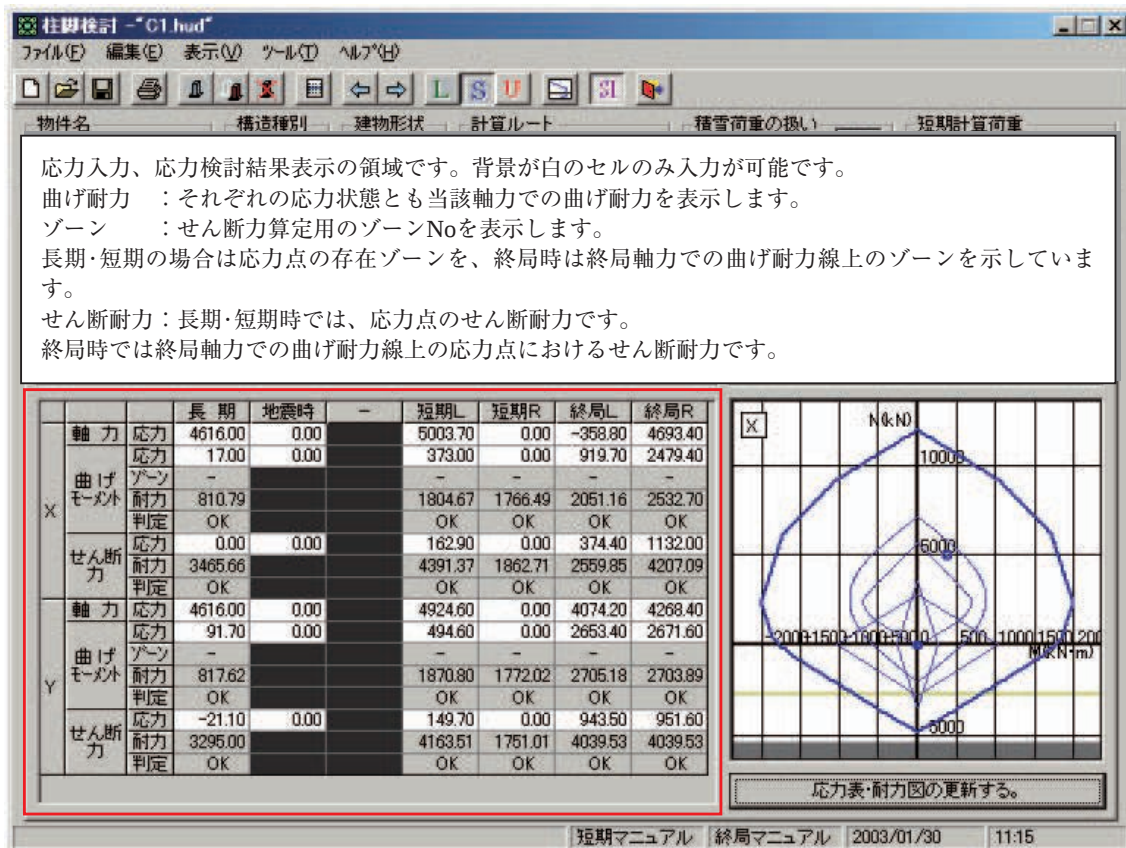
(7) 柱



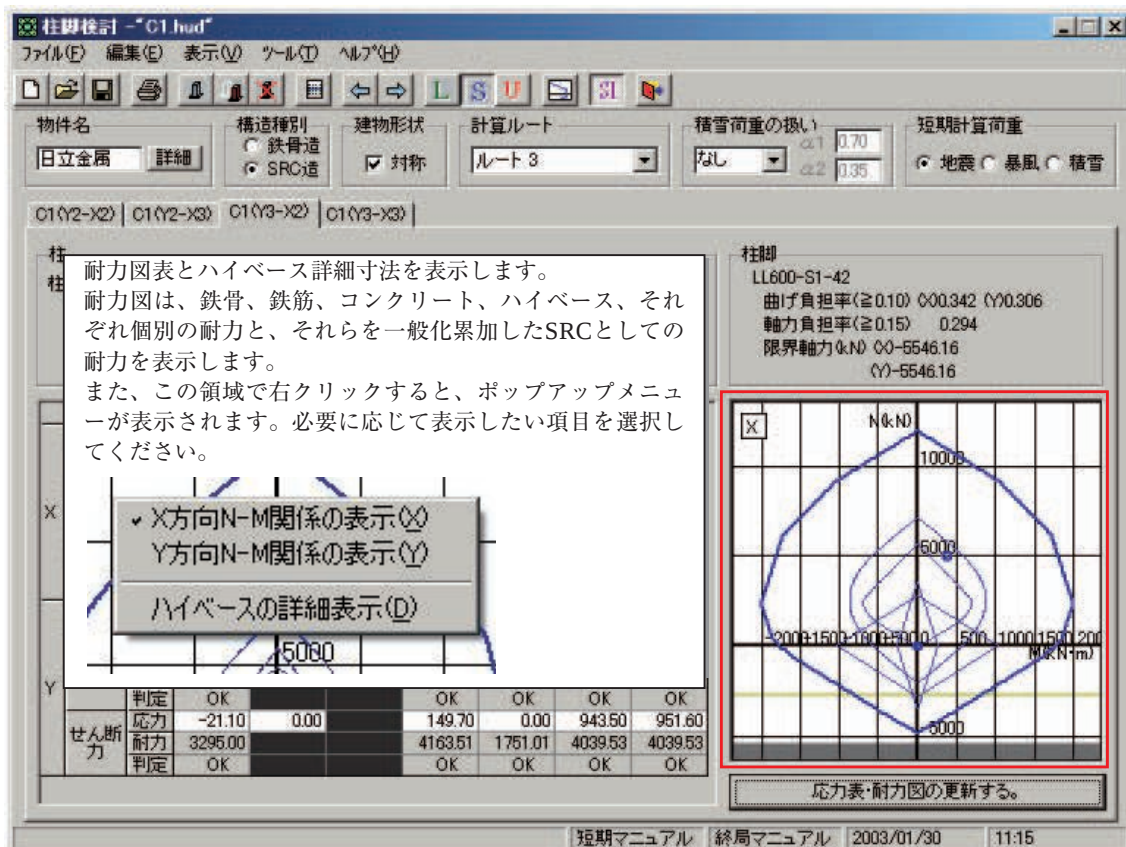
(8) 柱脚



(9) 応力表



(10) 耐力図表



(11) 応力表・耐力図の更新

柱脚設計 - "C1.hud"

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ツール(T) ヘルプ(H)

物件名: 日立金属 詳細 構造種別: 鉄骨造 SRC造 建物形状: 対称 計算ルート: ルート 3 積雪荷重の扱い: なし 短期計算荷重: 地震 暴風 積雪

C1(Y2-X2) C1(Y2-X3) C1(Y3-X2) C1(Y3-X3)

柱: 柱名称: C1(Y3-X2) RC: 900×900(Fc24) 鉄筋D25(SD345) 本数 8×8 (柱脚で決まる柱ランク 00FA Y0FA) T400×200×9×12+ H500×200×9×12(SS400) A=149.9(cm²) Zx=1100(cm³) Zpx=1250(cm³) spcx=0.00296 Zy=1470(cm³) Zpy=1680(cm³) spcy=0.00296

柱脚: LL600-S1-42 曲げ負担率(≧0.10) 0.0342 Y0.306 軸力負担率(≧0.15) 0.294 限界軸力(kN) 00-5546.16 Y-5546.16

		長期	地震時		短期L	短期R	終局L	終局R
X	軸力	応力 4616.00	0.00		5003.70	0.00	-358.80	4693.40
		応力 17.00	0.00		373.00	0.00	919.70	2479.40
	曲げモーメント	ズレ						
		810.79			1804.67	1766.49	2051.16	2532.70
	耐力判定	OK			OK	OK	OK	OK
Y	せん断力	応力 0.00	0.00		162.90	0.00	374.40	1132.00
		3465.66			4391.37	1862.71	2559.85	4207.09
	耐力判定	OK			OK	OK	OK	OK
	軸力	応力 4616.00	0.00		4924.60	0.00	4074.20	4268.40
		91.70	0.00		494.60	0.00	2653.40	2671.60

応力表・耐力図を更新します。
プルダウンメニューのツールオプション画面表示の「応力入力毎に応力表の更新」にチェックが無い場合にこのボタンが表示されます。

応力表・耐力図の更新する。

短期マニュアル 終局マニュアル 2003/01/30 11:15

(12) 応力計算方法

柱脚設計 - "C1.hud"

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ツール(T) ヘルプ(H)

物件名: 日立金属 詳細 構造種別: 鉄骨造 SRC造 建物形状: 対称 計算ルート: ルート 3 積雪荷重の扱い: なし 短期計算荷重: 地震 暴風 積雪

C1(Y2-X2) C1(Y2-X3) C1(Y3-X2) C1(Y3-X3)

柱: 柱名称: C1(Y3-X2) RC: 900×900(Fc24) 鉄筋D25(SD345) 本数 8×8 (柱脚で決まる柱ランク 00FA Y0FA) T400×200×9×12+ H500×200×9×12(SS400) A=149.9(cm²) Zx=1100(cm³) Zpx=1250(cm³) spcx=0.00296 Zy=1470(cm³) Zpy=1680(cm³) spcy=0.00296

柱脚: LL600-S1-42 曲げ負担率(≧0.10) 0.0342 Y0.306 軸力負担率(≧0.15) 0.294 限界軸力(kN) 00-5546.16 Y-5546.16

		長期	地震時		短期L	短期R	終局L	終局R
X	軸力	応力 4616.00	0.00		5003.70	0.00	-358.80	4693.40
		応力 17.00	0.00		373.00	0.00	919.70	2479.40
	曲げモーメント	ズレ						
		810.79			1804.67	1766.49	2051.16	2532.70
	耐力判定	OK			OK	OK	OK	OK
Y	せん断力	応力 0.00	0.00		162.90	0.00	374.40	1132.00
		3465.66			4391.37	1862.71	2559.85	4207.09
	耐力判定	OK			OK	OK	OK	OK
	軸力	応力 4616.00	0.00		4924.60	0.00	4074.20	4268.40
		91.70	0.00		494.60	0.00	2653.40	2671.60

短期・終局の応力の自動・手動計算を表示します。
ダブルクリックで自動・手動の切り替えが可能です。

応力表・耐力図の更新する。

短期マニュアル 終局マニュアル 2003/01/30 11:15

柱脚校計 - C:\hud\

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ツール(T) ヘルプ(H)

物件名: 日立金属 [詳細] 構造種別: ☐ 鉄骨造 ☒ SRC造 建物形状: ☒ 対称 計算ルート: ルート 8 積雪荷重の扱い: α1 0.70 α2 0.35 短期計算荷重: ☒ 地震 ☐ 暴風 ☐ 積雪

C1(Y2-X2) | C1(Y2-X3) | C1(Y3-X2) | C1(Y3-X3) |

柱

柱名称: C1(Y3-X2) RC: 900×900(FC24) 鉄筋 D25(SD345) 本数 8×8
 〈柱脚で決まる柱ランク O0FA Y0FA〉
 T400×200×9×12+ H500×200×9×12(SS400)
 A=149.9(cm²) Zx=1100(cm³) Zpx=1250(cm³) spcx=0.00296
 Zy=1470(cm³) Zpy=1680(cm³) spcy=0.00296

柱脚

LL600-S1-42
 曲げ負担率(≥0.10) O00.342 Y0.306
 軸力負担率(≥0.15) 0.294
 限界軸力(kN) O0-5546.16
 (Y)-5546.16

この領域をクリックすると、柱脚形式入力画面が表示されます。

		X		Y		終局R	
X モーメント	耐力	810.79				1804.67	1766.49
	判定	OK				OK	OK
	応力	0.00	0.00			162.90	0.00
	耐力	3465.66				4391.37	1862.71
せん断力	耐力					OK	OK
	判定	OK				OK	OK
	軸力	4616.00	0.00			4924.60	0.00
	応力	91.70				494.60	0.00
Y モーメント	耐力					-	-
	判定	OK				OK	OK
	曲げ	817.62				1870.80	1772.02
	耐力					OK	OK
せん断力	耐力	-21.10	0.00			149.70	0.00
	判定	OK				OK	OK
	軸力	3295.00				4163.51	1751.01
	耐力					OK	OK

[応力表・耐力図の更新する。](#)

SRC用ハイベースと柱の指定

コンクリート強度
[24]

コンクリート強度を選択します。
最大はFc30までです。それを超えるとハイベースが降伏する可能性があります。従ってFc30を超える場合は別途ハイベースを設計しますので、お問い合わせください。

鉄骨仕様
材質 [SS400] 計算

sA[cm²] [149.9]
sZx[cm³] [1103] sZy[cm³] [1467]
Zpx[cm³] [1249] Zpy[cm³] [1681]
spcx [0.00296] spcy [0.00296]

鉄筋仕様
材質 [SD345] 呼び径 [D25]

☒ X束ね筋 ☐ Y束ね筋

X本数 [12] Y本数 [8]
X引張鉄筋 [0] Y引張鉄筋 [0]

鉄骨柱脚部負担率
曲げ(≧0.10) X 0.229 OK Y 0.306 OK
引張力(≧0.15) 0.245 OK
限界軸力(kN) X -6664.96 Y -6664.96

Y ↑
→ X

☐ X方向に耐震壁が取り付け
☐ Y方向に耐震壁が取り付け

H-500 × 200 × 9 × 12
T-400 × 200 × 9 × 12

[決定] [キャンセル]

(2) ハイベース型式

SRC用ハイベースと柱の指定

コンクリート強度
24

ハイベース
☐ X ☐ T ☐ LL ☒ LR ☐ H
 LR600-S1 M42

ハイベース型式を選択します。 270°

鉄骨仕様
 材質 SS400 計算
 sA(cm²) 149.9
 sZx(cm³) 1103 sZy(cm³) 1467
 Zpx(cm³) 1249 Zpy(cm³) 1681
 spcx 0.00296 spcy 0.00296

鉄筋仕様
 材質 SD345 呼び径 D25
☒ X束ね筋 ☐ Y束ね筋
 X本数 12 Y本数 8
 X3長鉄筋 0 Y3長鉄筋 0

鉄骨柱脚部負担率
 曲げ(≧0.10) X 0.229 OK Y 0.306 OK
 引抜き(≧0.15) 0.245 OK
 限界軸力 (kN) X -6664.96 Y -6664.96

☐ X方向に耐震壁が取り付け
☐ Y方向に耐震壁が取り付け

H 500 × 200 × 9 × 12
 T 400 × 200 × 9 × 12

決定 キャンセル

(3) ハイベース配置

SRC用ハイベースと柱の指定

コンクリート強度
24

ハイベース
☐ X ☐ T ☐ LL ☒ LR ☐ H
 LR600-S1 M42
 角度
☐ 0° ☐ 90° ☐ 180° ☒ 270°

柱及びハイベースの配置する角度を選択します。角度を選択して適当な方向に回転してください。右図も連動して回転します。

sZx(cm³) 1103 sZy(cm³) 1467
 Zpx(cm³) 1249 Zpy(cm³) 1681
 spcx 0.00296 spcy 0.00296

鉄筋仕様
 材質 SD345 呼び径 D25
☒ X束ね筋 ☐ Y束ね筋
 X本数 12 Y本数 8
 X3長鉄筋 0 Y3長鉄筋 0

鉄骨柱脚部負担率
 曲げ(≧0.10) X 0.229 OK Y 0.306 OK
 引抜き(≧0.15) 0.245 OK
 限界軸力 (kN) X -6664.96 Y -6664.96

☐ X方向に耐震壁が取り付け
☐ Y方向に耐震壁が取り付け

H 500 × 200 × 9 × 12
 T 400 × 200 × 9 × 12

決定 キャンセル

(4) 鉄骨仕様

SRC用ハイベースと柱の指定

コンクリート強度: 24

ハイベース: X T LL **LR** H
LR600-S1 M42
角度: 0° 90° 180° **270°**

鉄骨仕様

材質: SS400 計算

sA(cm²): 149.9
sZx(cm³): 1103 sZy(cm³): 1467
Zpx(cm³): 1249 Zpy(cm³): 1681
spcx: 0.00296 spcy: 0.00296

鉄骨柱の材質や断面性能の入力・表示をします。
右図に示す箇所に鉄骨の寸法（鉄骨を柱脚部で絞る場合は、絞った寸法）を入力すると、断面性能は自動計算し表示されます。
断面性能の値を手動で直接入力する場合は、右図の鉄骨寸法を入力した後にしてください。

鉄骨寸法: H-500 × 200 × 9 × 12
T-400 × 200 × 9 × 12

決定 キャンセル

(5) 鉄筋仕様

SRC用ハイベースと柱の指定

コンクリート強度: 24

ハイベース: X T LL **LR** H

鉄筋の材質、呼び径、本数などを入力します。
X or Y 束ね筋: 束ね筋として2段目の鉄筋を曲げに効かせる場合にチェックします。
X or Y 本数: 曲げに効かせる最外縁の鉄筋本数を入力します。（右図にも反映されます。）
X or Y 引張鉄筋: 引張にのみ効かせる鉄筋の総本数を入力します。この本数分、せん断耐力算定用鉄筋本数（曲げに効かせる最外縁の鉄筋は除く）を減らします。

鉄筋仕様

材質: SD345 呼び径: D25

☒ X束ね筋 ☐ Y束ね筋
X本数: 12 Y本数: 8
X引張鉄筋: 0 Y引張鉄筋: 0

鉄骨柱脚部負担率
曲げ(≧0.10): X 0.229 OK Y 0.306 OK
引抜き(≧0.15): 0.245 OK
限界軸力 (kN): X -6664.96 Y -6664.96

決定 キャンセル

(6) 鉄骨柱脚部負担率

SRC用ハイベースと柱の指定

コンクリート強度: 24

ハイベース: ☐ X ☐ T ☐ LL ☒ LR ☐ H
 LR600-S1 M42
 角度: ☐ 0° ☐ 90° ☐ 180° ☒ 270°

鉄骨仕様: 材質 SS400 計算

SRCハイベース工法の適用制限（詳細は本ハンドブックp.7表3.2を参照ください）を表示します。
 また、この適用制限に対して現ディテールでのチェックを行い、その結果を表示します。
 尚、ここで表示している適用制限の項目名と本ハンドブックp.7表3.2に表示している項目名は異なった表示をしておりますが内容は同じです。
 「曲げ」=「曲げ負担率」
 「引拔力」=「アンカーボルト-引張鋼材比」
 「限界軸力」=「柱軸力」

鉄骨柱脚部負担率
 曲げ(≧0.10) X 0.229 OK Y 0.306 OK
 引拔力(≧0.15) 0.245 OK
 限界軸力 (kN) X -6664.96 Y -6664.96

決定 キャンセル

(7) RC寸法

SRC用ハイベースと柱の指定

コンクリート強度: 24

ハイベース: ☐ X ☒ T ☐ LL ☐ LR ☐ H
 LR600-S1 M42
 角度: ☐ 0° ☐ 90° ☐ 180° ☒ 270°

鉄骨仕様: 材質 SS400 計算

RC柱形寸法及び鉄筋間距離を入力します。

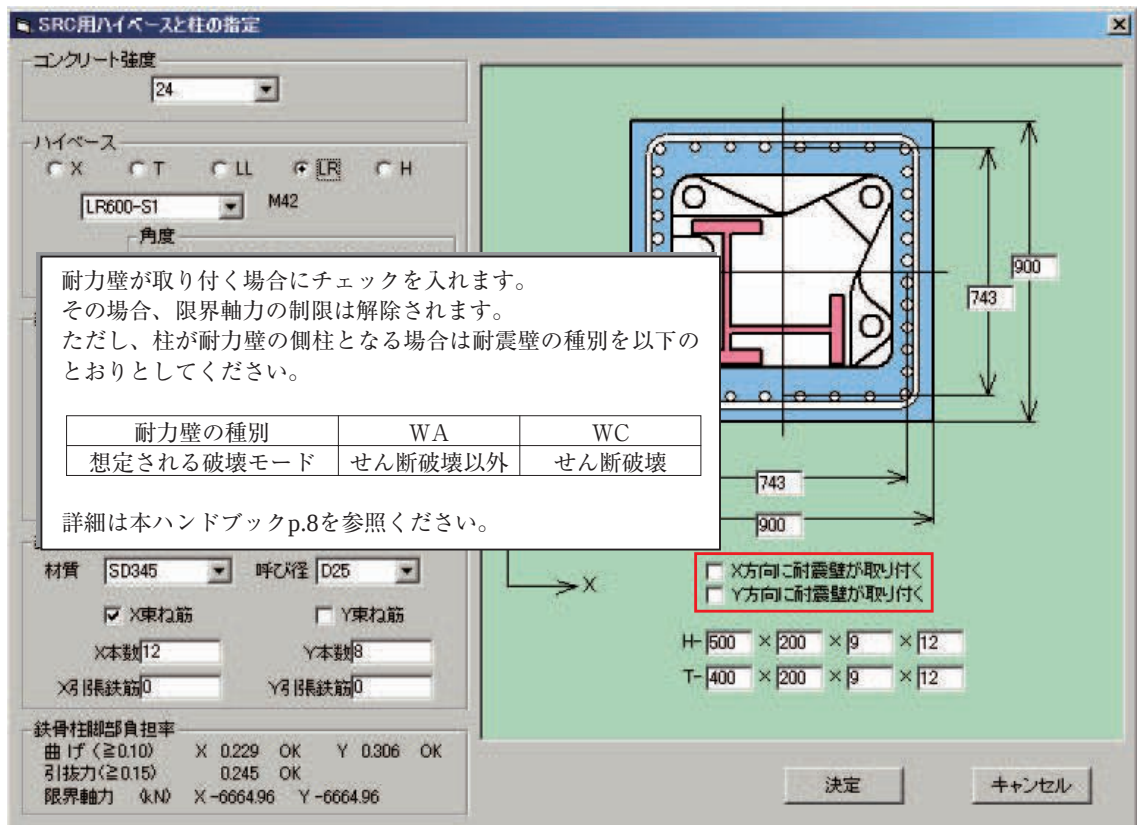
sA(cm²) 149.9
 sZx(cm³) 1103 sZy(cm³) 1467
 Zpx(cm³) 1249 Zpy(cm³) 1681
 spcx 0.00296 spcy 0.00296

鉄筋仕様: 材質 SD345 呼び径 D25
☒ X束ね筋 ☐ Y束ね筋
 X本数 12 Y本数 8
 X引張鉄筋 0 Y引張鉄筋 0

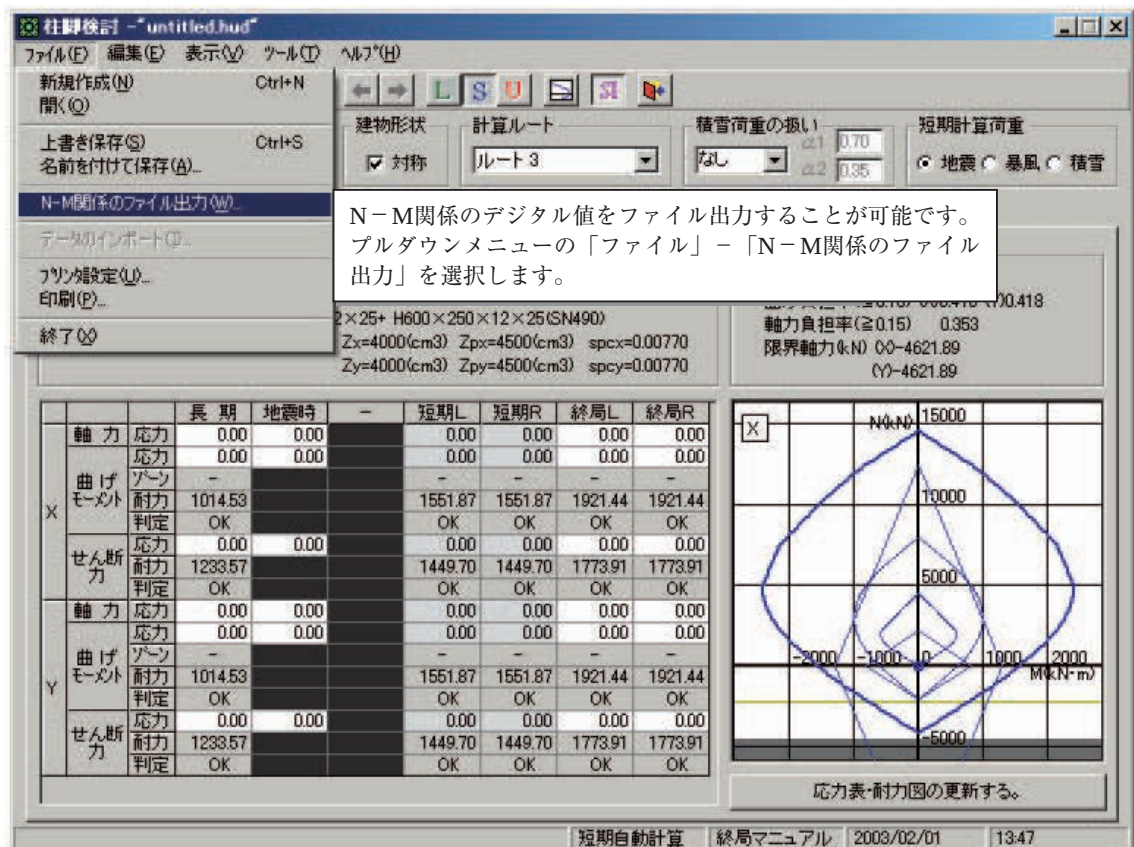
鉄骨柱脚部負担率
 曲げ(≧0.10) X 0.229 OK Y 0.306 OK
 引拔力(≧0.15) 0.245 OK
 限界軸力 (kN) X -6664.96 Y -6664.96

決定 キャンセル

(8) 耐力壁



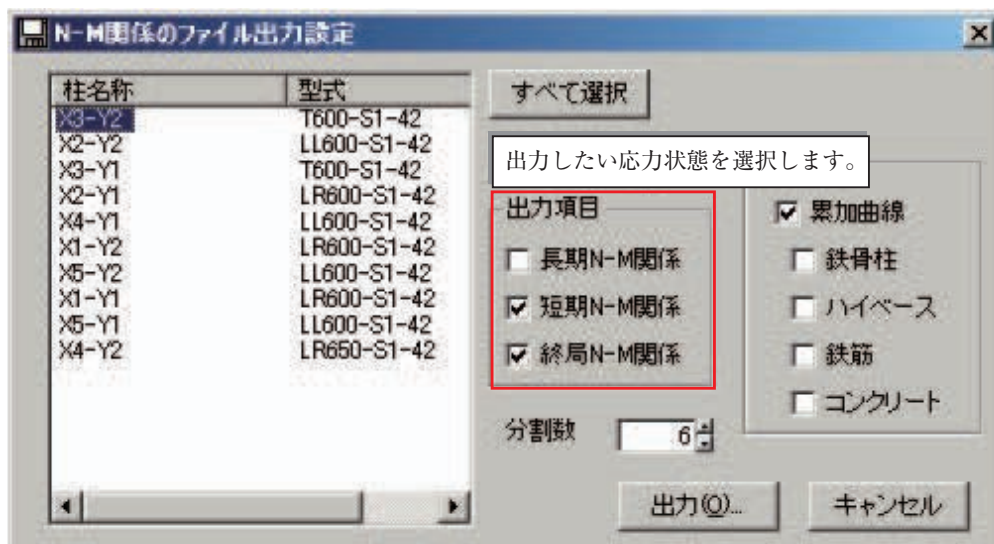
3. N-M関係ファイル出力



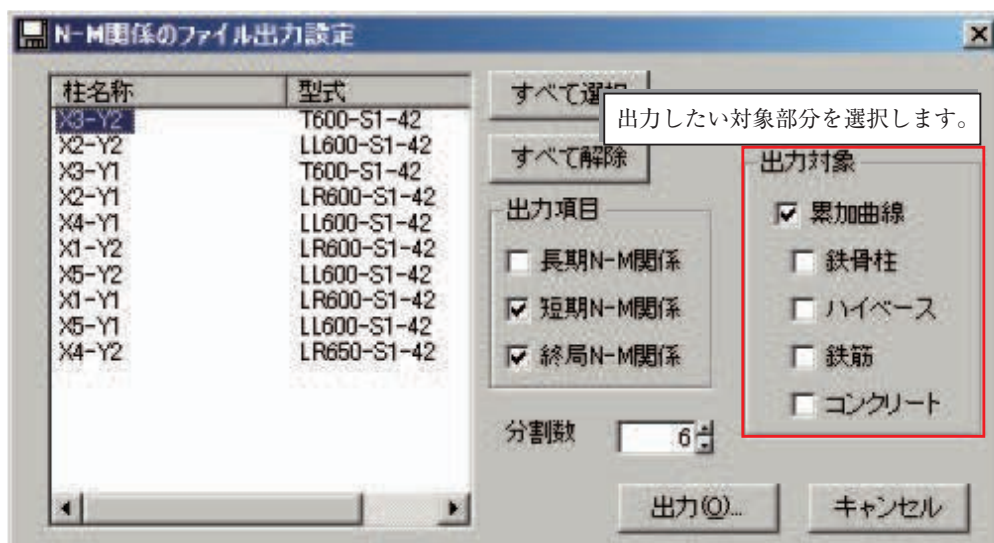
(1) 柱の選択



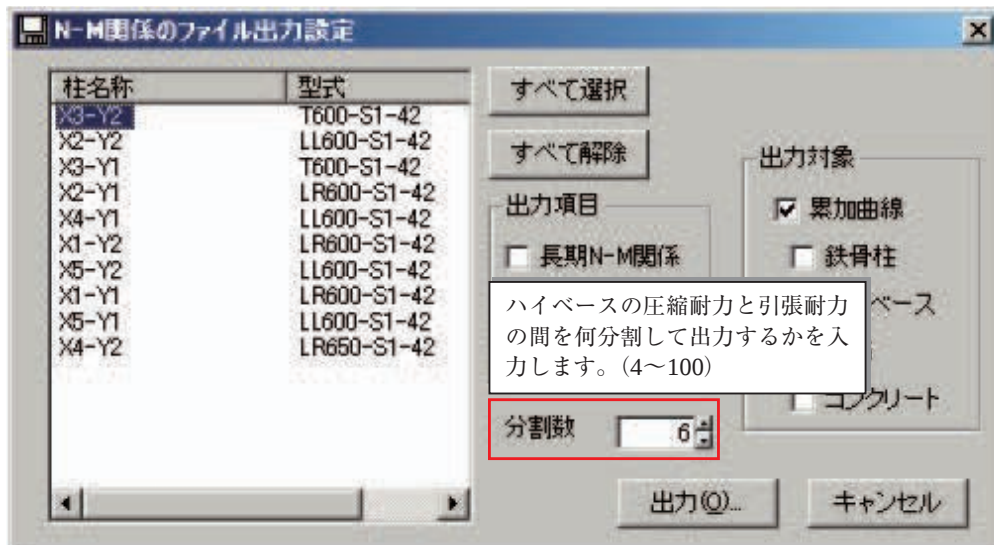
(2) 出力項目



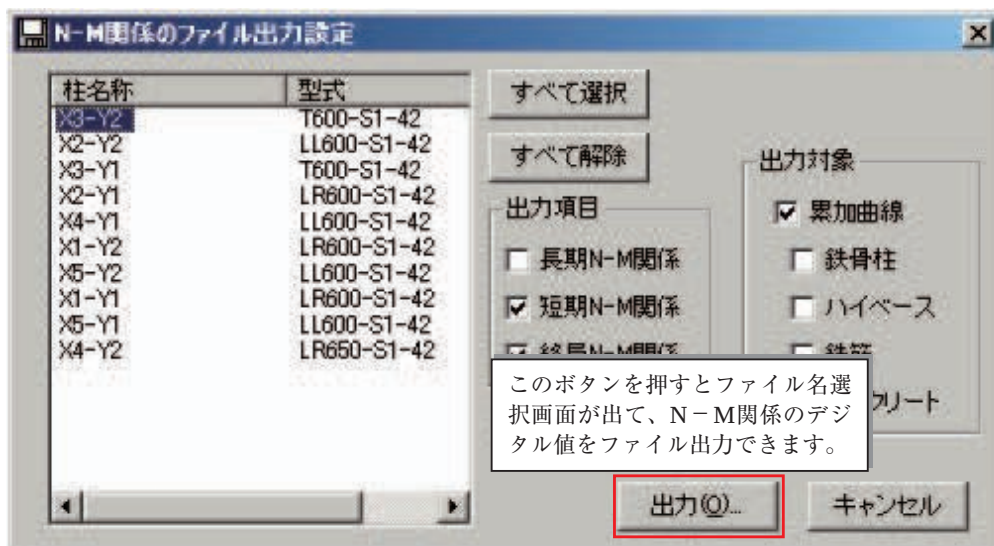
(3) 出力対象



(4) 分割数



(5) 出力



(6) CSVファイルの出力例

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	☆-101 LL600-S1-42 -☆								
2	ハイベース	底面	645	×	680				
3		ABT	450	×	530	0			
4	鉄骨柱	H500×200×9×19+ T340×150×9×12(SM490)							
5	RC	900	×	950					
6	鉄筋	D29	SD345	本数	8	×		8	
7		A(cm ²)	384	Zx(cm ³)	2055	Zpx(cm ³)	2308	spcx	0.00444
8				Zy(cm ³)	709	Zpy(cm ³)	815	spcy	0.00211
9	曲げ負担率(X)		0.258	(Y)	0.277				
10	軸力負担率	0.247							
11	限界軸力Qk	-6594.85							
33	--- 終局時のN-M関係 ---								
34	// X方向 //								
35	*** 累加強度 ***								
36	N(kN)	M(kN・m)							
37	23990.22	0							
38	17868.58	2330.23							
39	11746.95	3302.25							
40	5625.31	3653.14							
41	-496.33	2332.9							
42	-6617.96	0							
43									